

## 配偶者などからの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について

問21 次の①～⑫のような行為が配偶者（事実婚や別居中、離婚後も含む）や交際相手との間で行われた場合、あなたはそれをどのように感じますか。  
（各項目1つだけ選択）

	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない
①骨折、打ち身、切り傷などのケガをさせる	1	2	3
②平手でなぐる、足でける	1	2	3
③刃物などを突きつけて、おどす、物をなげつける	1	2	3
④身体を傷つける可能性のある物でなぐる、突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする	1	2	3
⑤なぐるふりをして、おどす	1	2	3
⑥大声でどなる、「役たたず」「能なし」などと言う	1	2	3
⑦何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
⑧電話、SNS、メール、郵便物、交友関係を細かく監視したり制限したりする	1	2	3
⑨持ち物や大切にしている物をこわす	1	2	3
⑩嫌がるのに、性的な行為を強要する	1	2	3
⑪見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3
⑫必要な生活費を渡さない、仕事を無理やり辞めさせて経済的に弱い立場に立たせる	1	2	3

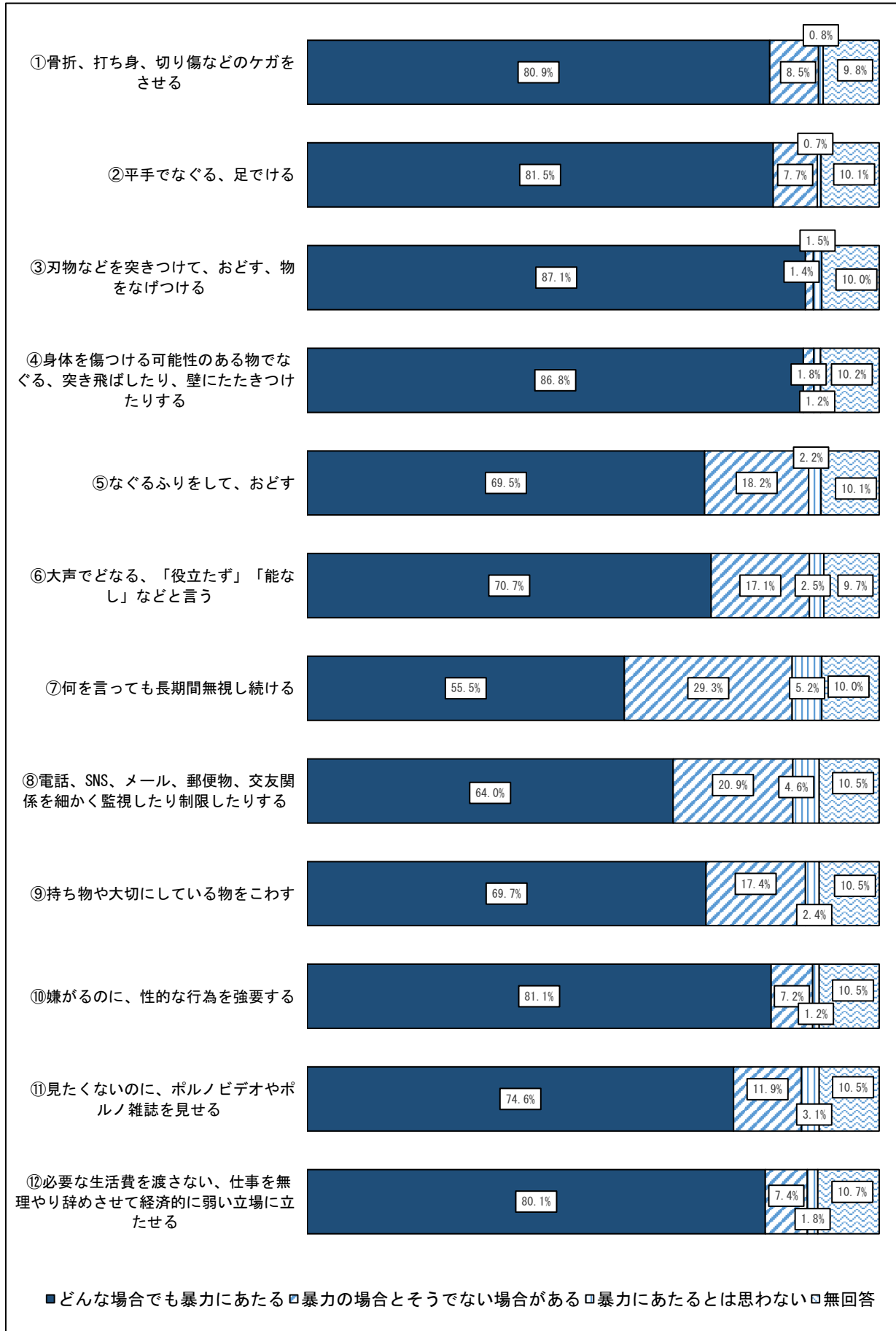
「どんな場合でも暴力にあたる」と最も多く回答したのは、「③刃物などを突きつけて、おどす、物をなげつける」で87.1%

全体で見ると、「③刃物などを突きつけて、おどす、物をなげつける」87.1%、「④身体を傷つける可能性のある物でなぐる、突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする」86.8%、「②平手でなぐる、足でける」81.5%、「⑩嫌がるのに性的な行為を強要する」81.1%、「①骨折、打ち身、切り傷などのケガをさせる」80.9%、「⑫必要な生活費を渡さない、仕事を無理やり辞めさせて経済的に弱い立場に立たせる」80.1%について、「どんな場合でも暴力にあたる」との回答が8割を超えています。

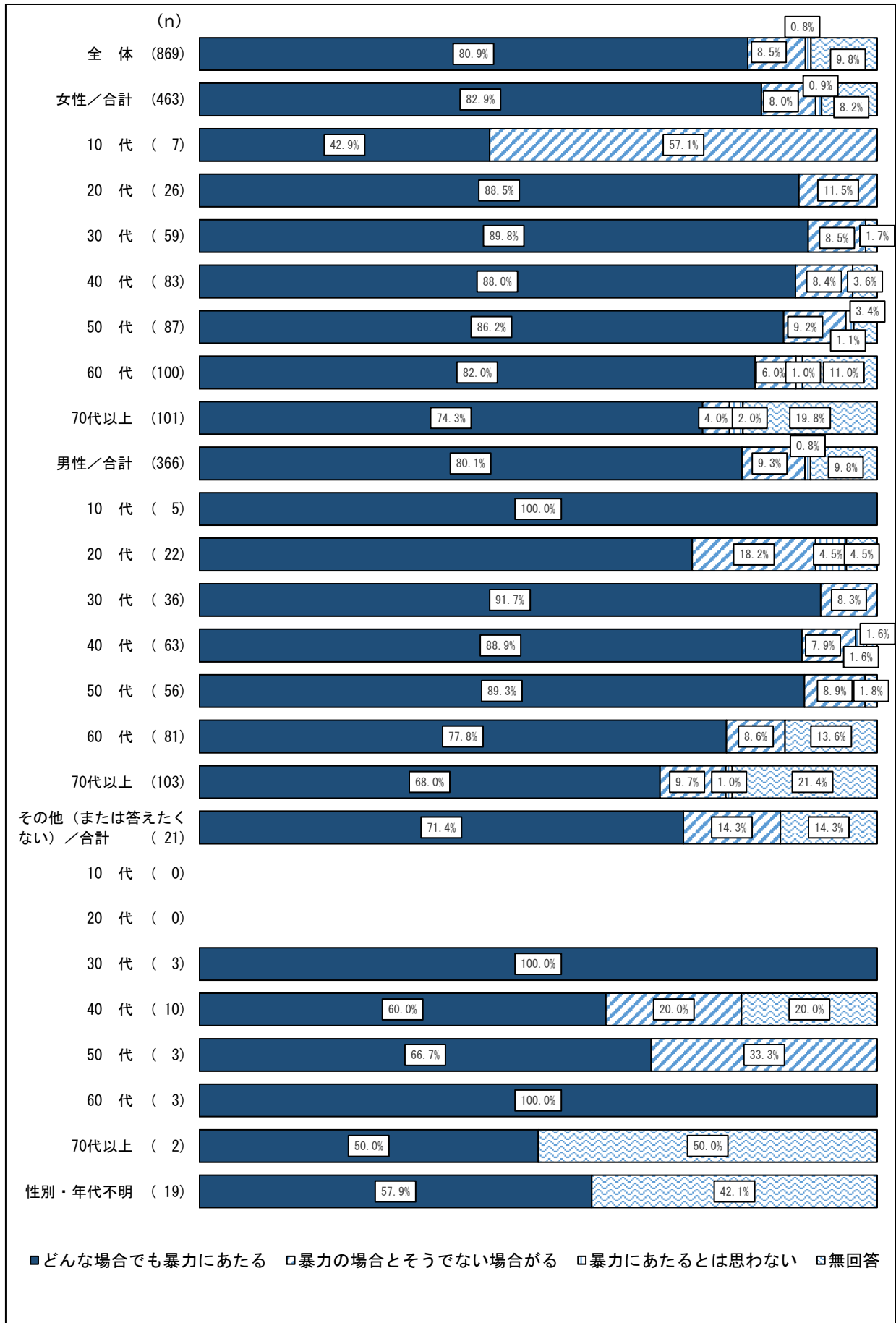
一方、「暴力にあたると思わない」と回答した割合が最も多かったのは、「⑦何を言っても長期間無視し続ける」で5.2%でした。

すべての項目で「どんな場合でも暴力にあたる」と回答した割合は、男性よりも女性の方が多く、「⑥大声でどなる、『役立たず』『能なし』などと言う」では、女性75.2%と男性65.6%と9.6ポイントの差があります。女性で「どんな場合でも暴力にあたる」と回答した割合が最も多かったのは、「④身体を傷つける可能性のある物でなぐる、突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする」の89.8%で、男性で最も多かったのは「③刃物などを突きつけて、おどす、物をなげつける」の86.1%でした。

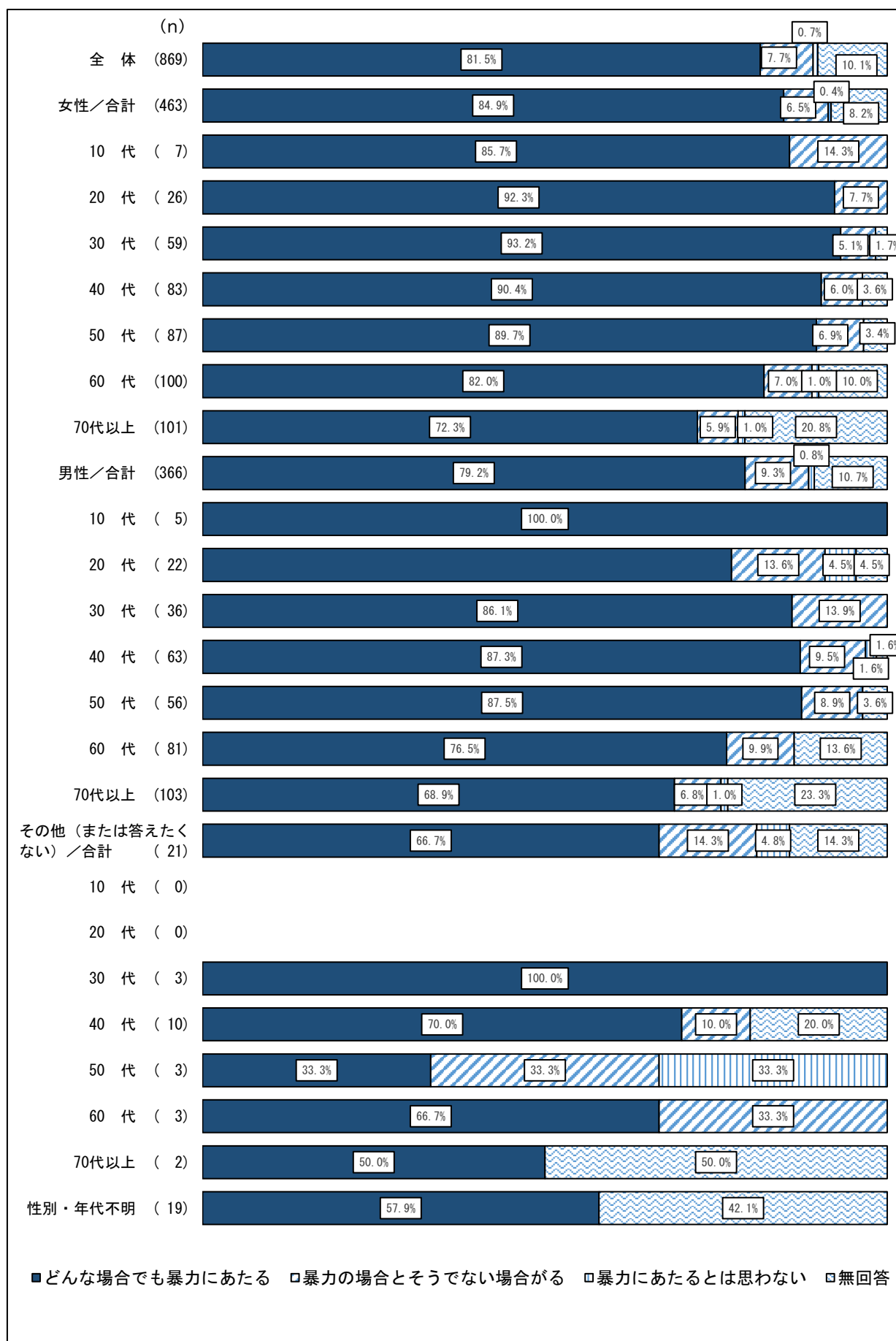
【全体】 n=869



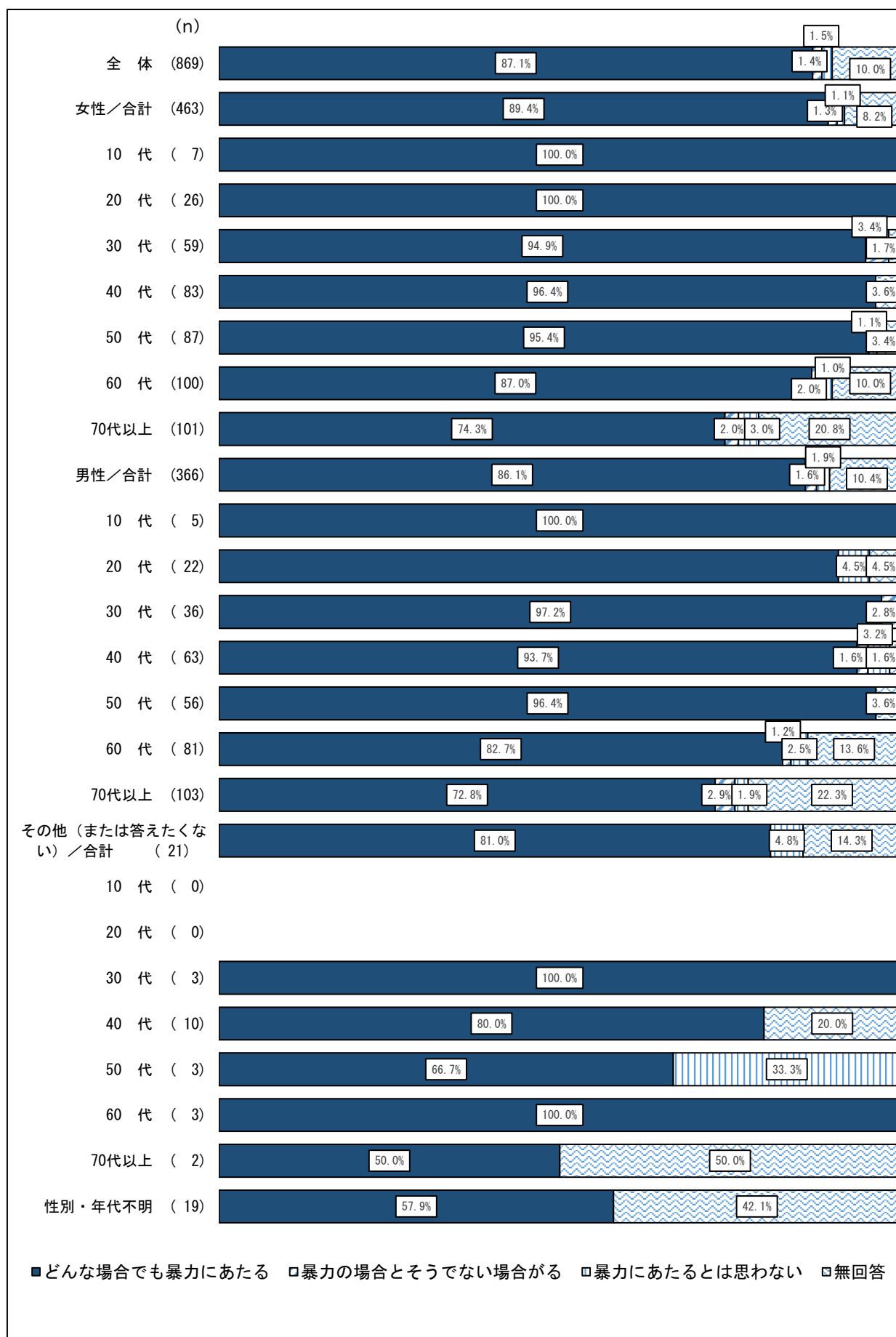
【性・年代別】①骨折、打ち身、切り傷などのケガをさせる



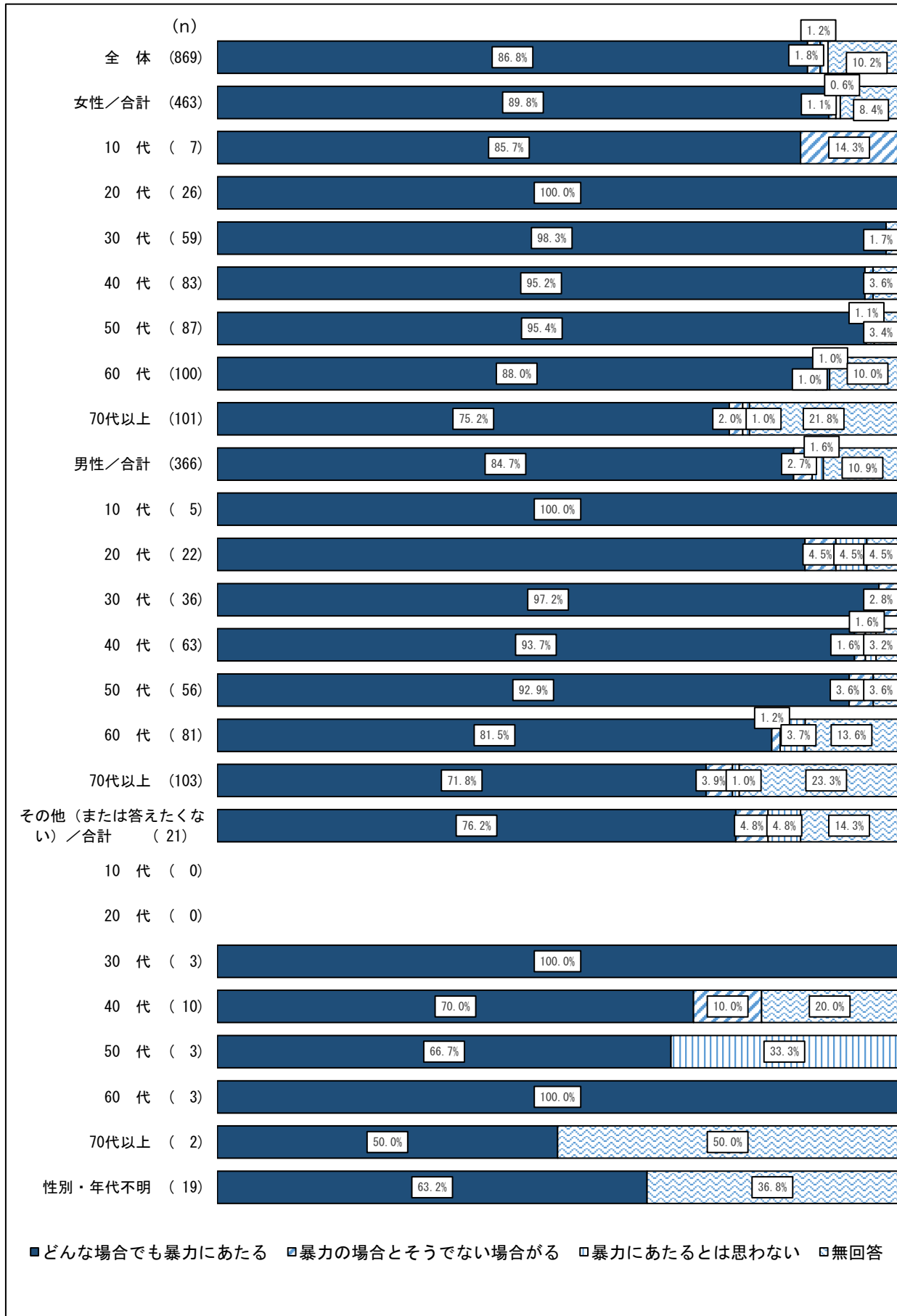
【性・年代別】②平手でなぐる、足でける



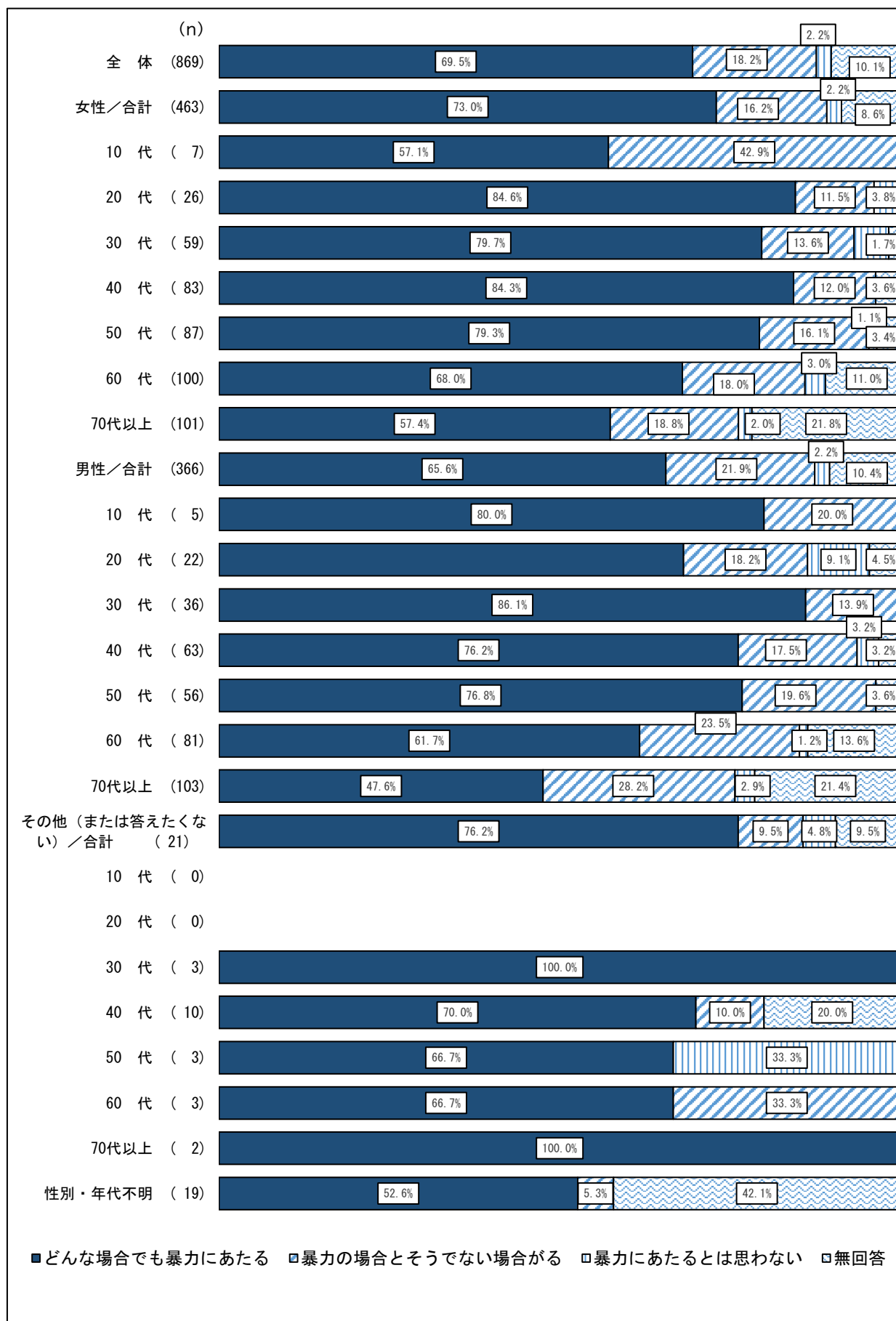
【性・年代別】③刃物などを突きつけて、おどす、物を投げつける



【性・年代別】④身体を傷つける可能性のある物でなぐる、突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする

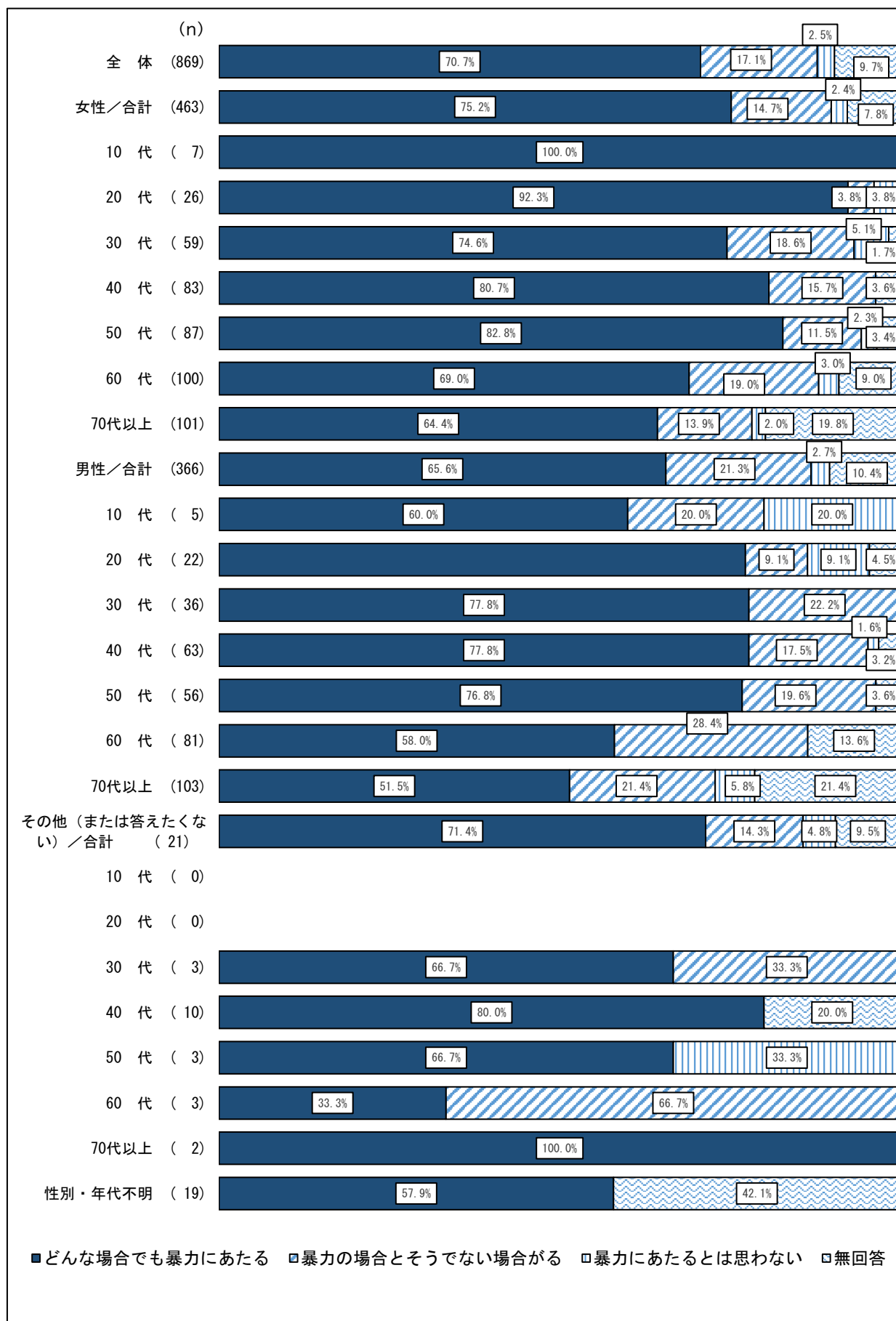


【性・年代別】⑤なぐるふりをして、おどす

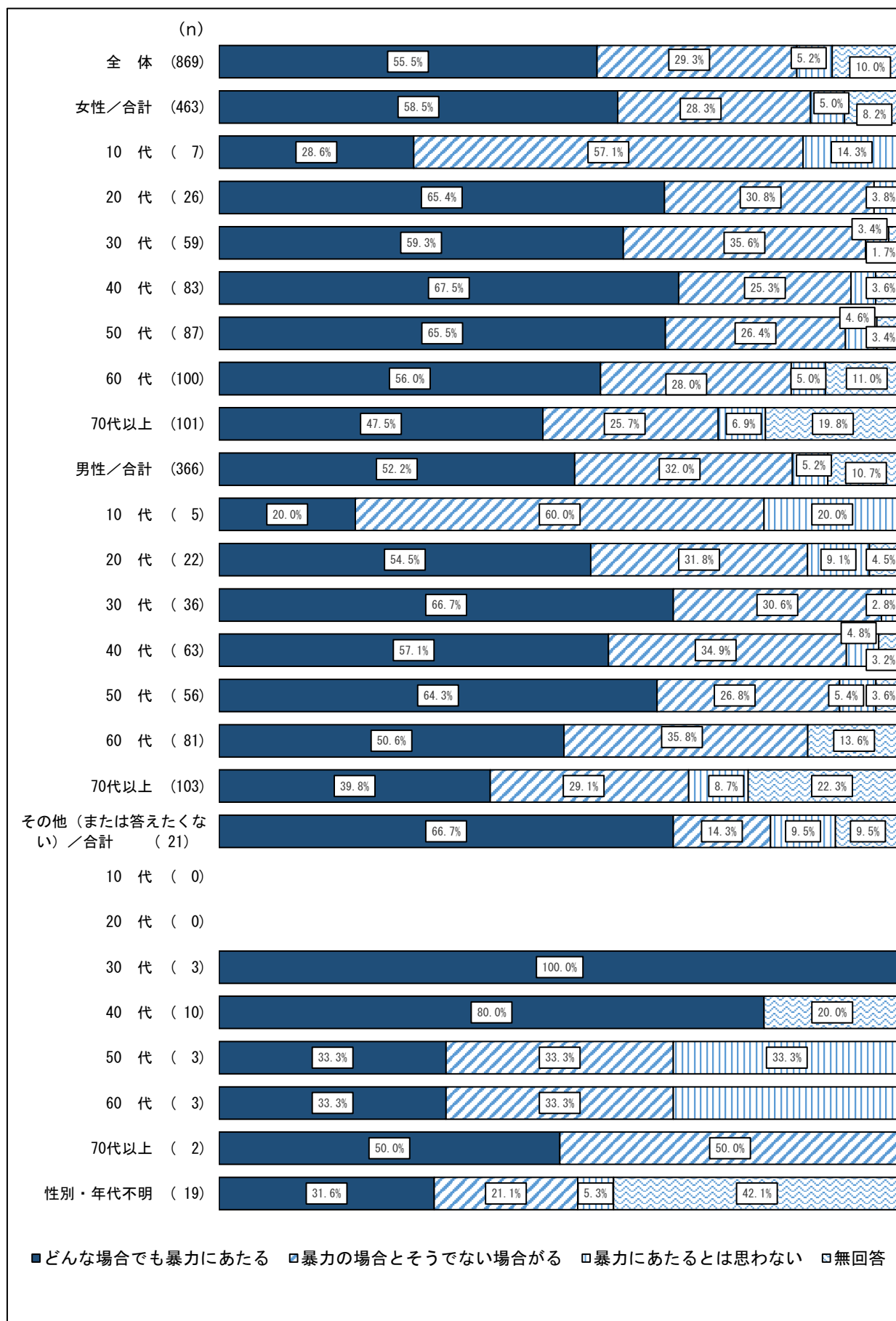




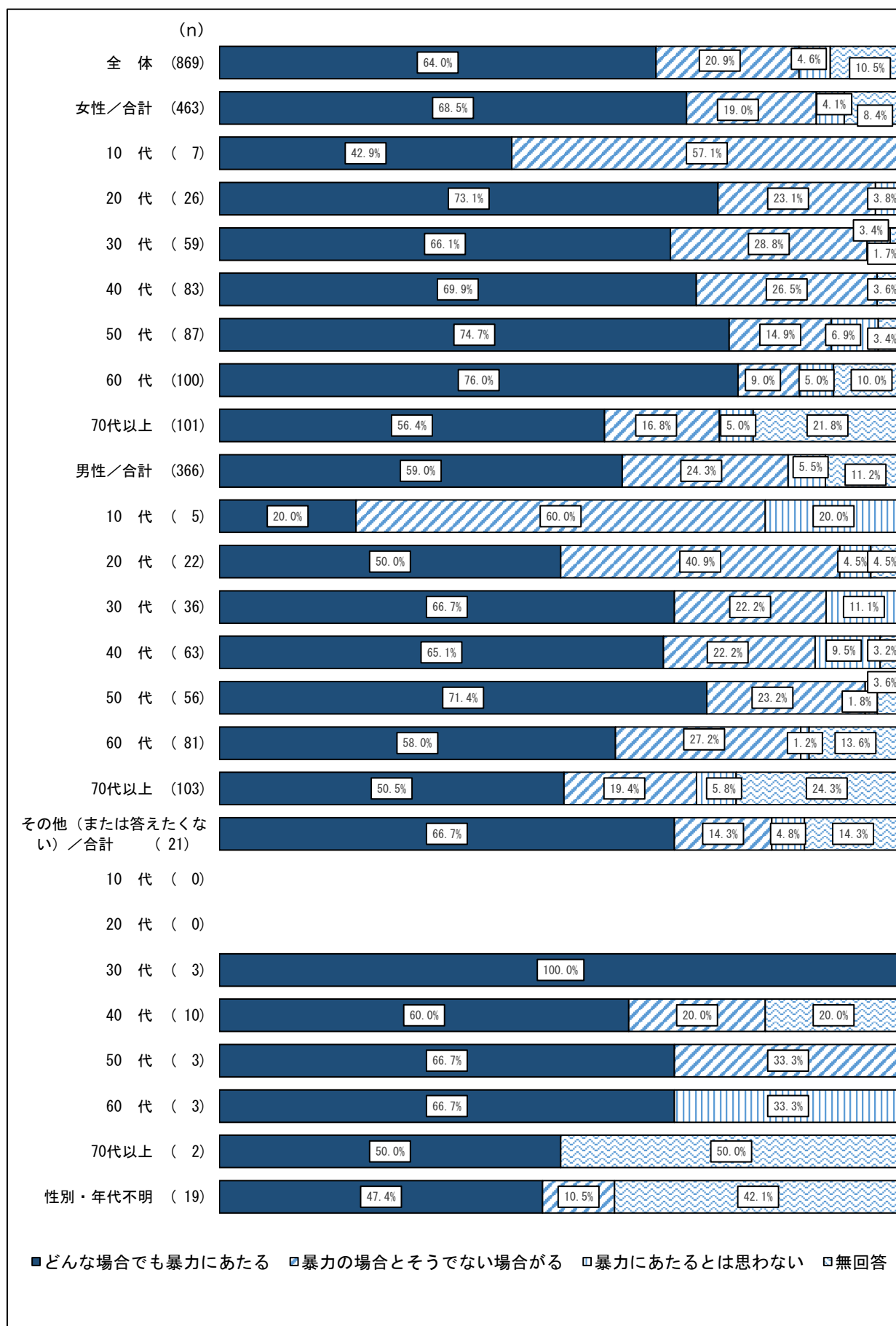
【性・年代別】⑥大声でどなる、「役立たず」「能なし」などと言う



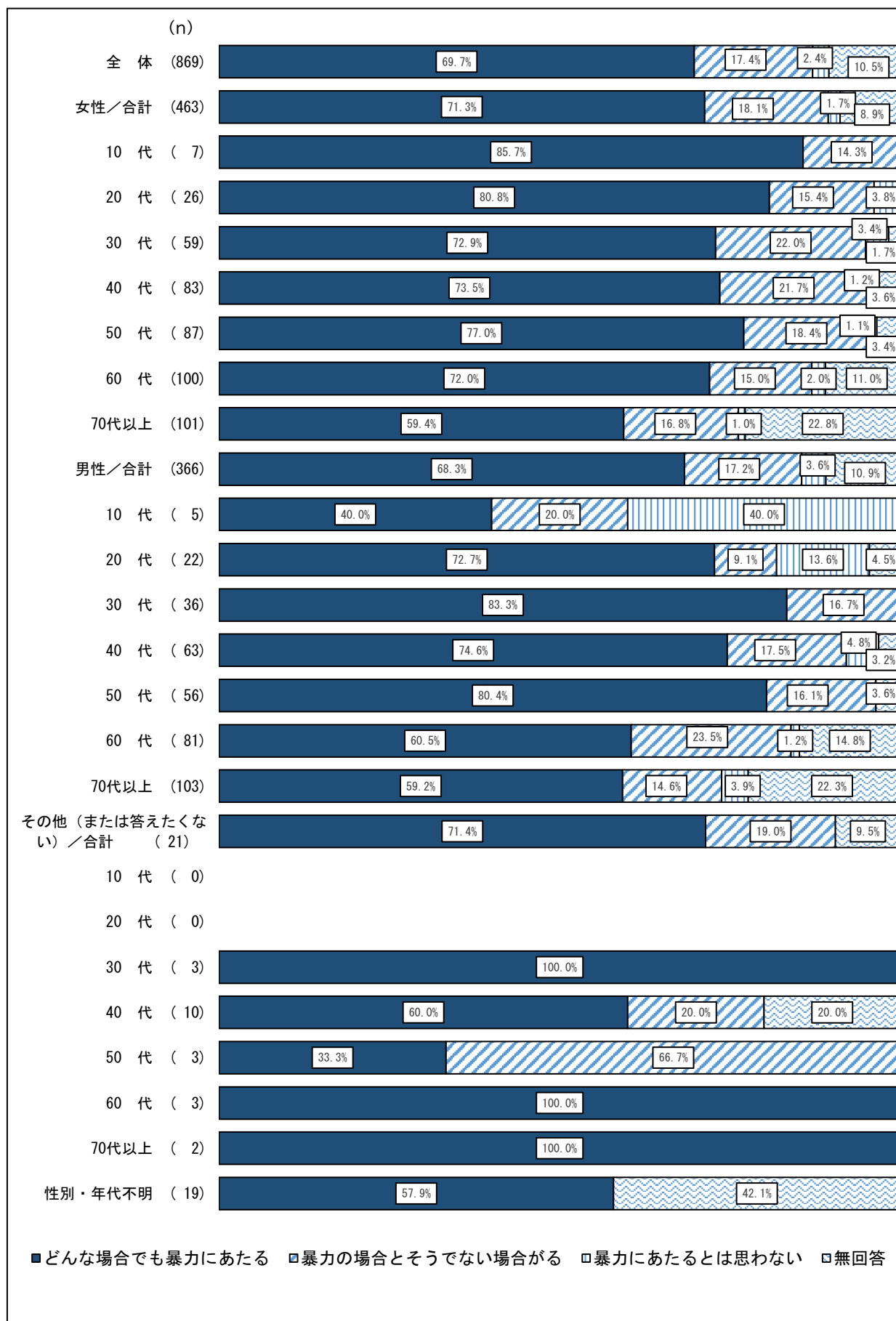
【性・年代別】⑦何を言っても長期間無視し続ける



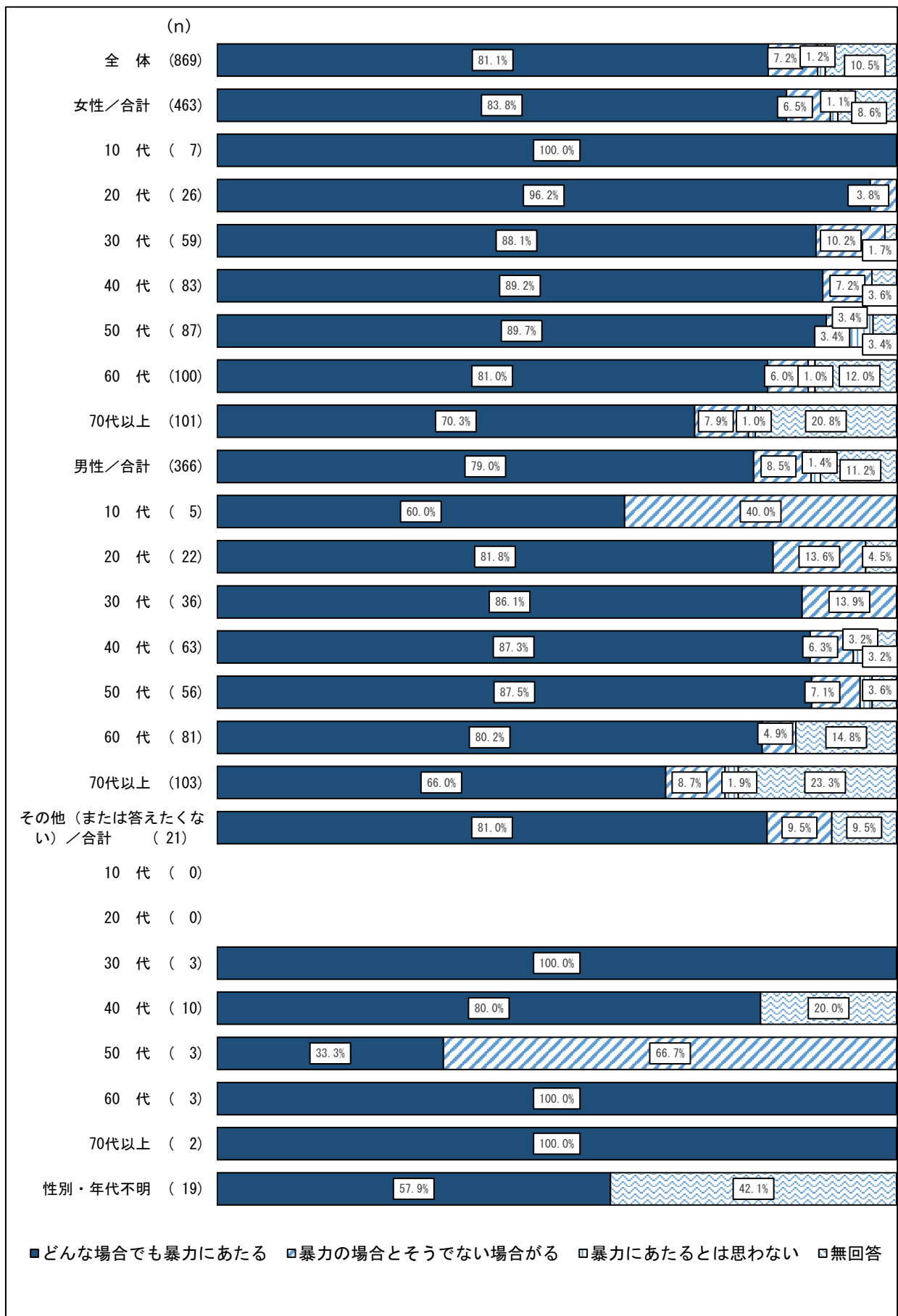
【性・年代別】⑧電話、SNS、メール、郵便物、交友関係を細かく監視したり制限したりする



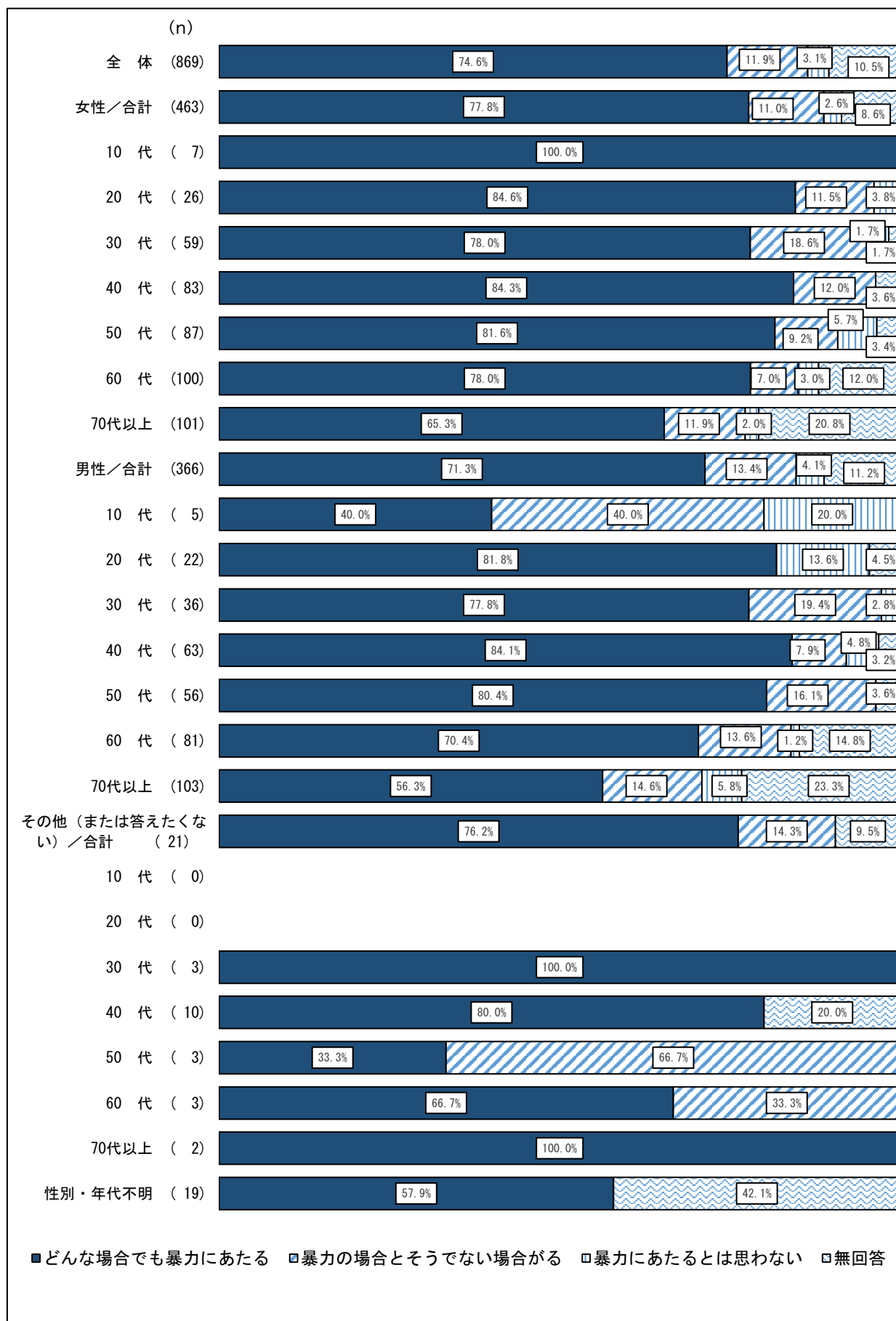
【性・年代別】⑨持ち物や大切にしている物をこわす



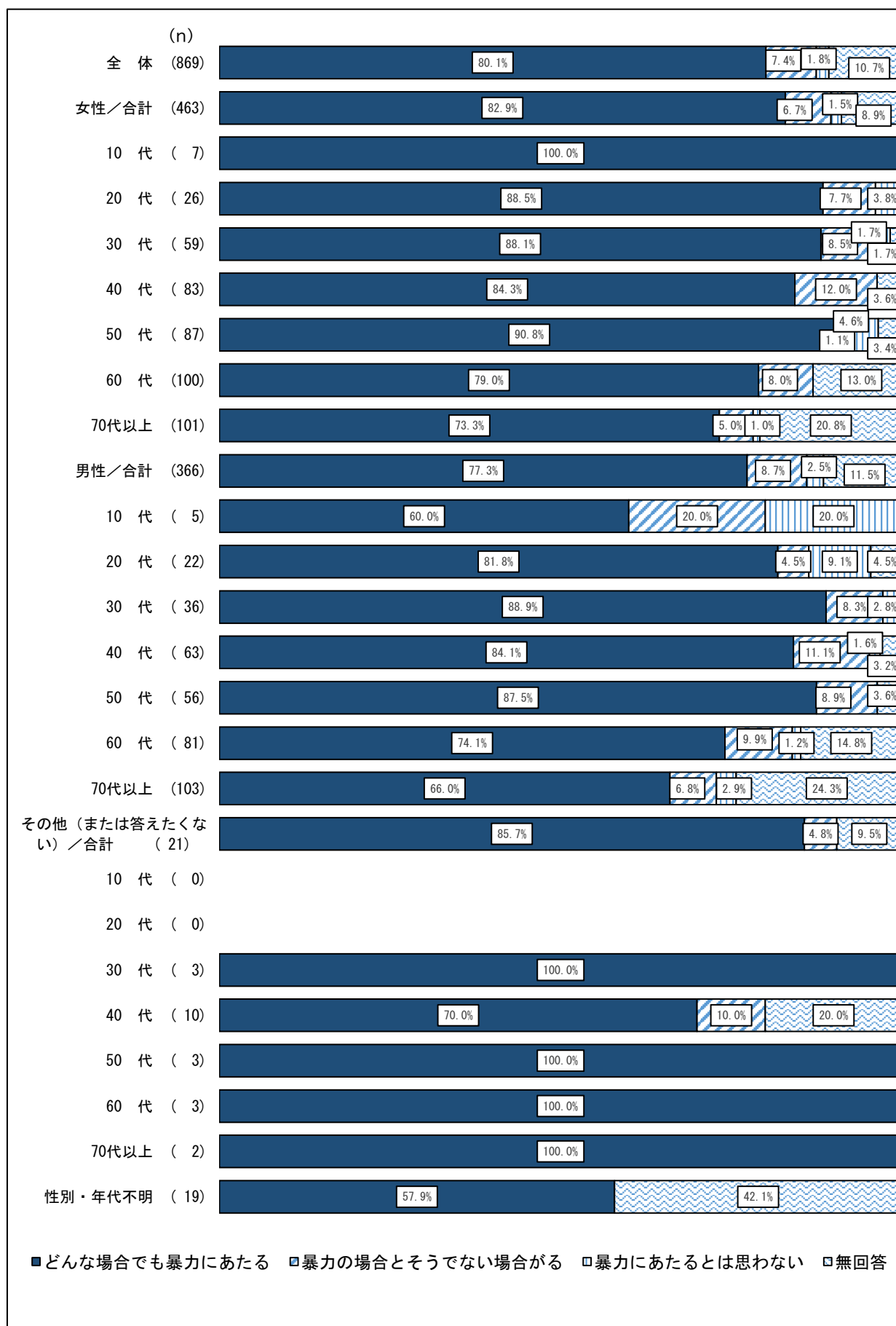
【性・年代別】⑩嫌がるのに、性的な行為を強要する



【性・年代別】⑪見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる



【性・年代別】⑫必要な生活費を渡さない、仕事を無理やり辞めさせて経済的に弱い立場に立たせる



### 配偶者などからの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について

これまでに配偶者や交際相手がい方にお伺いします。それ以外の方は問23へお進みください。

問22 あなたはこれまでに、あなたの配偶者（事実婚や別居中、離婚後も含む）や交際相手から、次の①～⑫のような行為をされたことがありますか。

（各項目1つだけ選択）

	まったく ない	1、2度 あった	何度も あった
①骨折、打ち身、切り傷などのケガをさせる	1	2	3
②平手でなぐる、足でける	1	2	3
③刃物などを突きつけて、おどす、物をなげつける	1	2	3
④身体を傷つける可能性のある物でなぐる、突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする	1	2	3
⑤なぐるふりをして、おどす	1	2	3
⑥大声でどなる、「役たたず」「能なし」などと言う	1	2	3
⑦何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
⑧電話、SNS、メール、郵便物、交友関係を細かく監視したり制限したりする	1	2	3
⑨持ち物や大切にしている物をこわす	1	2	3
⑩嫌がるのに、性的な行為を強要する	1	2	3
⑪見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3
⑫必要な生活費を渡さない、仕事を無理やり辞めさせて経済的に弱い立場に立たせる	1	2	3



「⑦何を言っても長期間無視し続ける」の「1、2度あった」が  
14.0%

全体、性・年代別ともに、全ての項目において「まったくない」が最も多い回答になっています。

全体の「何度もあった」では、「⑥大声でどなる、『役立たず』『能なし』などと言う」が7.5%で最も多く、次いで「⑦何を言っても長期間無視し続ける」が6.5%の順になっています。性・年代別で見ると、「⑥大声でどなる、『役立たず』『能なし』などと言う」は、「何度もあった」として、女性の30代、50代、60代、男性の30代で10%以上の割合で回答されています。

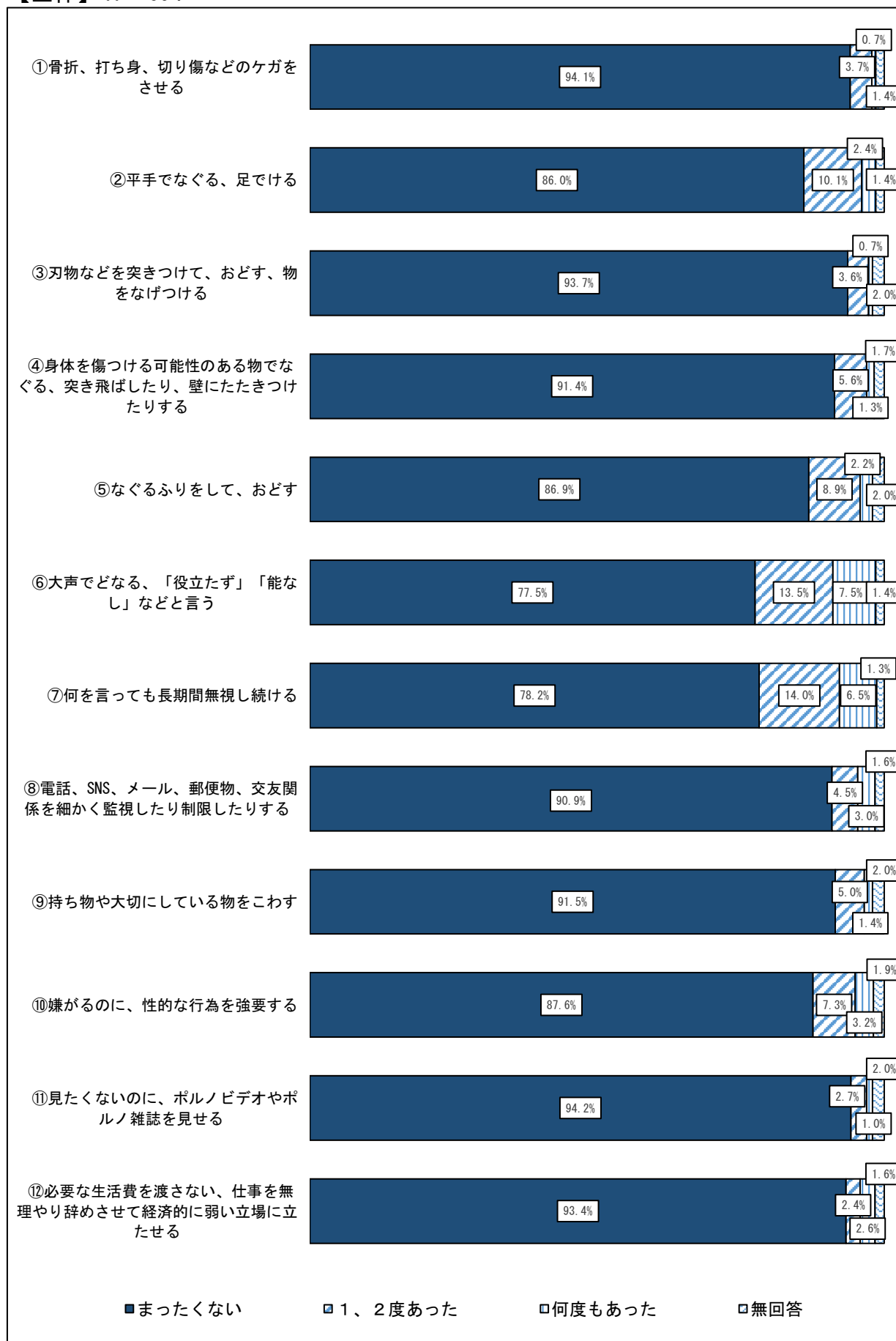
また、「1、2度あった」では、「⑦何を言っても長期間無視し続ける」が14.0%で最も多く、次いで「⑥大声でどなる、『役立たず』『能なし』などと言う」が13.5%の順になっています。性・年代別で見ると、「⑦何を言っても長期間無視し続ける」は、「1、2度あった」として、女性の20代、60代、男性の60代、70代以上で20%以上の割合で回答されています。

「まったくない」では、「⑪見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」が94.2%で最も多く、次いで「骨折、打ち身、切り傷などのケガをさせる」が94.1%の順になっています。

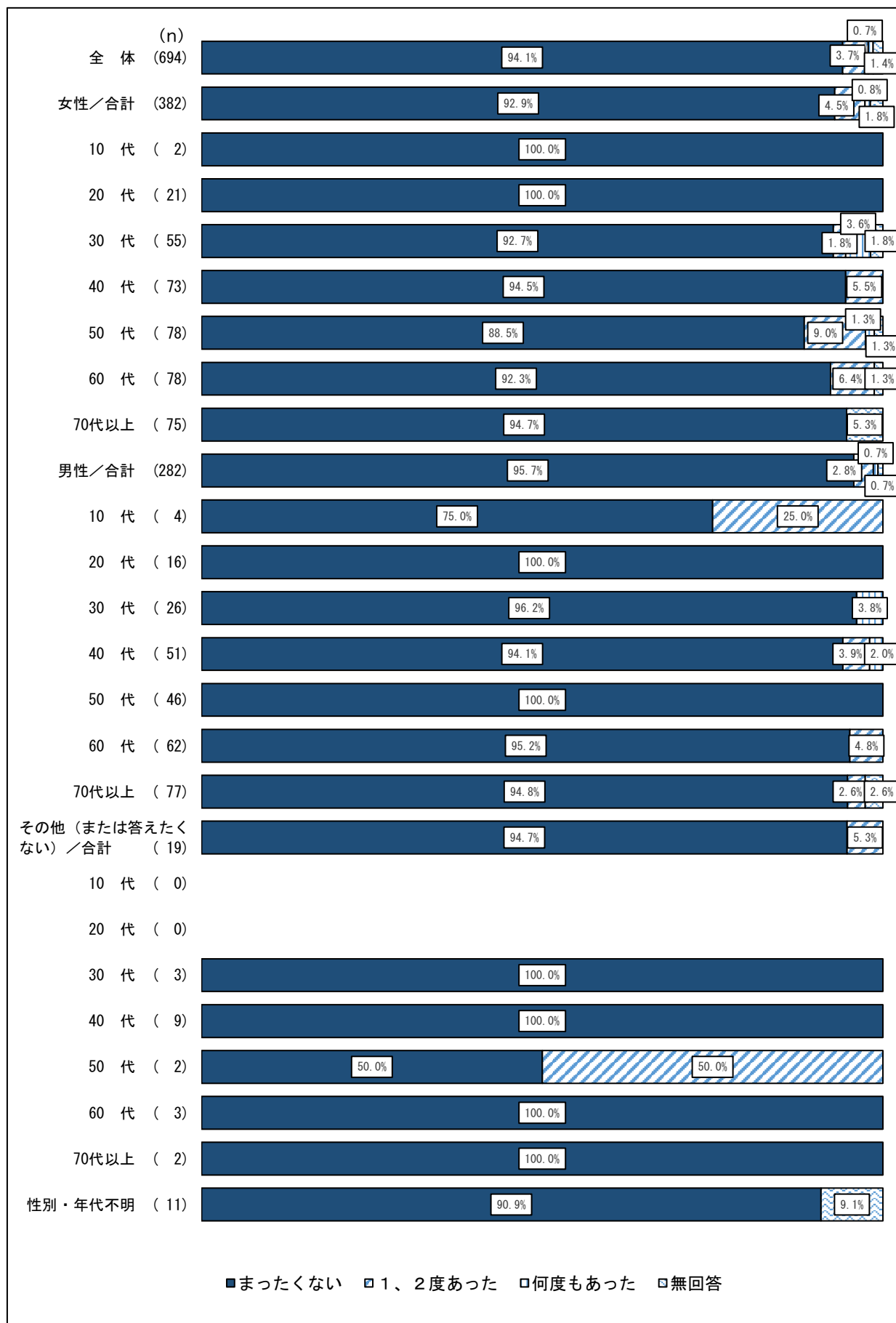
「何度もあった」を性別で見ると、「⑥大声でどなる、『役立たず』『能なし』などと言う」（女性10.2%、男性4.6%）、「⑦何を言っても長期間無視し続ける」（女性8.4%、男性4.3%）、「⑩嫌がるのに、性的な行為を強要する」（女性5.0%、男性0.7%）では、女性の回答の割合が男性の回答の割合を大きく上回っています。

また、「1、2度あった」を性別で見ると、「②平手でなぐる、足でける」（女性13.1%、男性6.4%）、「⑤なぐるふりをして、おどす」（女性12.3%、男性5.3%）、「⑩嫌がるのに、性的な行為を強要する」（女性11.0%、男性2.8%）では、女性の回答の割合が男性の回答の割合を大きく上回っています。他方、「⑥大声でどなる、『役立たず』『能なし』などと言う」（女性15.4%、男性11.3%）、「⑦何を言っても長期間無視し続ける」（女性14.7%、男性14.2%）、「⑧電話、SNS、メール、郵便物、交友関係を細かく監視したり制限したりする」（女性4.2%、男性5.3%）では、回答の割合での男女差は大きくありません。

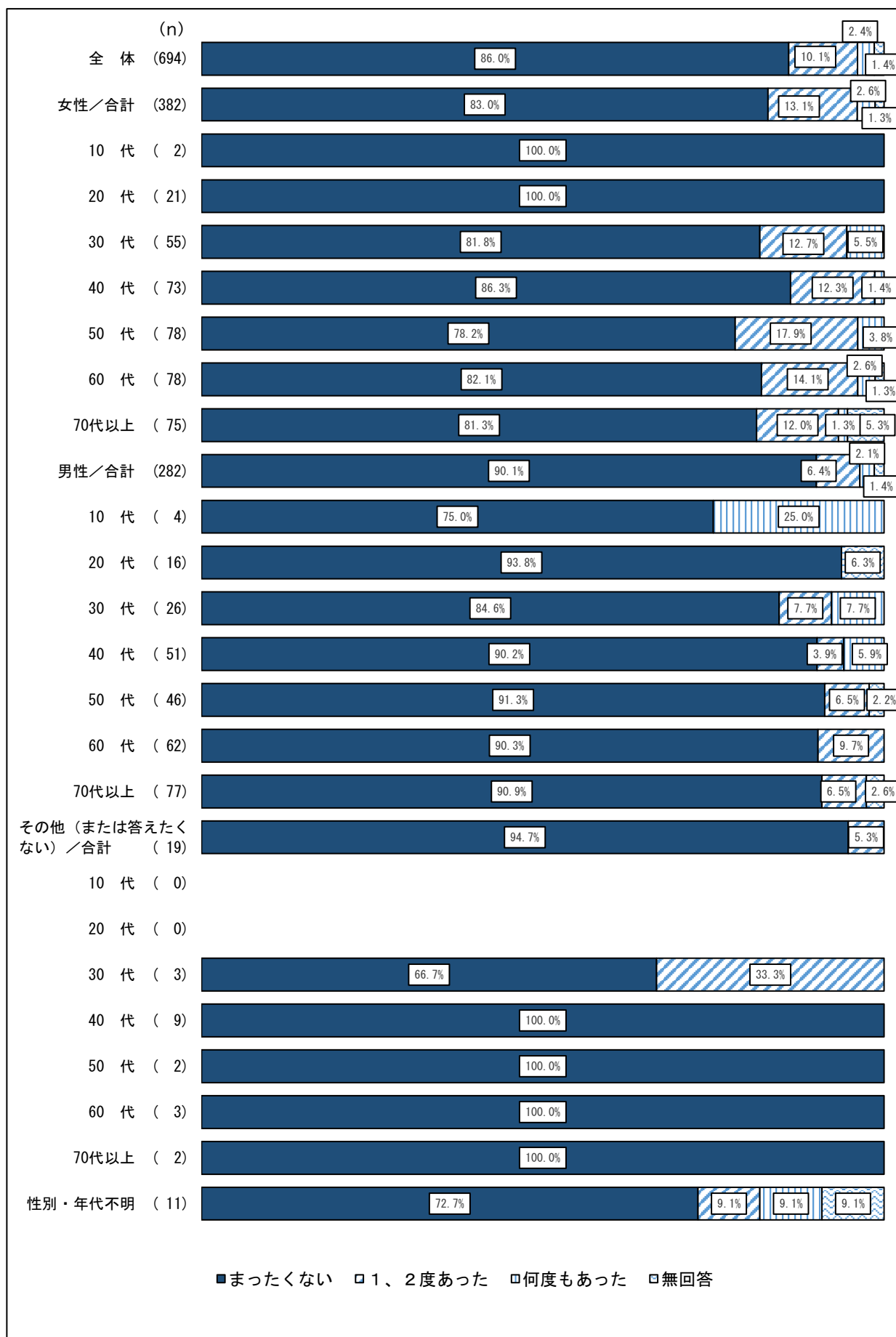
【全体】 n=694



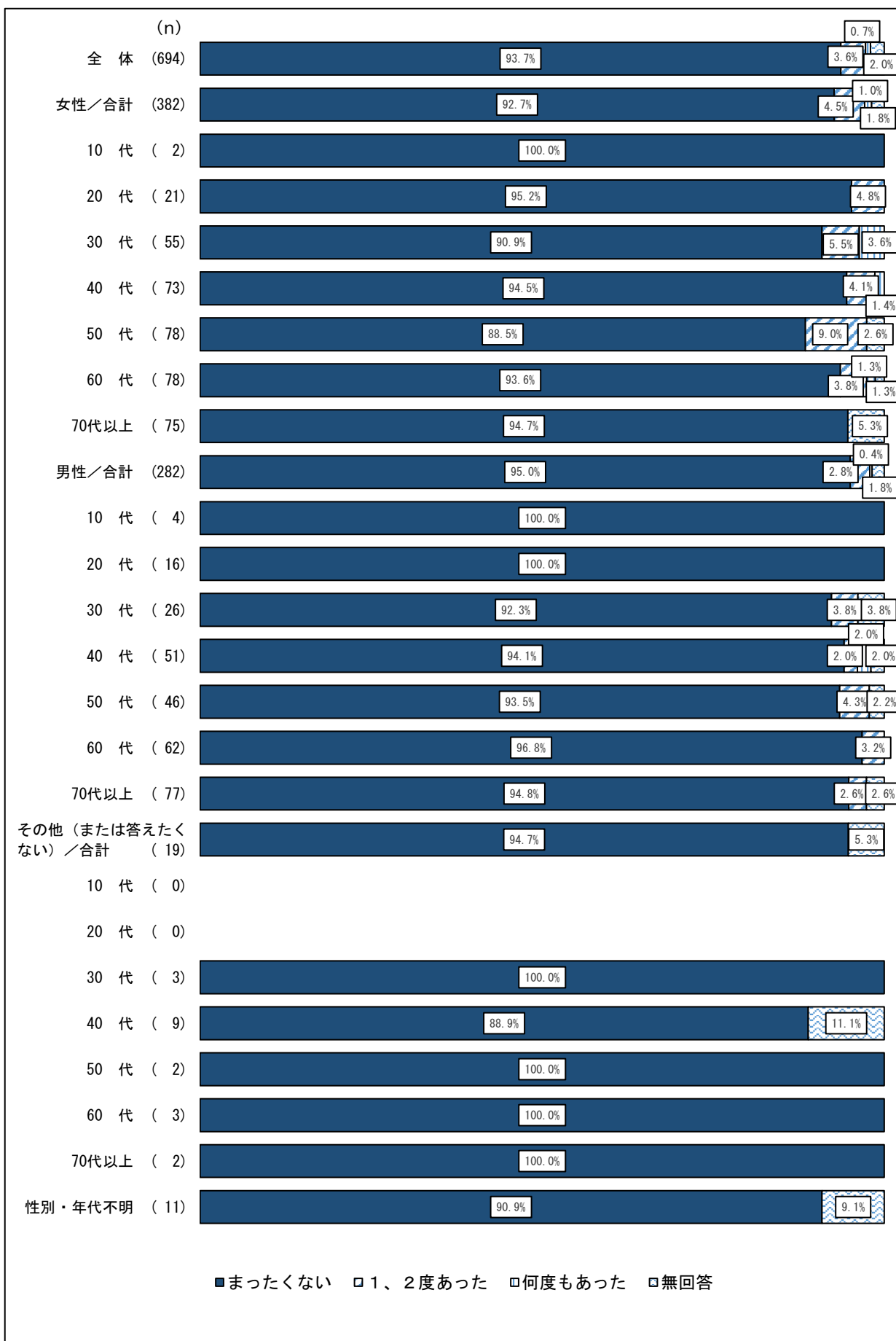
【性・年代別】①骨折、打ち身、切り傷などのケガをさせる



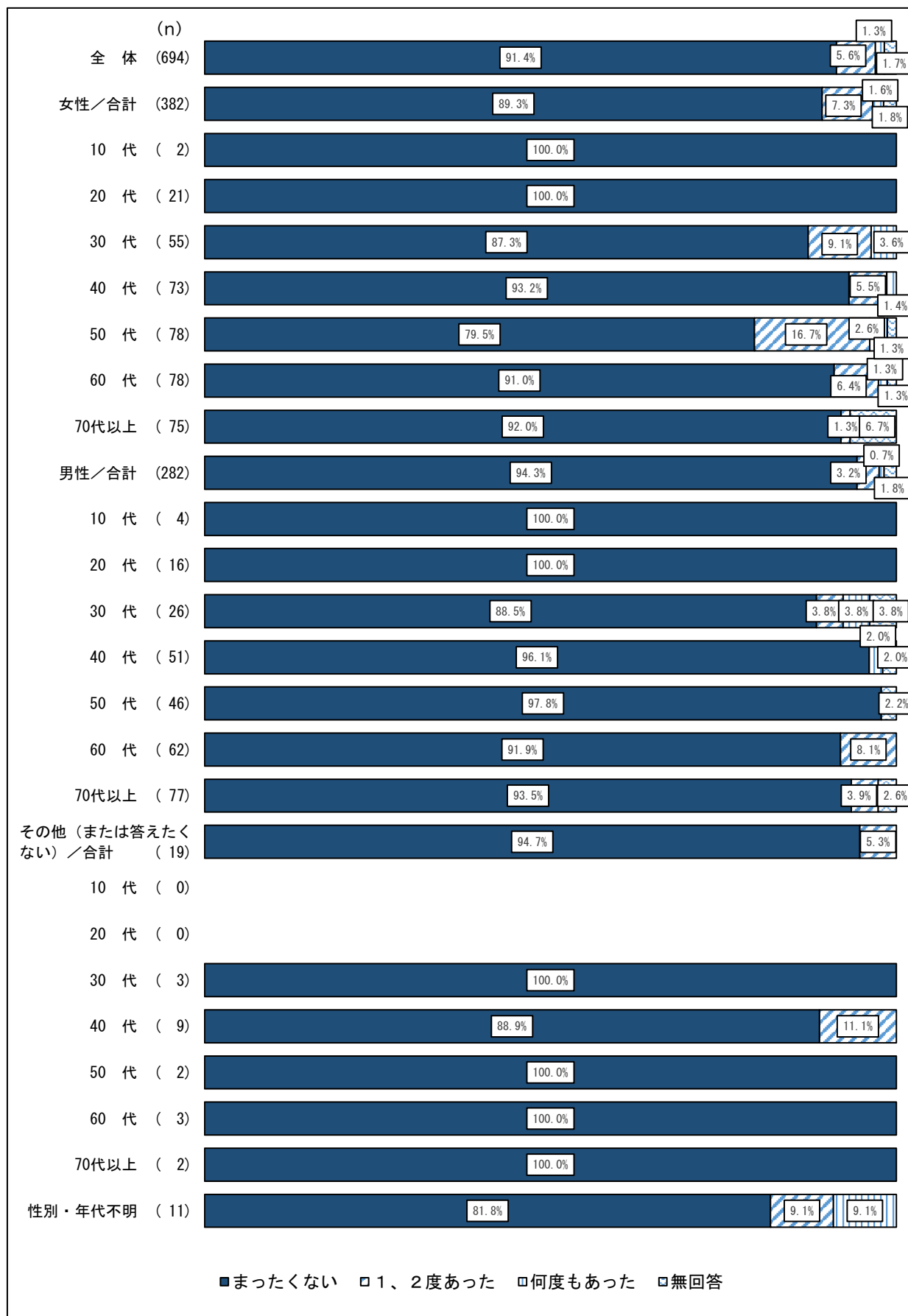
【性・年代別】②平手でなぐる、足でける



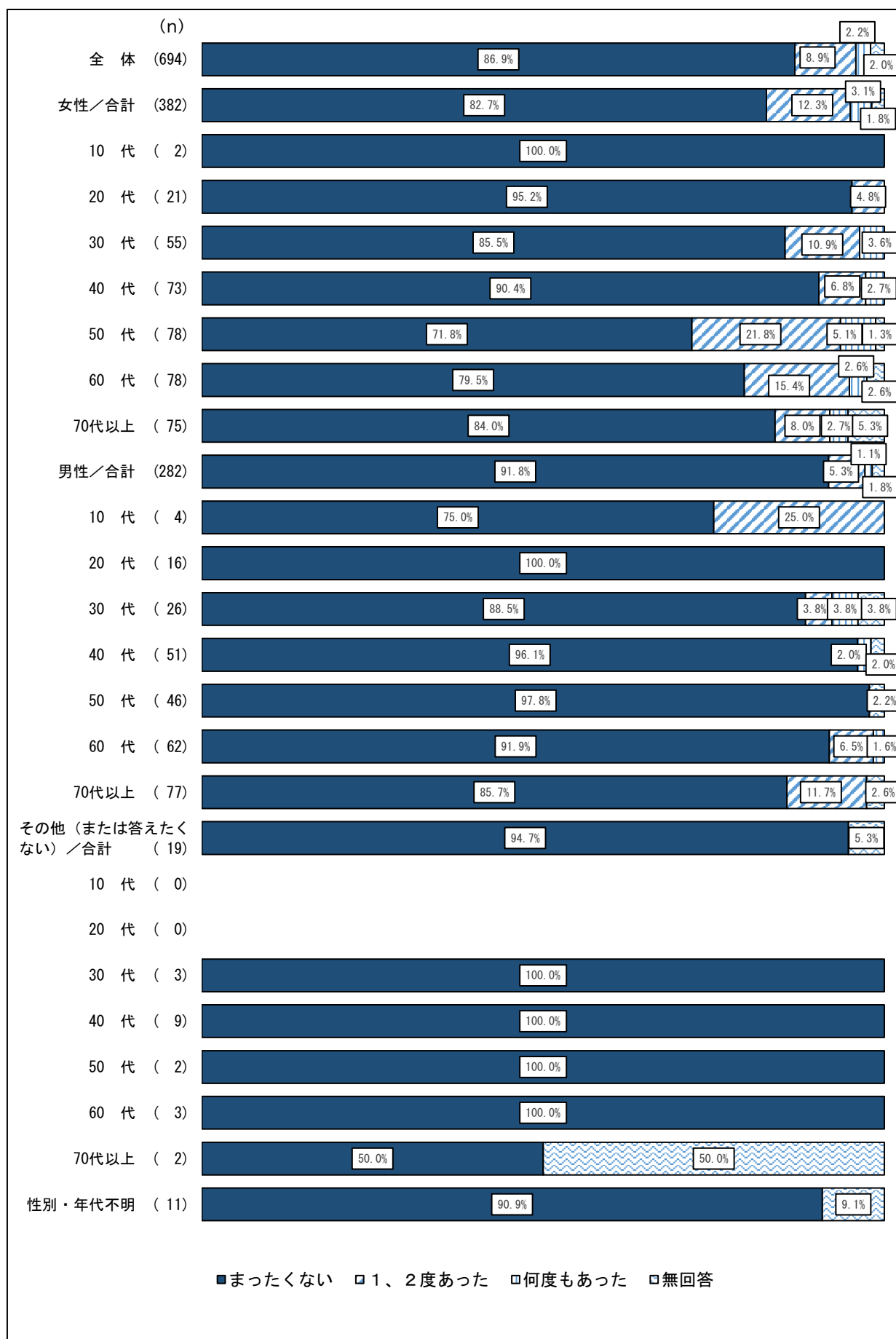
【性・年代別】③刃物などを突きつけて、おどす、物を投げつける



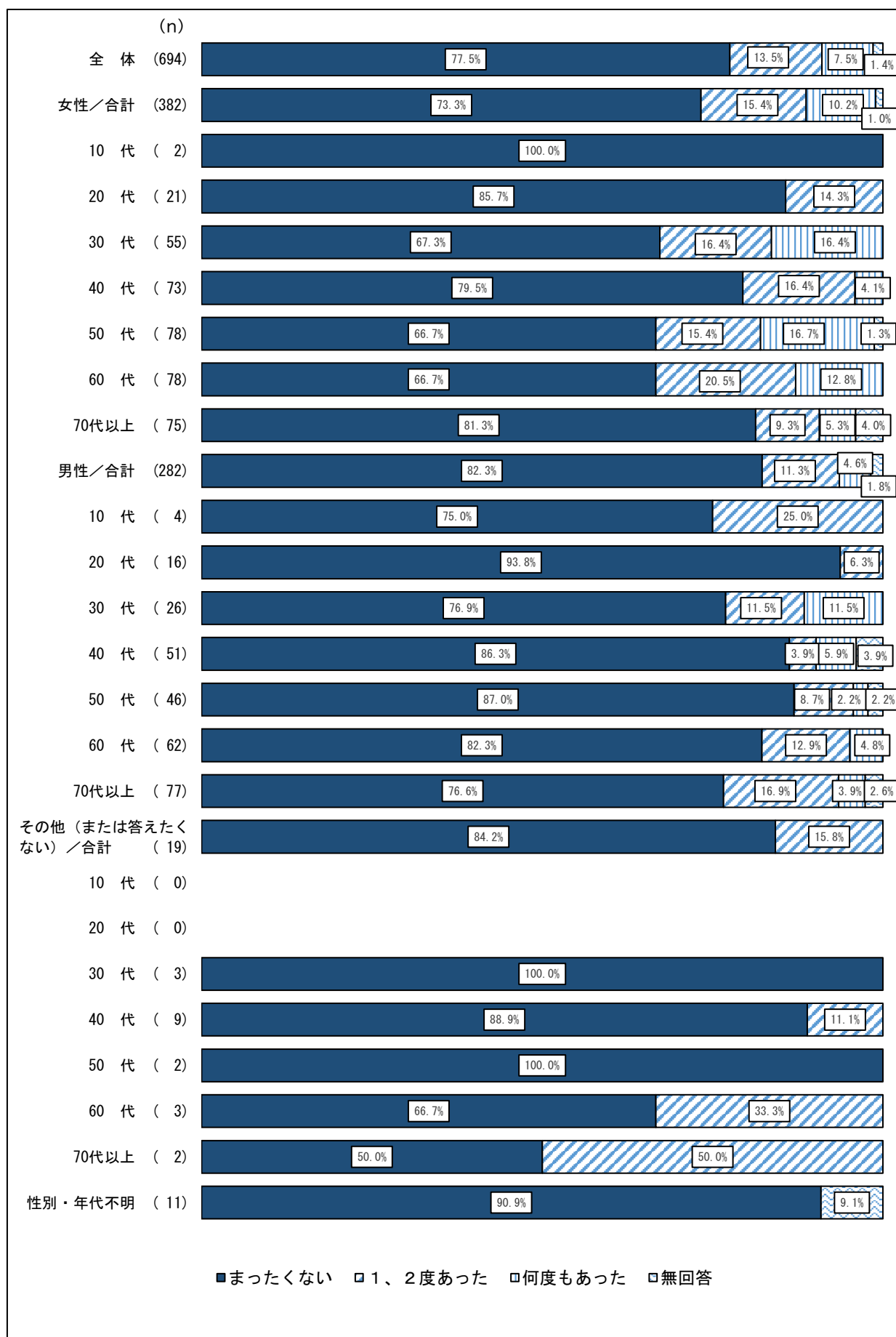
【性・年代別】④身体を傷つける可能性のある物でなぐる、突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする



【性・年代別】⑤なぐるふりをして、おどす

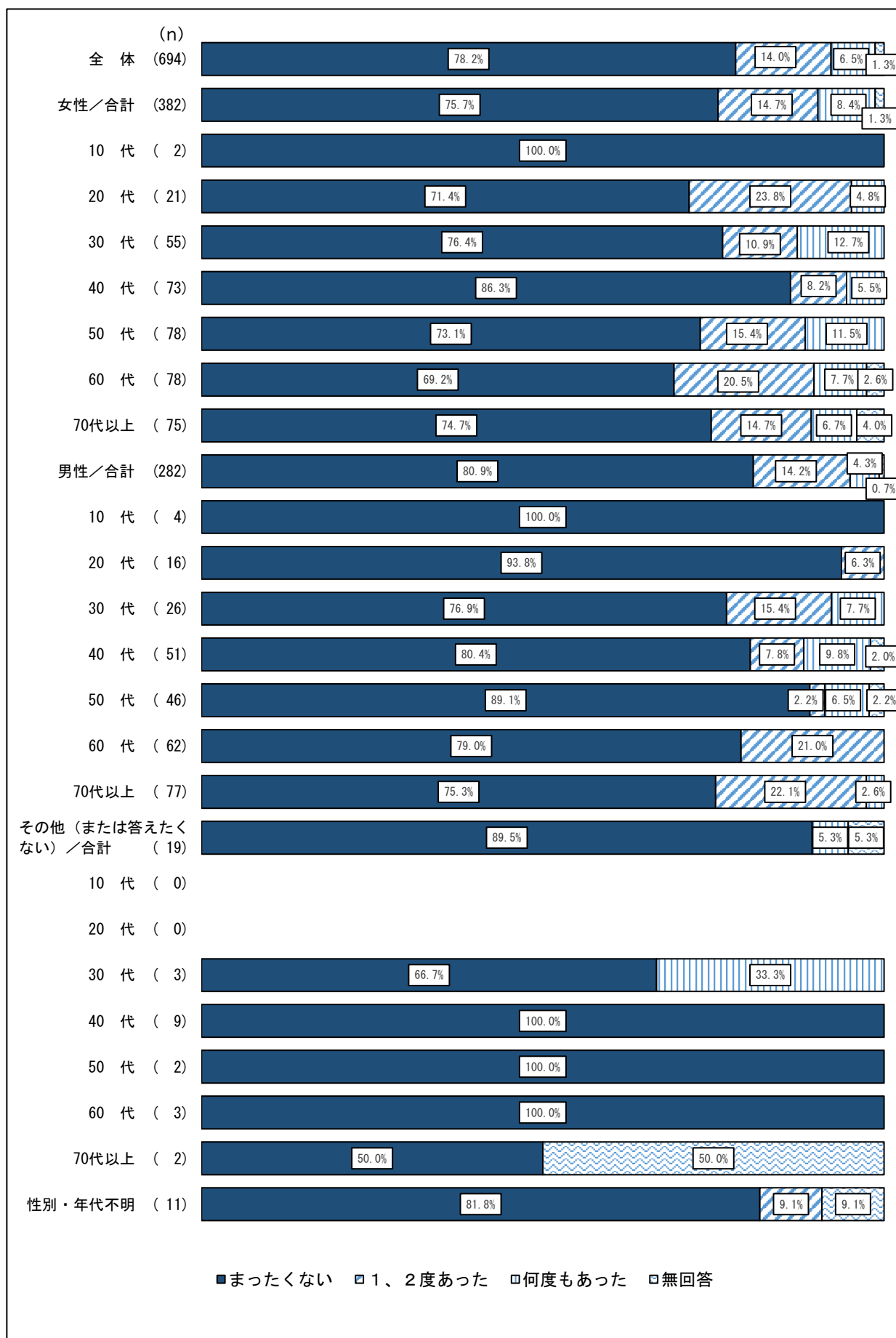


【性・年代別】⑥大声でどなる、「役立たず」「能なし」などと言う

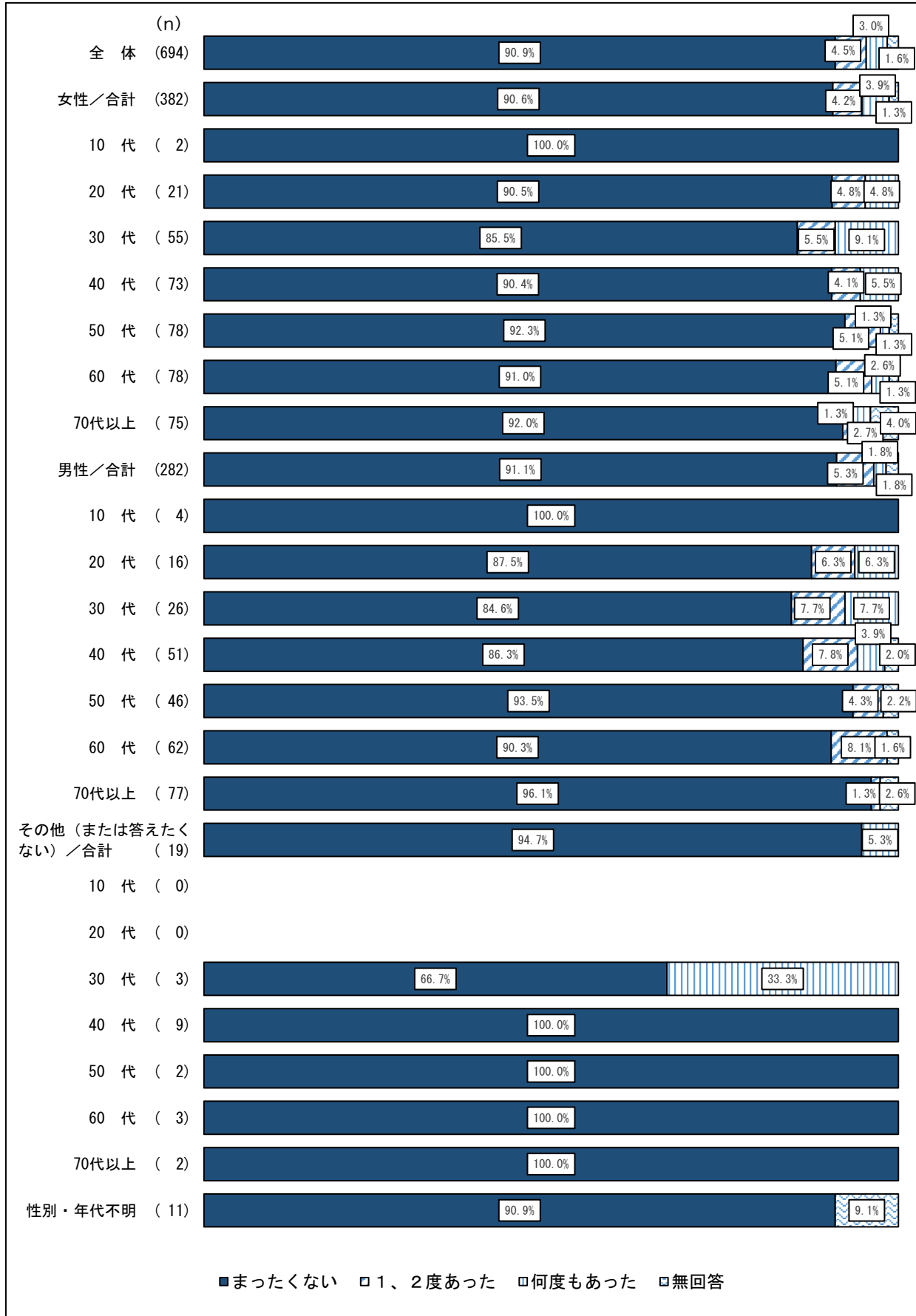




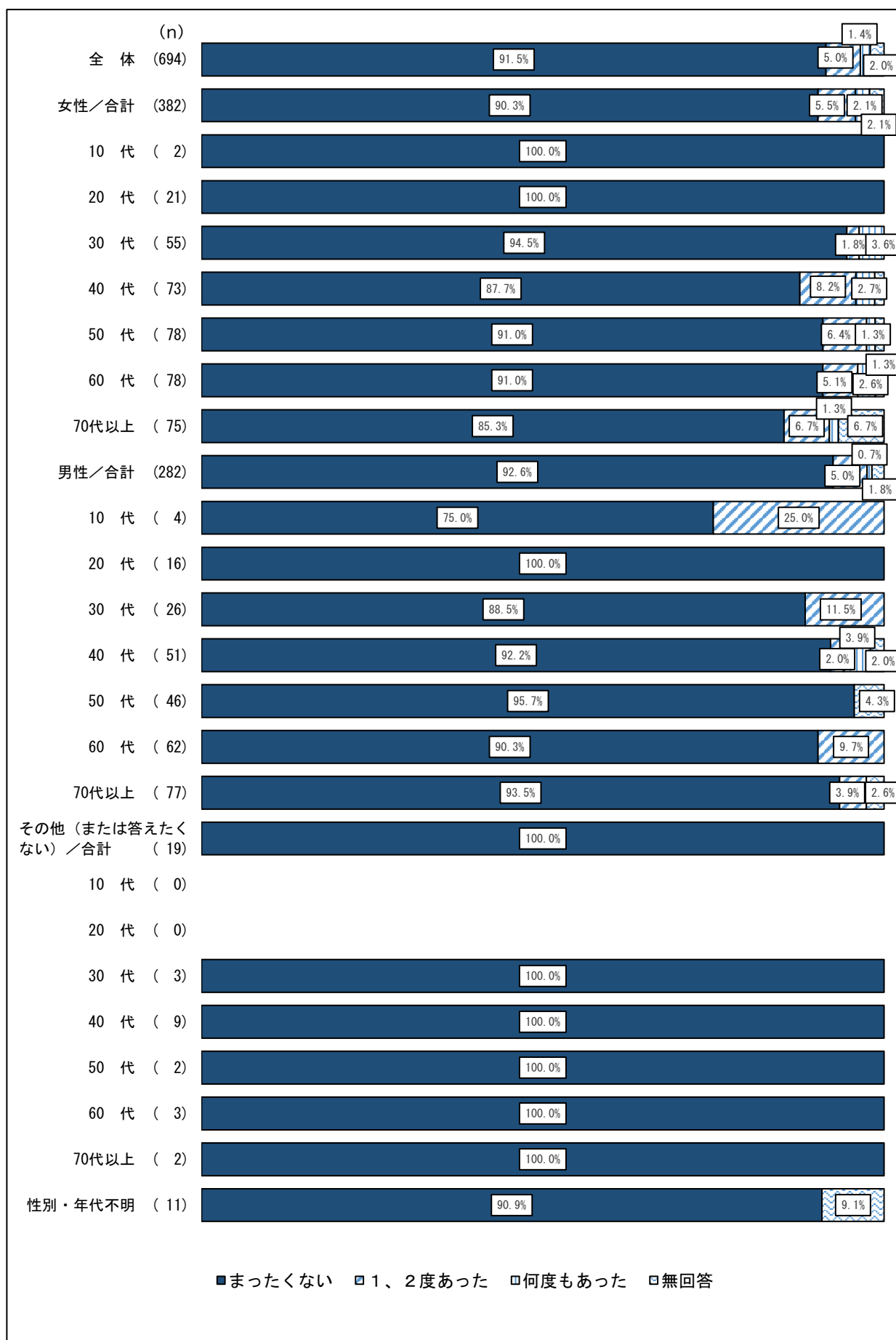
【性・年代別】⑦何を言っても長期間無視し続ける



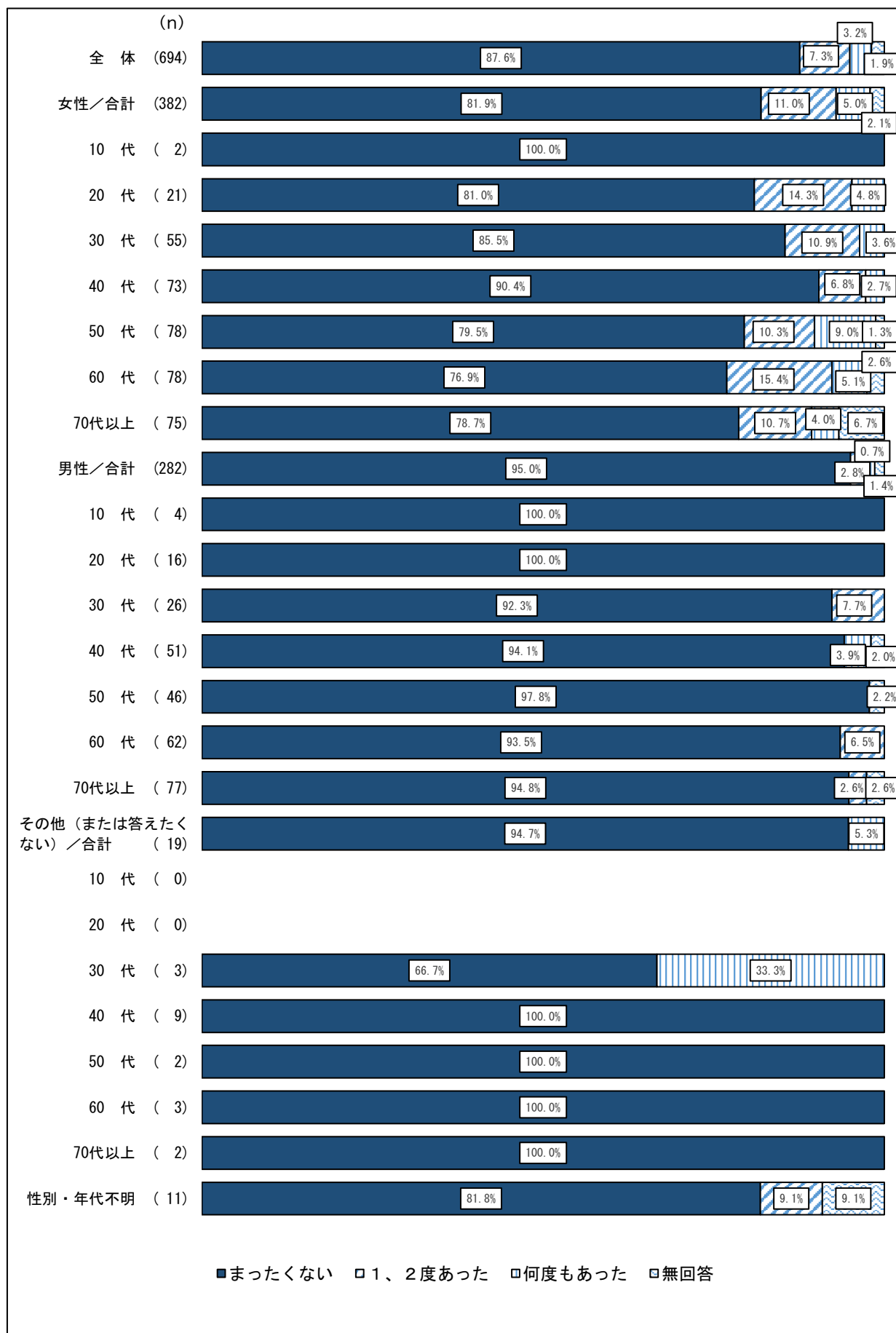
【性・年代別】⑧電話、SNS、メール、郵便物、交友関係を細かく監視したり制限したりする



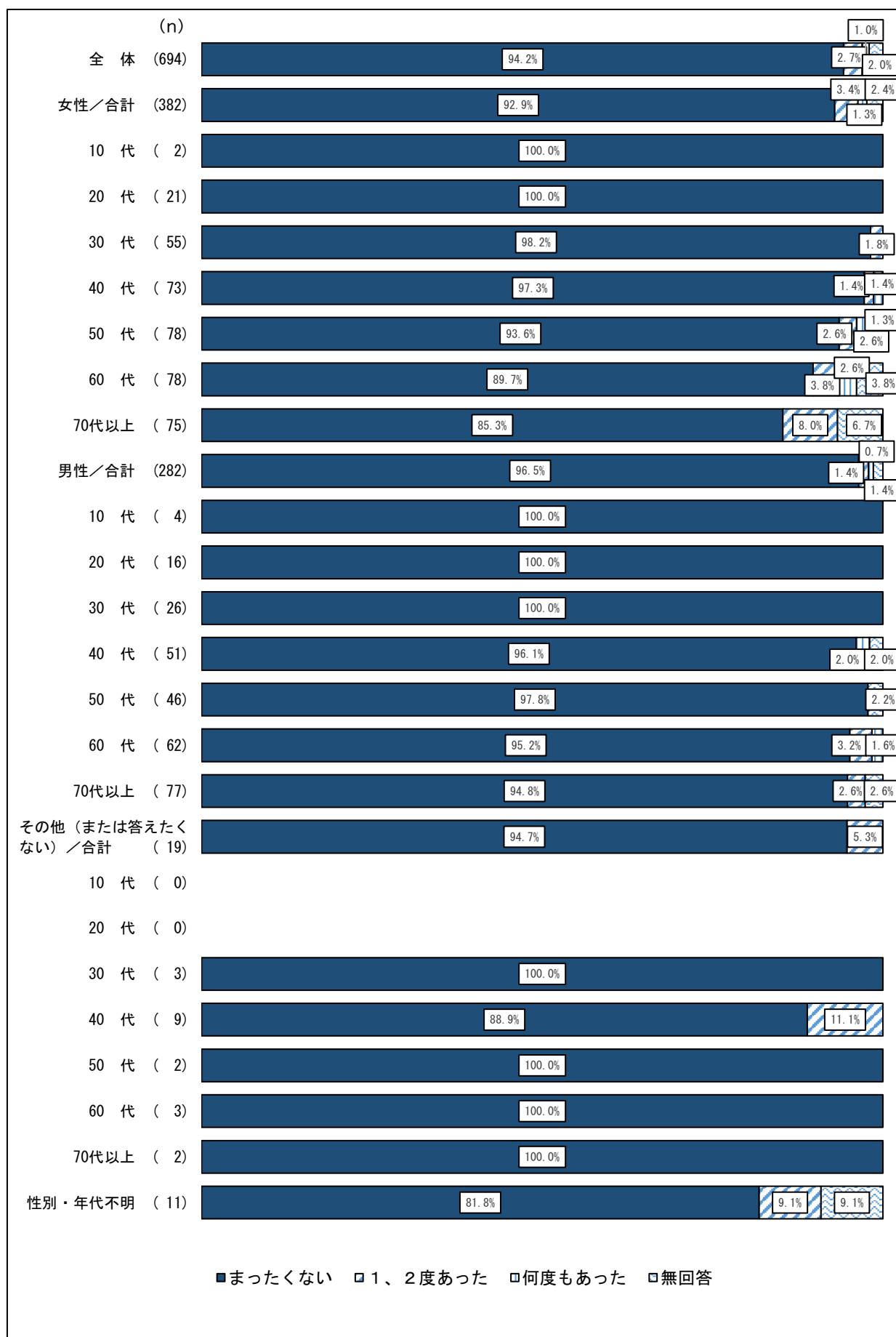
【性・年代別】⑨持ち物や大切にしている物をこわす



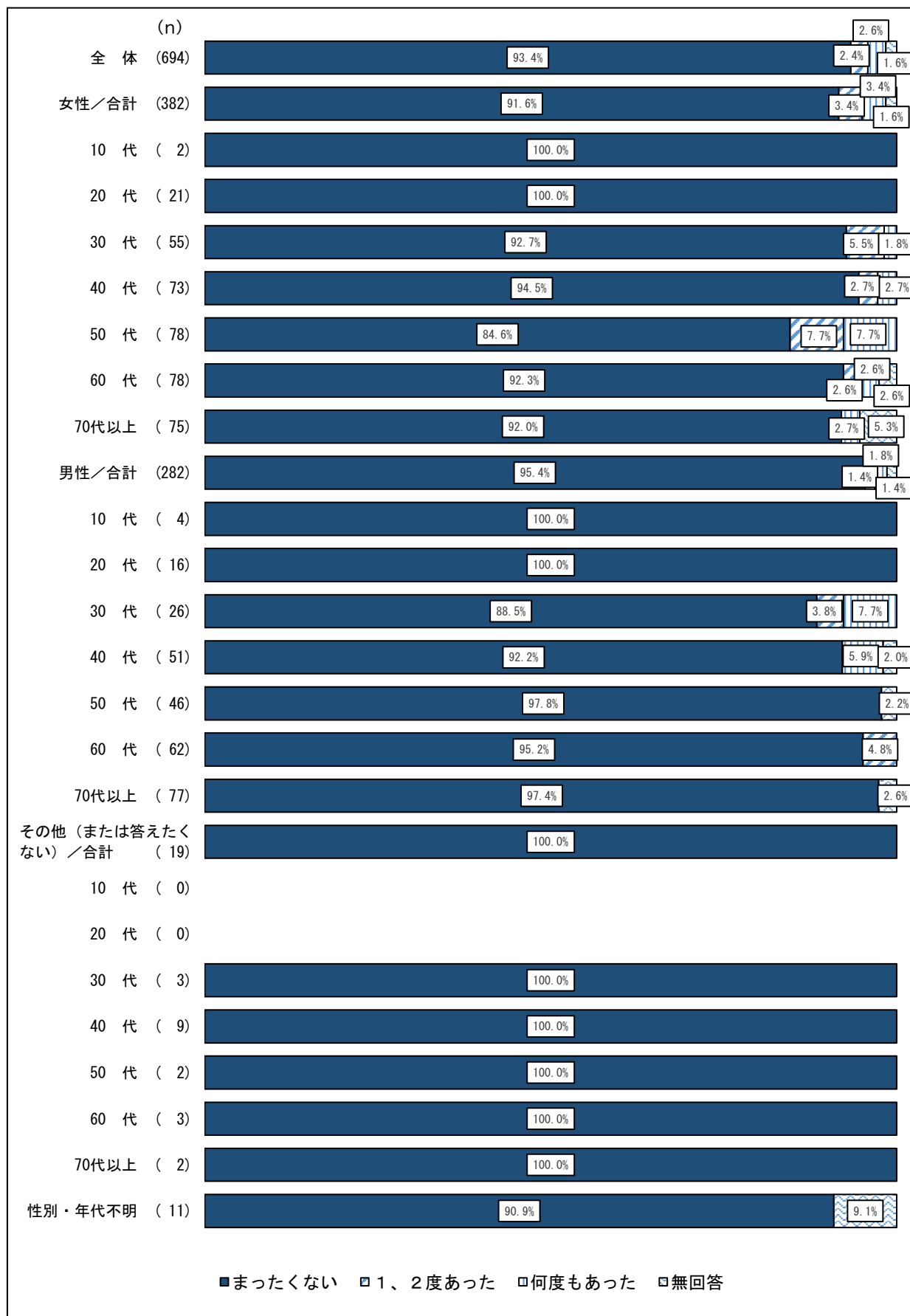
【性・年代別】⑩嫌がるのに、性的な行為を強要する



【性・年代別】⑪見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる



【性・年代別】⑫必要な生活費を渡さない、仕事を無理やり辞めさせて経済的に弱い立場に立たせる



配偶者などからの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について

（問 22 で、1 つでも「2. 1、2 度あった」又は「3. 何度もあった」と回答した方にお伺いします。）

問 22-1 あなたは、相手から受けた行為について、誰かに相談しましたか。  
（1 つだけ選択）

1. 相談した      2. 相談できなかった      3. 相談しようとは思わなかった

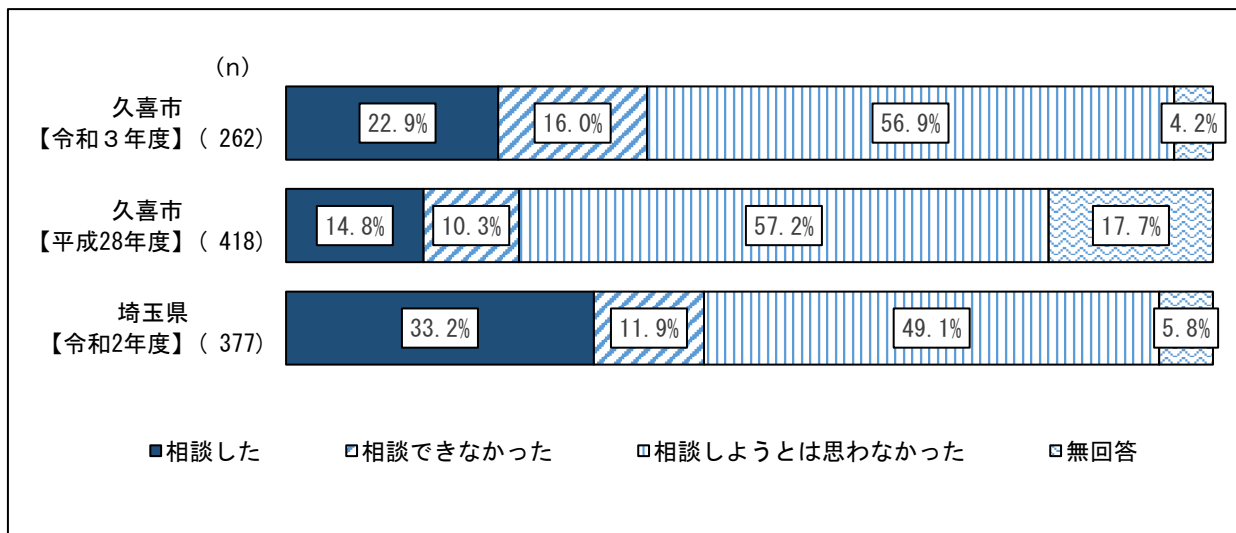
「相談した」との回答は 22.9%

全体では、「相談しようとは思わなかった」が 56.9% と最も多く、次いで「相談した」が 22.9% の順となっています。

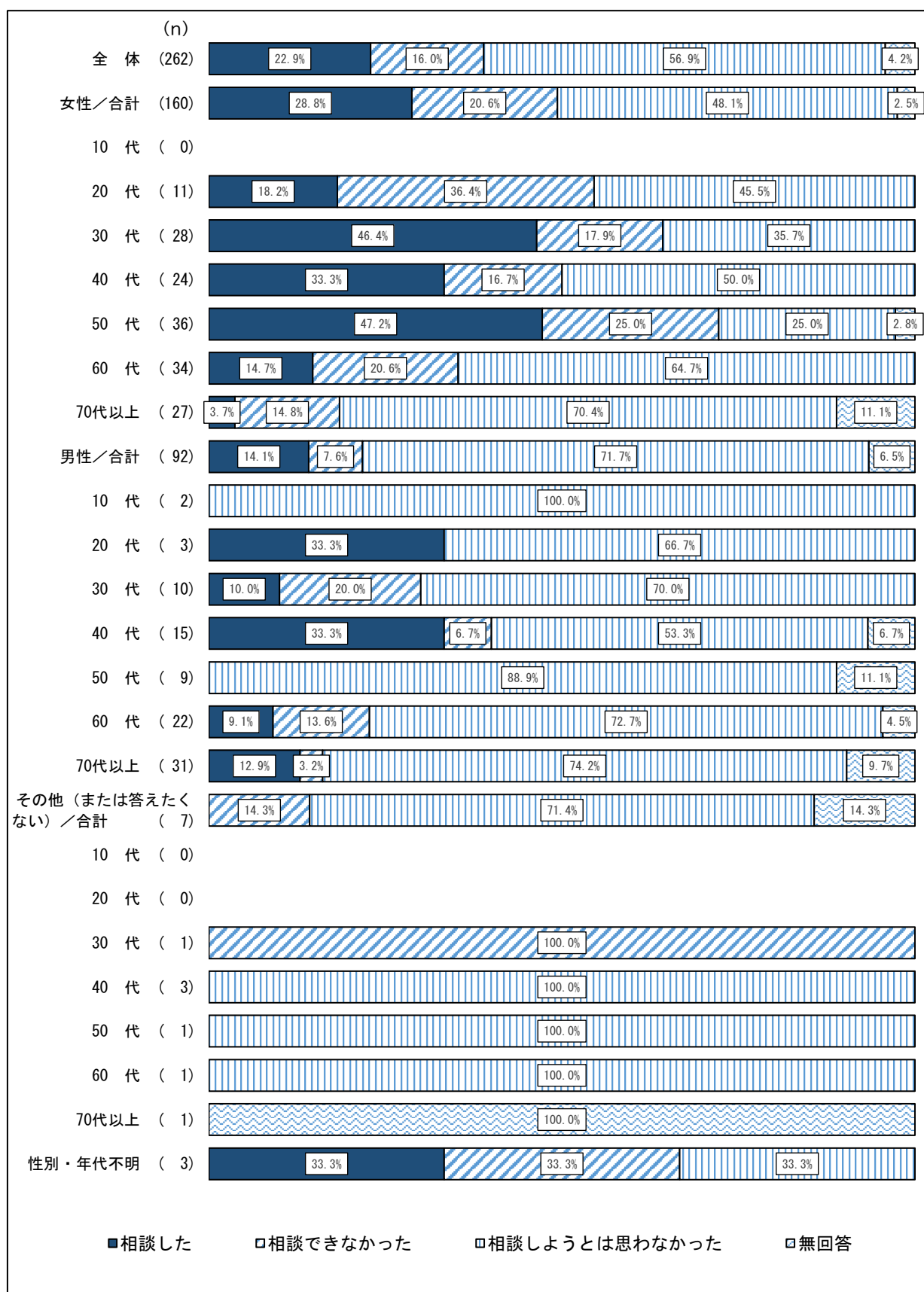
性・年代別で見ると、女性の 30 代、50 代で「相談した」との回答が 45% を超えています。また、男性の 20 代、40 代でも 30% を超えています。男性の 10 代、50 代とその他では、「相談した」との回答はありませんでした。

平成 28 年度調査と比較すると、設問の回答者（DV 被害の経験者）は 156 人減少していますが、「相談した」との回答は 8.1 ポイント増加しています。

【全体・経年比較】



【性・年代別】





## 配偶者などからの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について

（問 2 2 - 1 で、「1. 相談した」と回答した方にお伺いします。）

問 2 2 - 2 あなたが、相談した人（場所）を教えてください。

（あてはまる番号すべて選択）

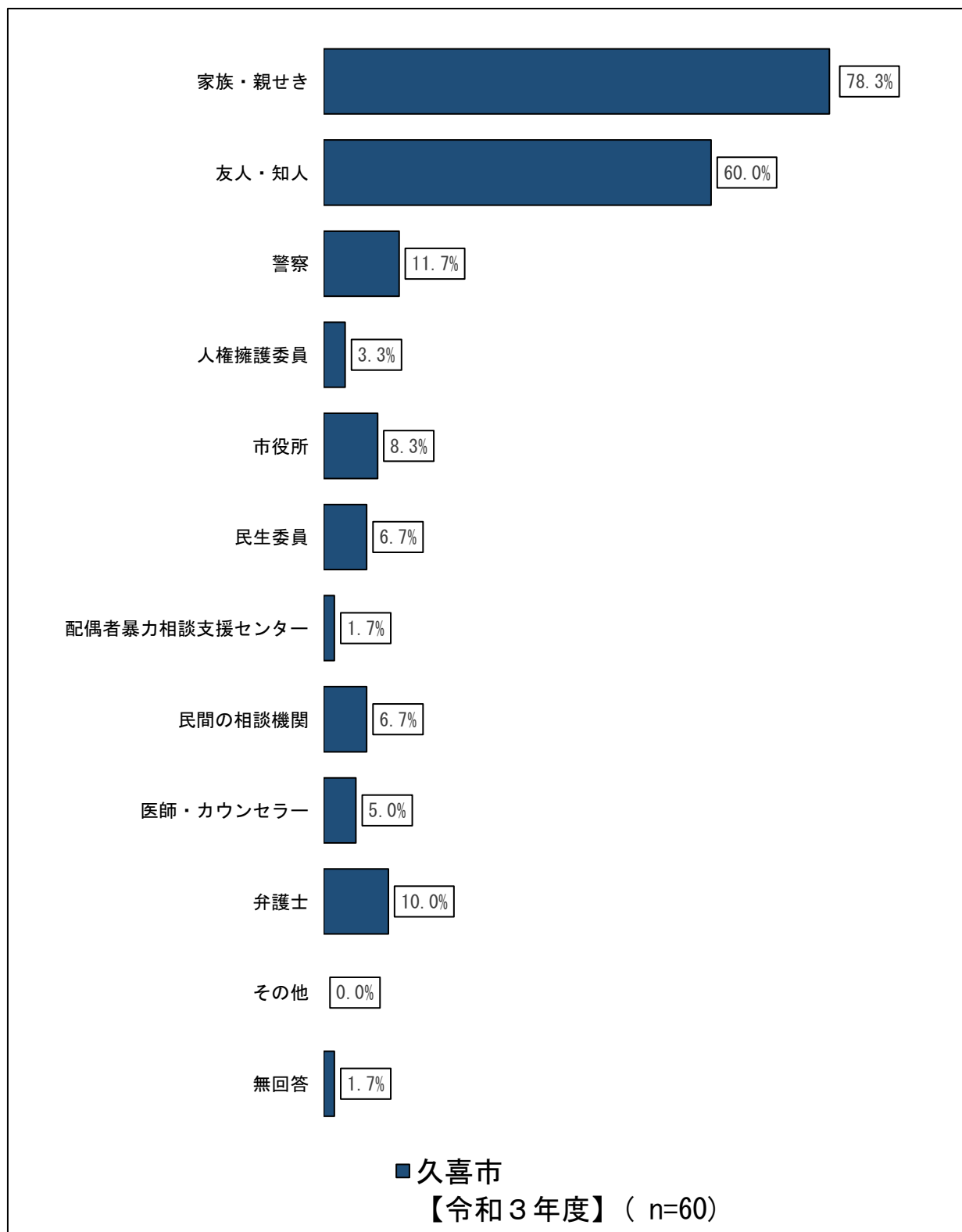
1. 家族・親せき	7. 配偶者暴力相談支援センター
2. 友人・知人	8. 民間の相談機関
3. 警察	9. 医師・カウンセラー
4. 人権擁護委員	10. 弁護士
5. 市役所	11. その他( )
6. 民生委員	

「家族・親せき」が78.3%、次いで「友人・知人」が60.0%

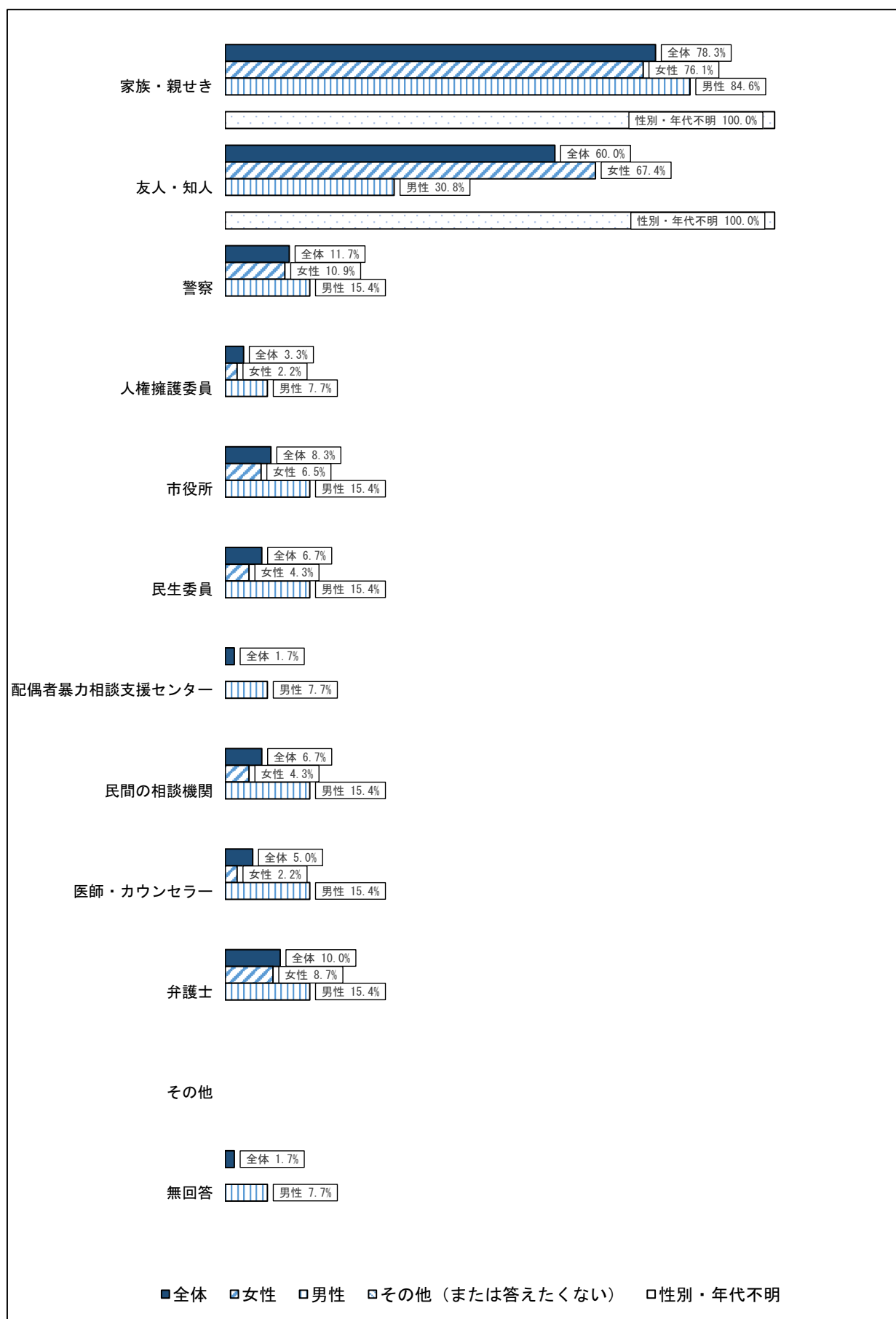
相談した人（場所）で最も多かったのは、「家族・親せき」の78.3%で、次いで「友人・知人」が60.0%となっています。3番目に多い回答は「警察」ですが、その割合は11.7%で、「家族・親せき」「友人・知人」と比べると大きな差があります。

性別で見ると、「友人・知人」と回答した男性は30.8%となっており、女性の67.4%に対し半分以下となっています。また、男性は「警察」や「市役所」など他の場所に相談した割合が女性よりも多くなっています。

【全 体】 n=60

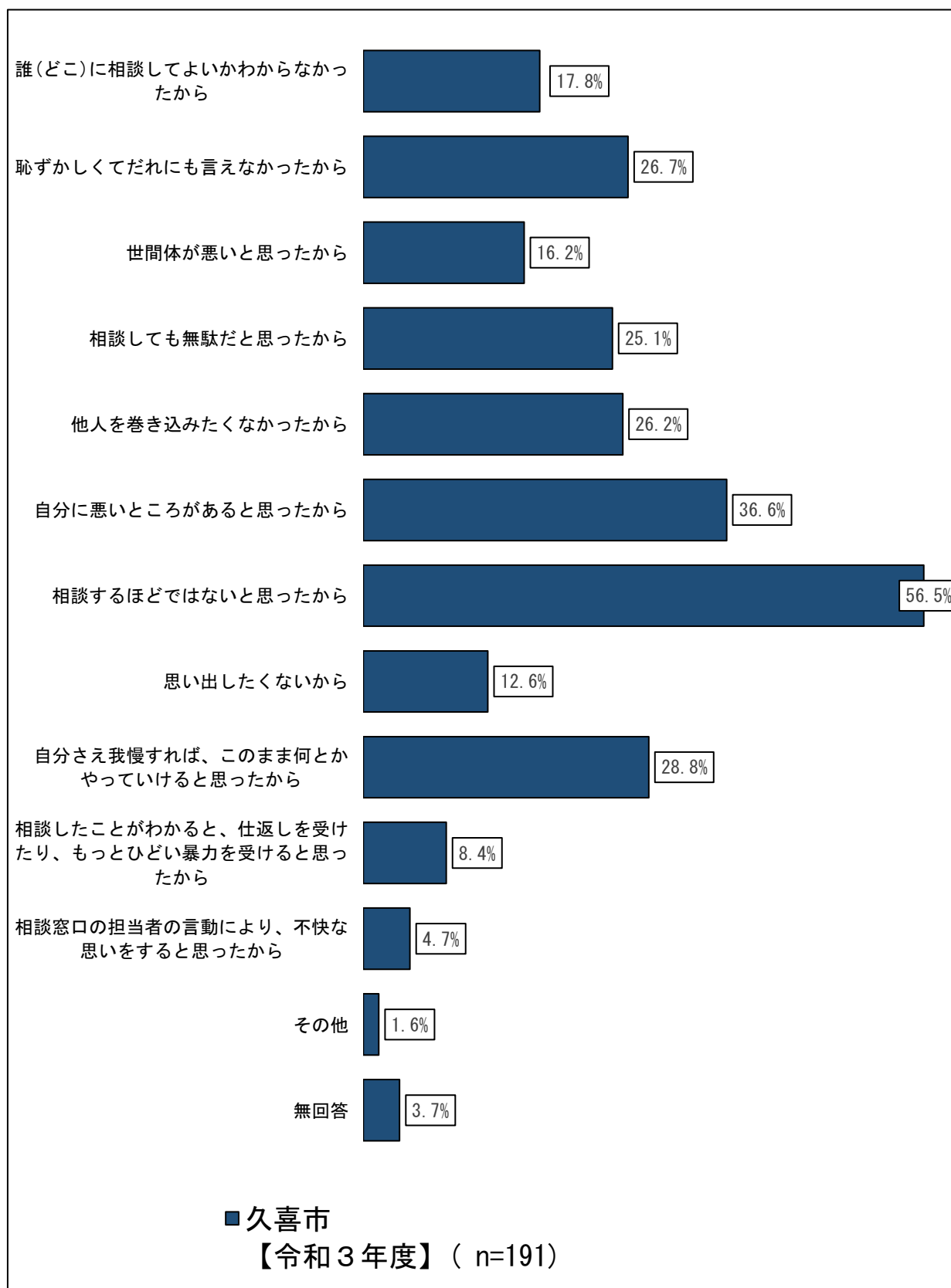


【性別】 n=60





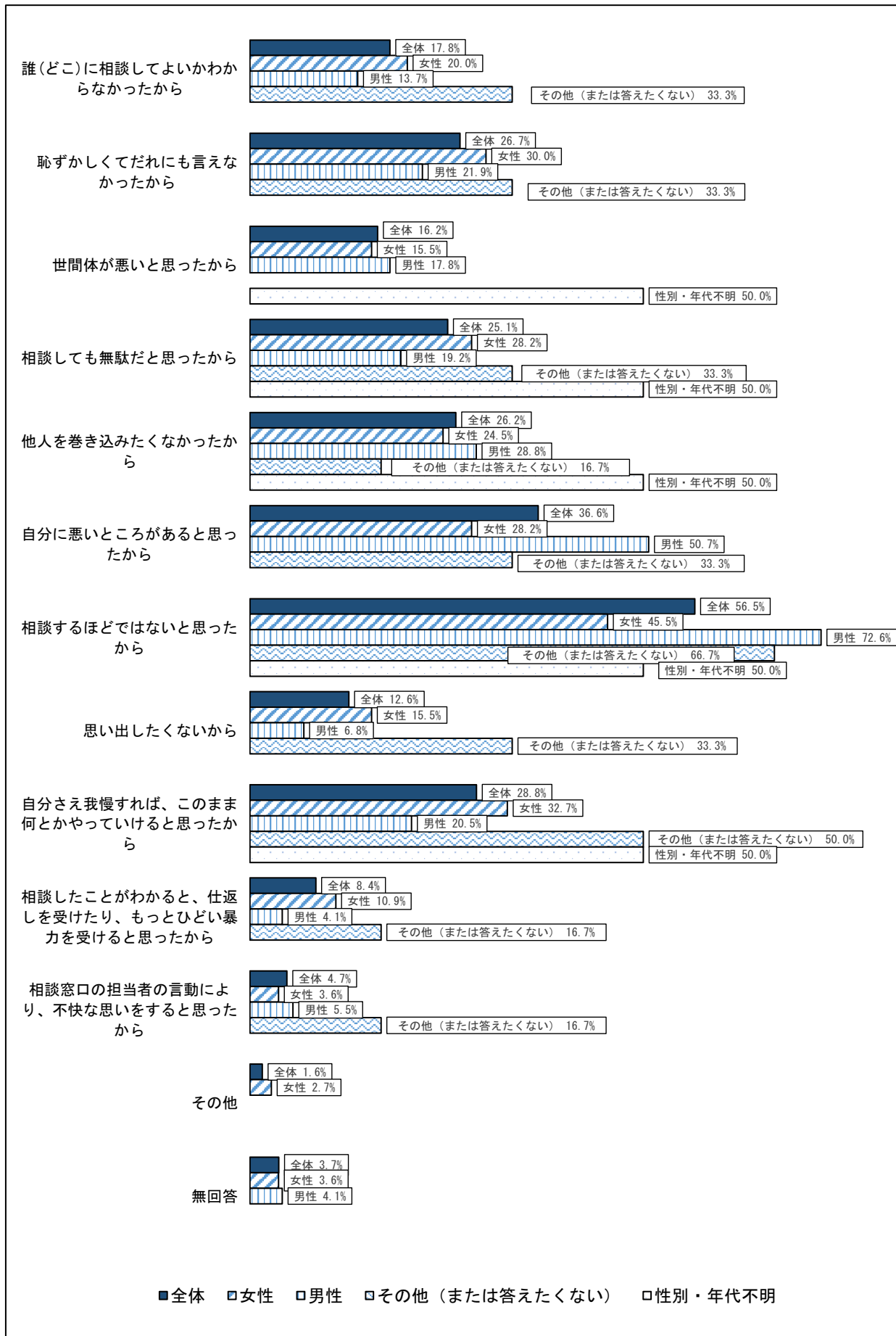
【全 体】 n=191



その他の回答（記述分）

言い返したり、おかしいことだと話して理解してもらえたから (1)、時が解決 (1)、根本的な解決に至らなくても、大体は自分で解決できたから (1)

【性別】 n = 191



**配偶者などからの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について**

問23 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）に対する防止には、どのようなことが必要だと思えますか。（あてはまる番号すべて選択）

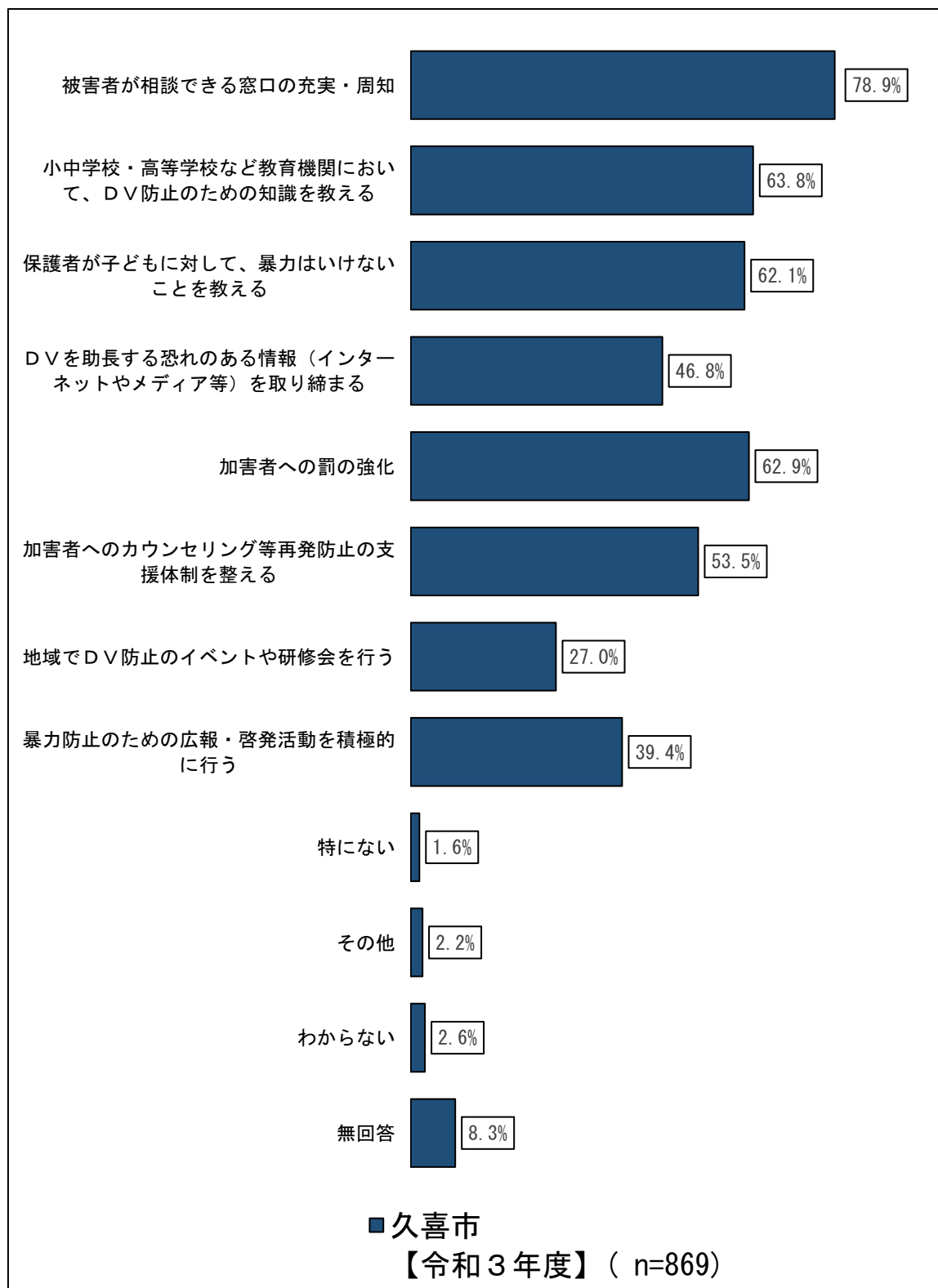
1. 被害者が相談できる窓口の充実・周知
2. 小中学校・高等学校など教育機関において、DV防止のための知識を教える
3. 保護者が子どもに対して、暴力はいけないことを教える
4. DVを助長する恐れのある情報（インターネットやメディア等）を取り締まる
5. 加害者への罰の強化
6. 加害者へのカウンセリング等再発防止の支援体制を整える
7. 地域でDV防止のイベントや研修会を行う
8. 暴力防止のための広報・啓発活動を積極的に行う
9. 特にない
10. その他( )
11. わからない

**「被害者が相談できる窓口の充実・周知」が78.9%**

全体で最も回答が多かったのは、「被害者が相談できる窓口の充実・周知」で78.9%、次いで「小中学校・高等学校など教育機関において、DV防止のための知識を教える」の63.8%となっています。

性別で見ると、「加害者へのカウンセリング等再発防止の支援体制を整える」と回答した女性59.0%に対し、男性は47.3%となっており、男女差が最も大きく、11.7ポイントの差となっています。

【全 体】 n=869

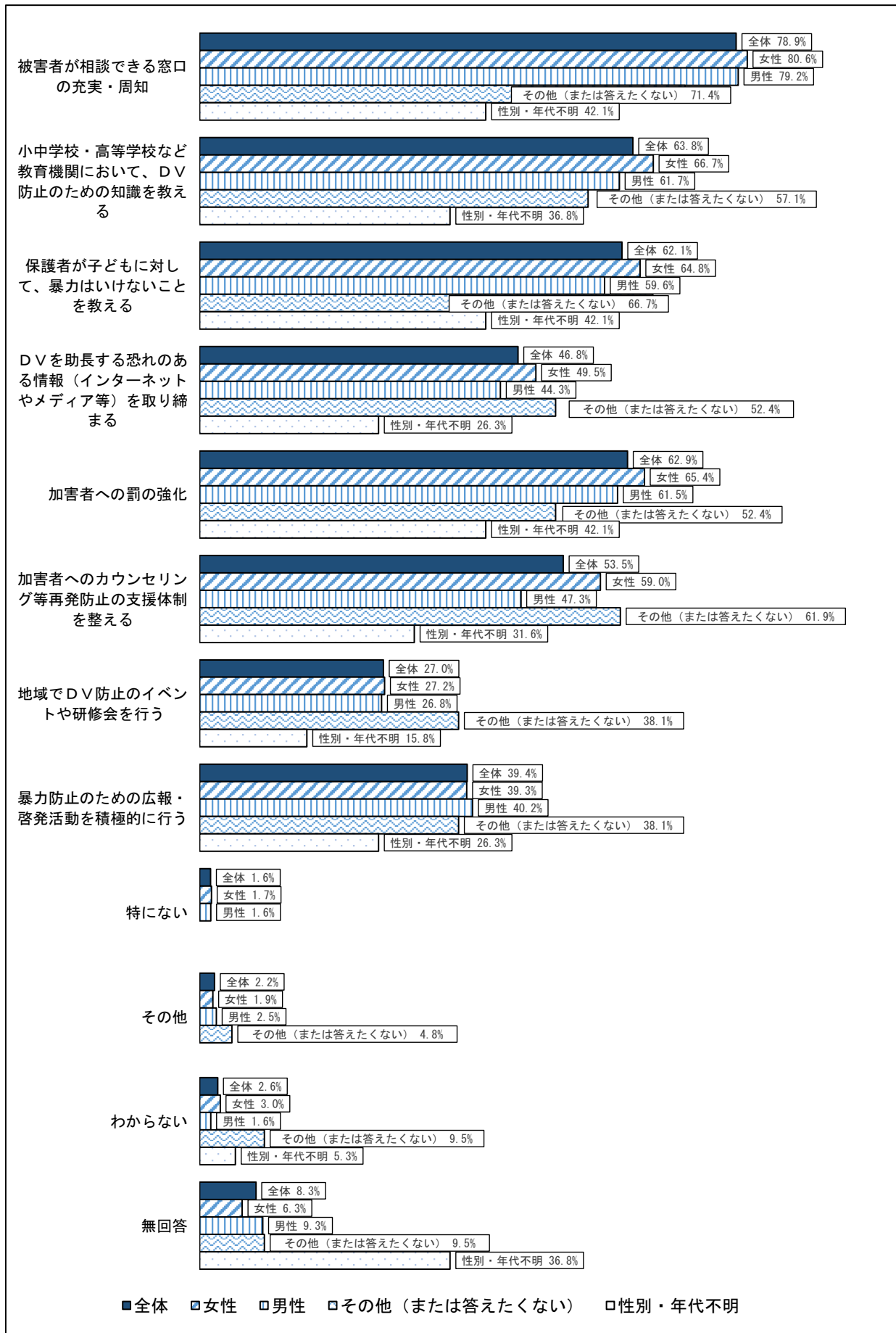


その他の回答（記述分）

被害者を保護できる施設の充実（3）、通報しやすい環境を作る（2）、暴力を振るう必要はなく、話し合いで解決できるよう教育する（1）



【性別】 n=869



## 久喜市の男女共同参画を推進するための言葉や取り組みについて

問24 あなたは、次の①～⑱の男女共同参画に関する言葉や、久喜市が取り組んでいる施策をご存知ですか。（各項目1つだけ選択）

	内容まで 詳しく知 っている	おおよそ 知っている	言葉は聞 いたこと がある	知らない
①男女共同参画社会	1	2	3	4
②ジェンダー平等	1	2	3	4
③LGBTQ	1	2	3	4
④ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3	4
⑤セクシュアル・ハラスメント （性的な言動によるいやがらせ）	1	2	3	4
⑥ドメスティック・バイオレンス（DV） （配偶者等からの暴力）	1	2	3	4
⑦デートDV（交際相手からの暴力）	1	2	3	4
⑧クォータ制	1	2	3	4
⑨男女雇用機会均等法（雇用の分野における男女の 均等な機会及び待遇の確保等に関する法律）	1	2	3	4
⑩育児・介護休業法（育児休業、介護休業等育児又 は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律）	1	2	3	4
⑪男女共同参画社会基本法	1	2	3	4
⑫女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の 推進に関する法律）	1	2	3	4
⑬候補者男女均等法（政治分野における男女共同参 画の推進に関する法律）	1	2	3	4
⑭DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者 の保護等に関する法律）	1	2	3	4
⑮久喜市男女共同参画を推進する条例	1	2	3	4
⑯久喜市男女共同参画行動計画	1	2	3	4
⑰久喜市男女共同参画情報紙「そよかぜ」	1	2	3	4
⑱久喜市女（ひと）と男（ひと）の共生セミナー 委託事業	1	2	3	4
⑲久喜市男女共同参画人材リスト	1	2	3	4

最も知られているのは「⑥ドメスティック・バイオレンス（DV）（配偶者等からの暴力）」76.0%

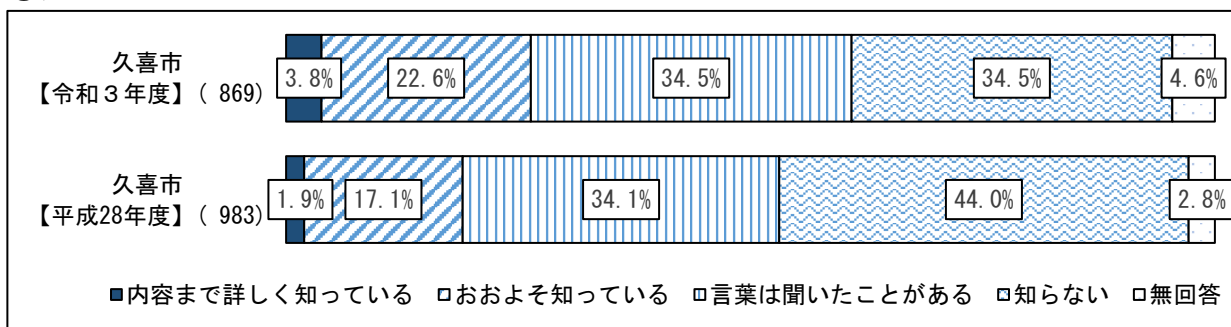
全体では、「内容まで詳しく知っている」、「おおよそ知っている」、「言葉は聞いたことがある」を合わせた回答が最も多かったのは、「⑥ドメスティック・バイオレンス（DV）」が76.0%、次いで「⑤セクシュアル・ハラスメント（性的な言動による嫌がらせ）」が75.8%となっています。「①男女共同参画社会」は60.9%で、平成28年度調査から7.8ポイント増加し、「⑦デートDV」は58.7%で、平成28年度調査から15.3ポイント増加しています。

性別で見ると、女性で周知度が高かったのは全体と同じ順ですが、男性では「⑩育児・介護休業法（育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律）」が74.9%、次いで「⑨男女雇用機会均等法（雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律）」が74.4%の順となっています。その他では「⑤セクシュアル・ハラスメント」と「⑥ドメスティック・バイオレンス（DV）」の71.4%が最も多くなっています。また、性別不明では、「⑨男女雇用機会均等法」と「⑩育児・介護休業法」の52.7%が最も多くなっています。

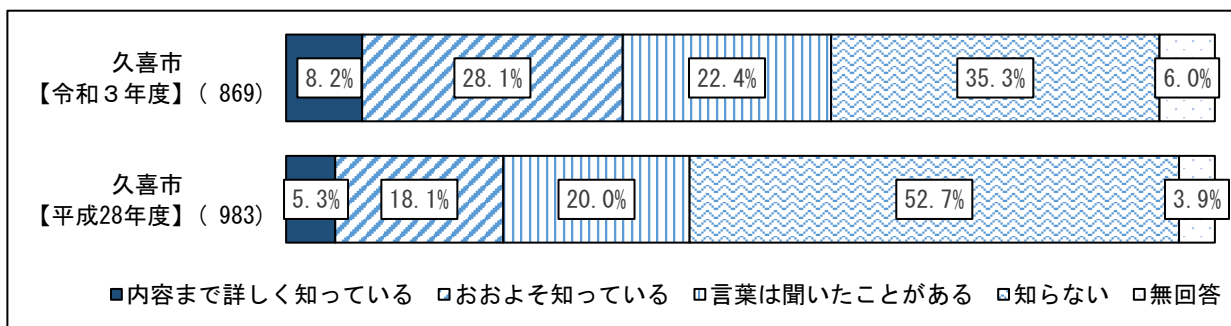
「②ジェンダー平等」については、全体で見ると「内容まで詳しく知っている」と回答したのは6.3%ですが、性・年代別で見ると、男女の10代と男性の20代では20%を超えています。また、「③LGBTQ」については、全体で見ると「内容まで詳しく知っている」と回答したのは6.8%ですが、性・年代別で見ると、男女の20代とその他の40代では20%を超えています。

市が取り組んでいる施策の周知度は、「⑪久喜市男女共同参画情報紙『そよかぜ』」が最も高く、37.8%となっています。

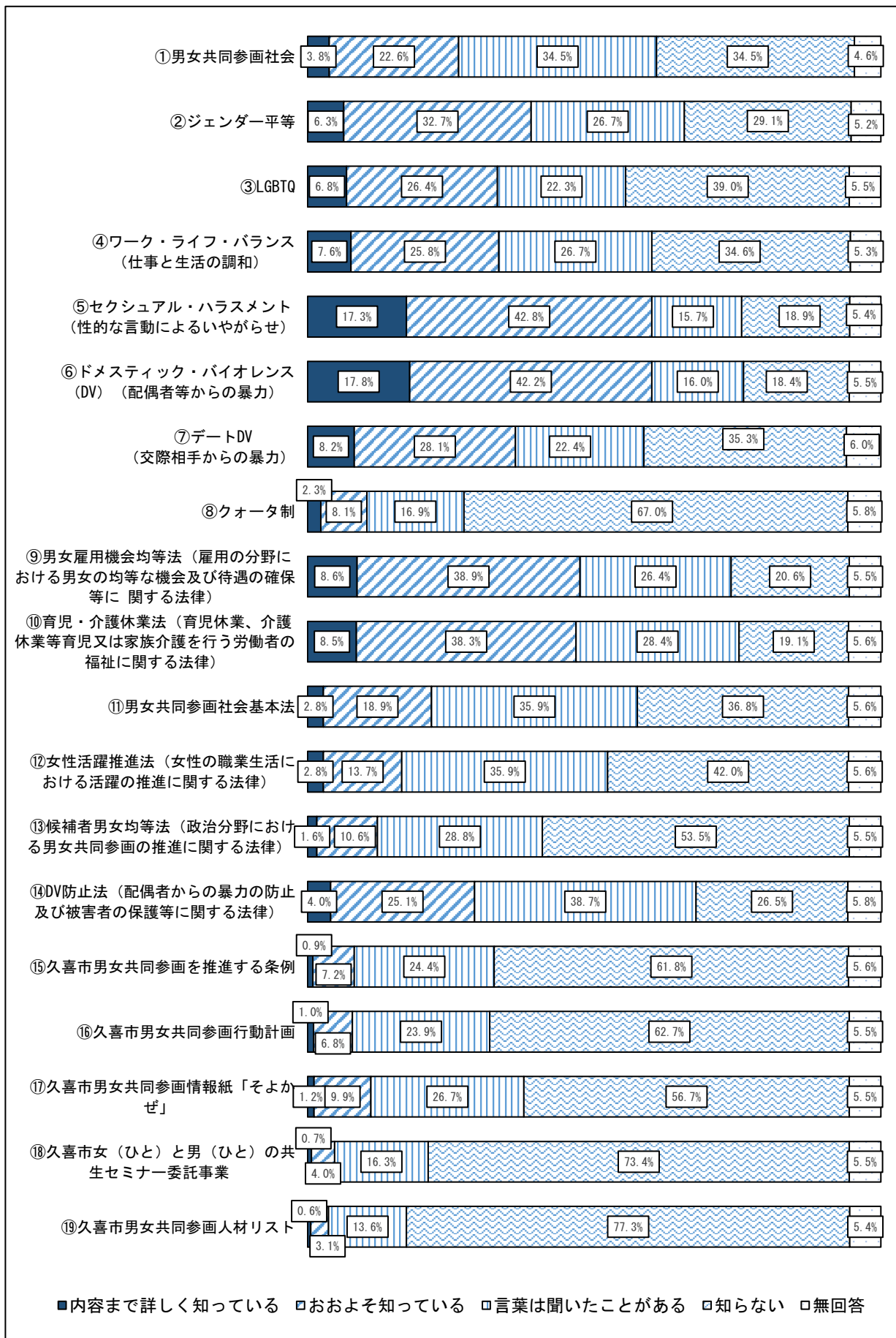
①男女共同参画社会



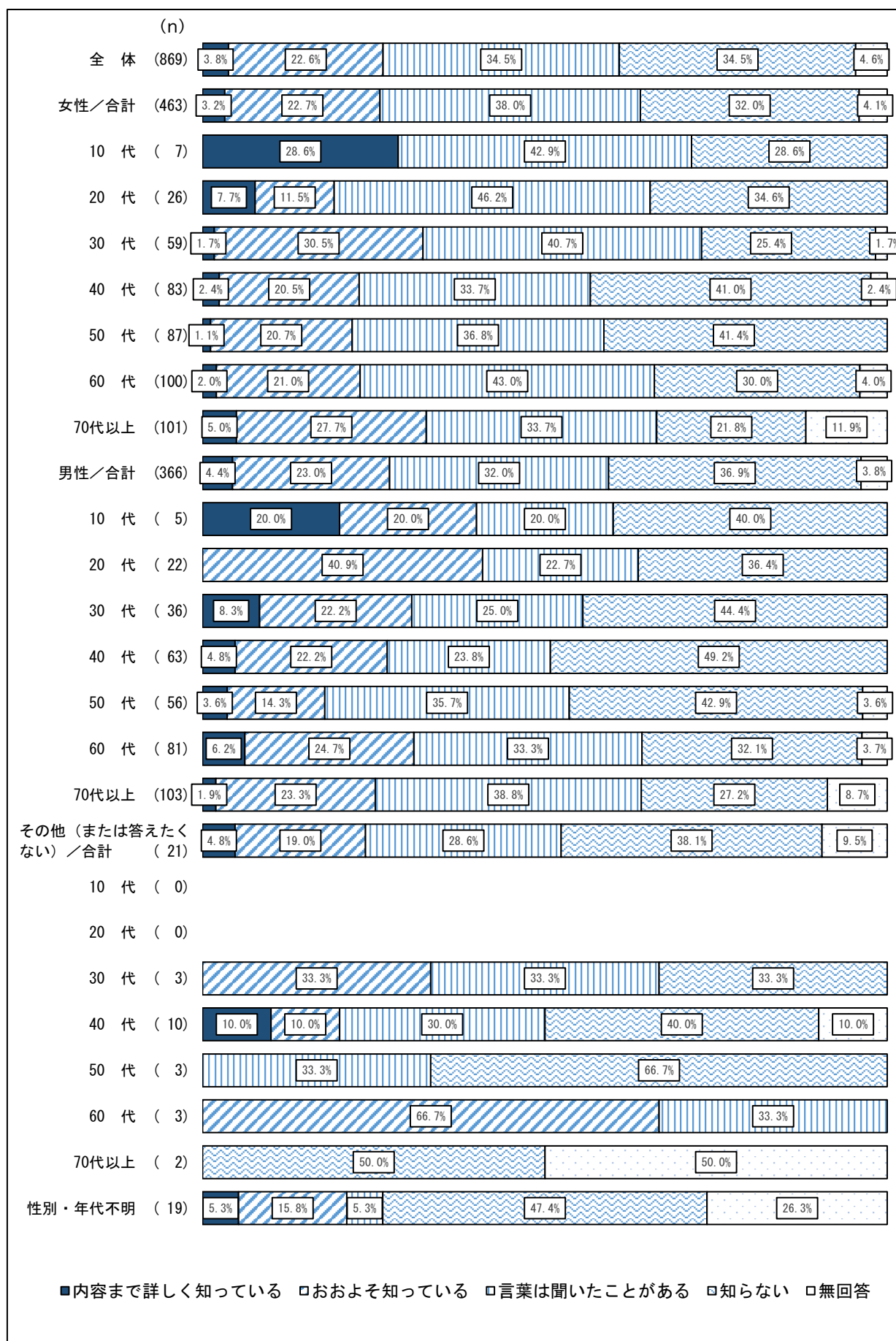
⑦デートDV



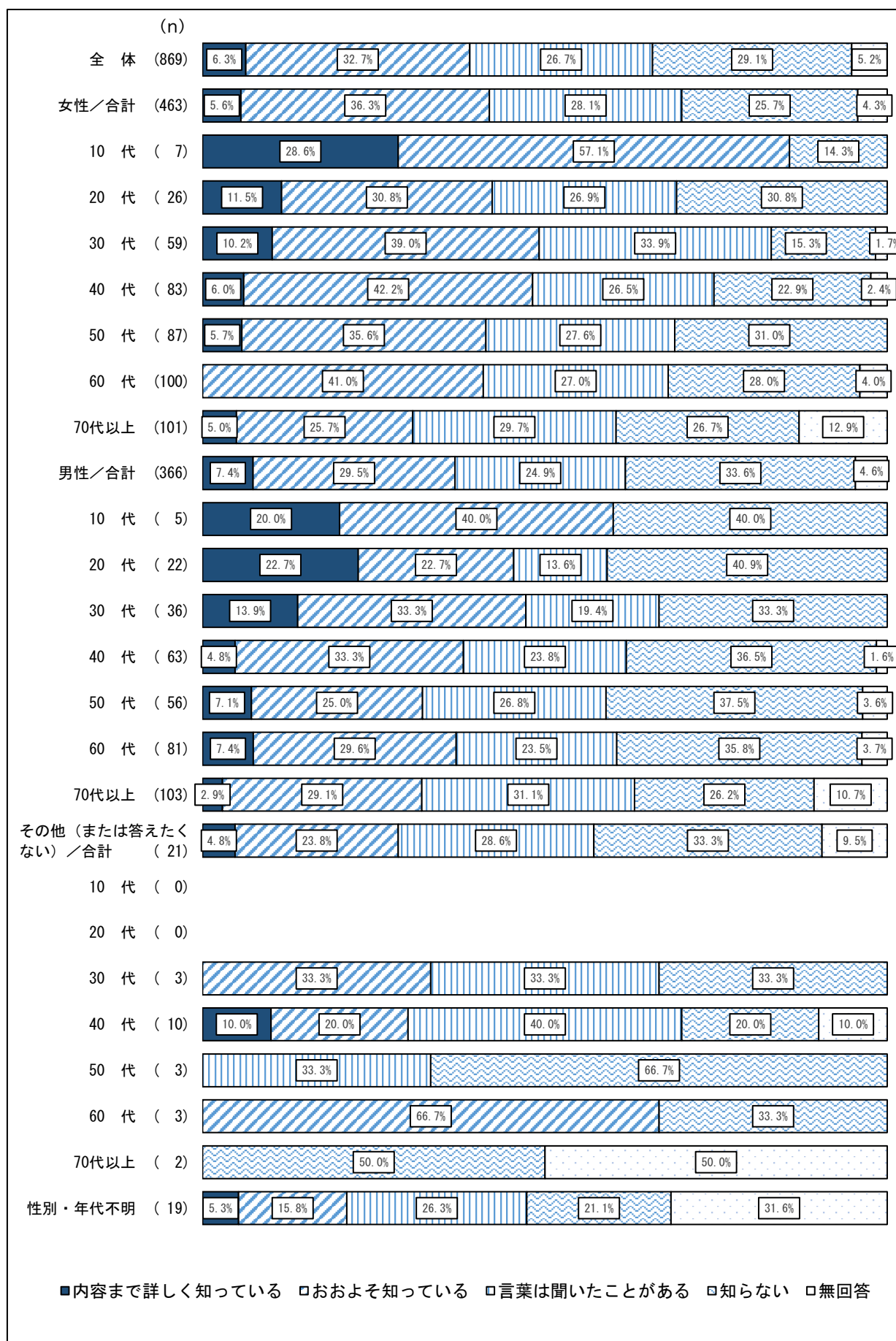
【全体】 n=869



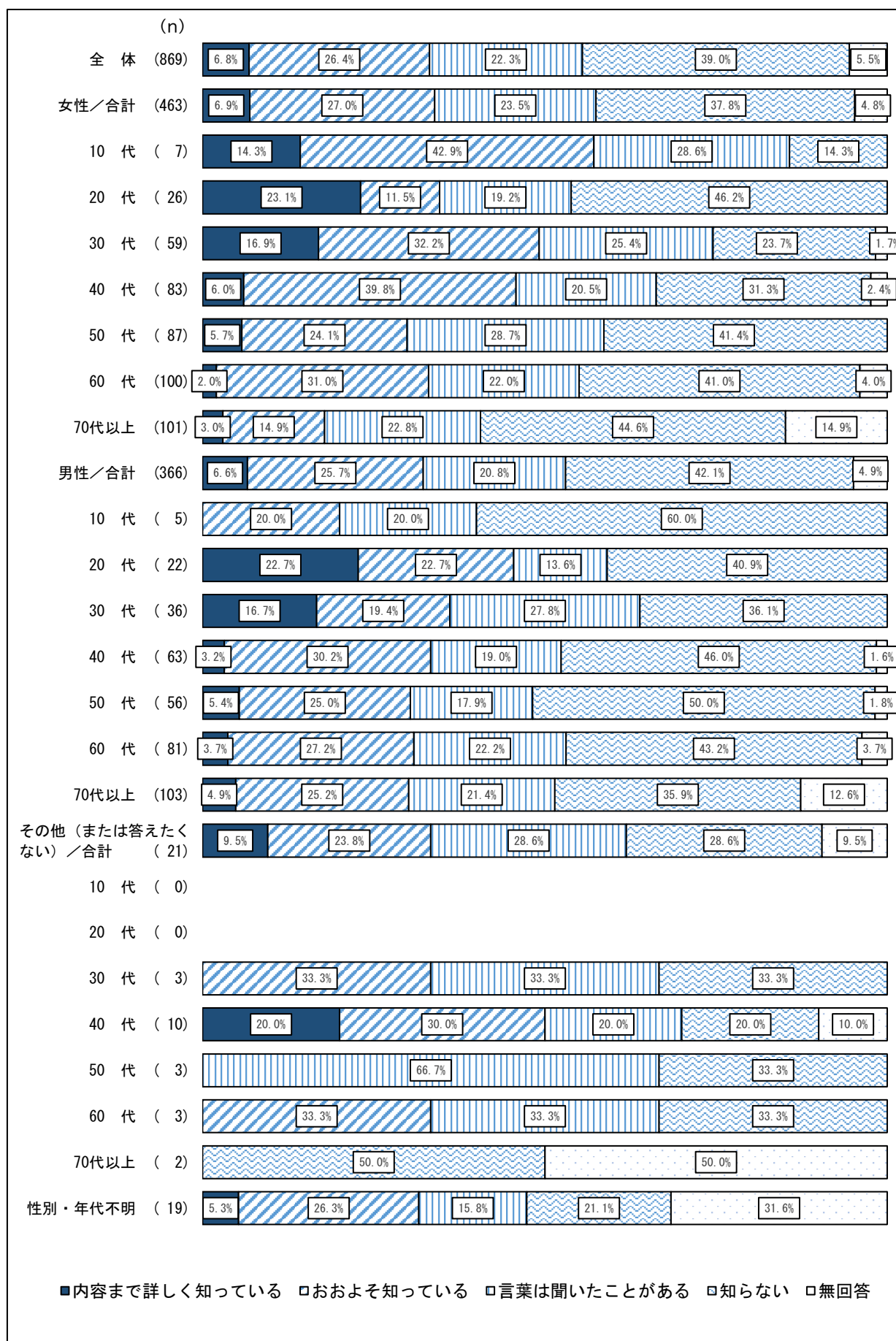
【性・年代別】①男女共同参画社会



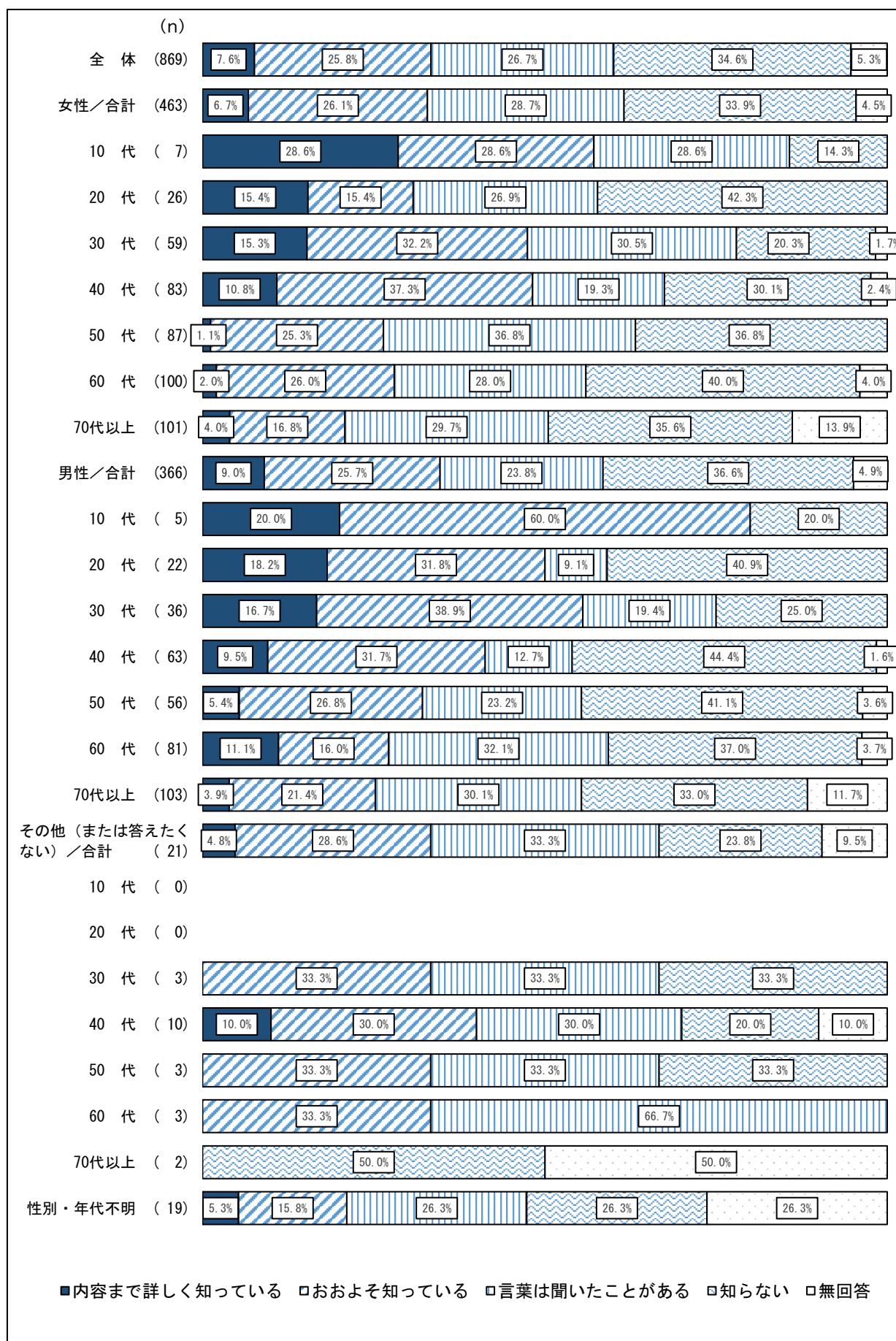
【性・年代別】②ジェンダー平等



【性・年代別】③LGBTQ

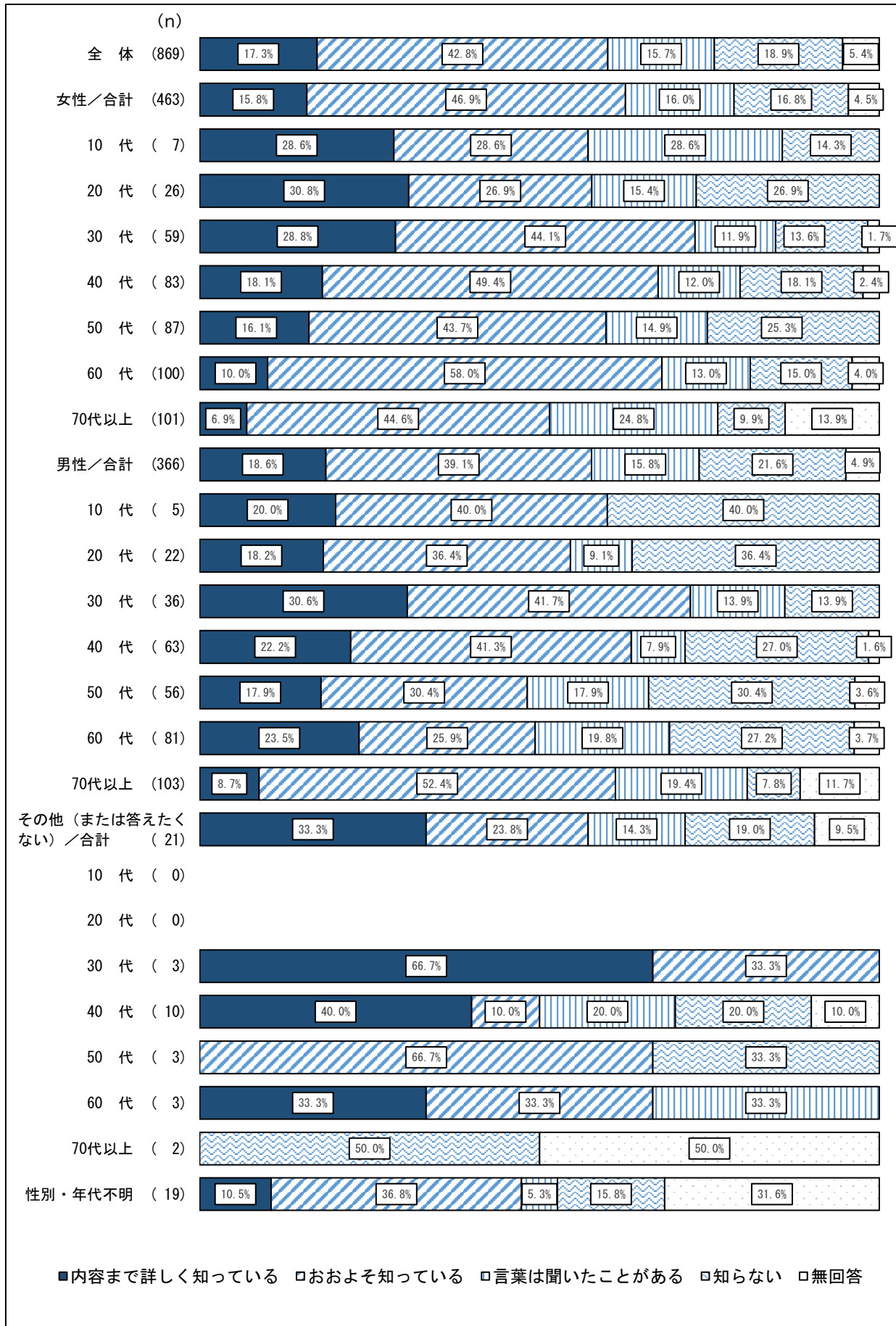


【性・年代別】④ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

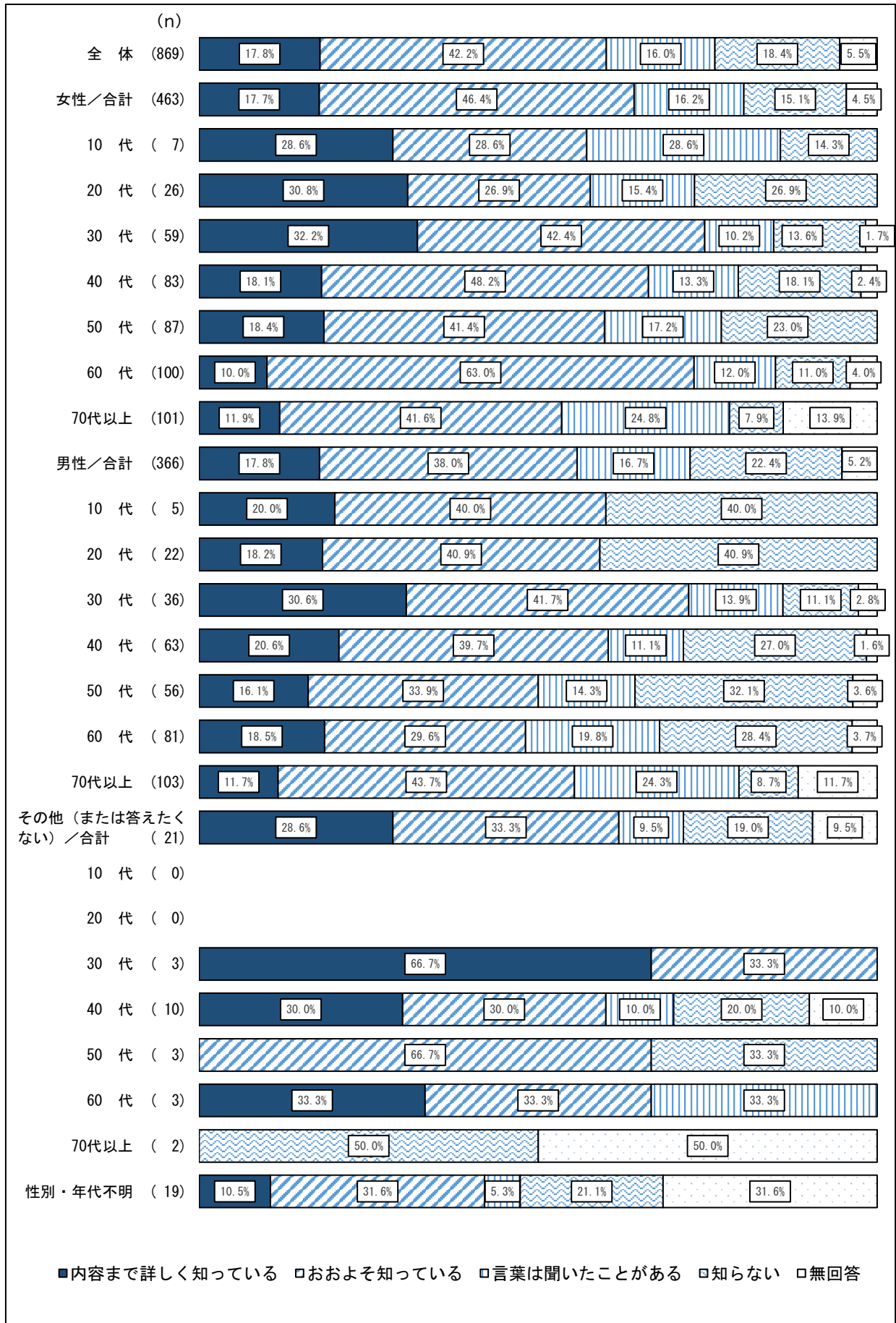




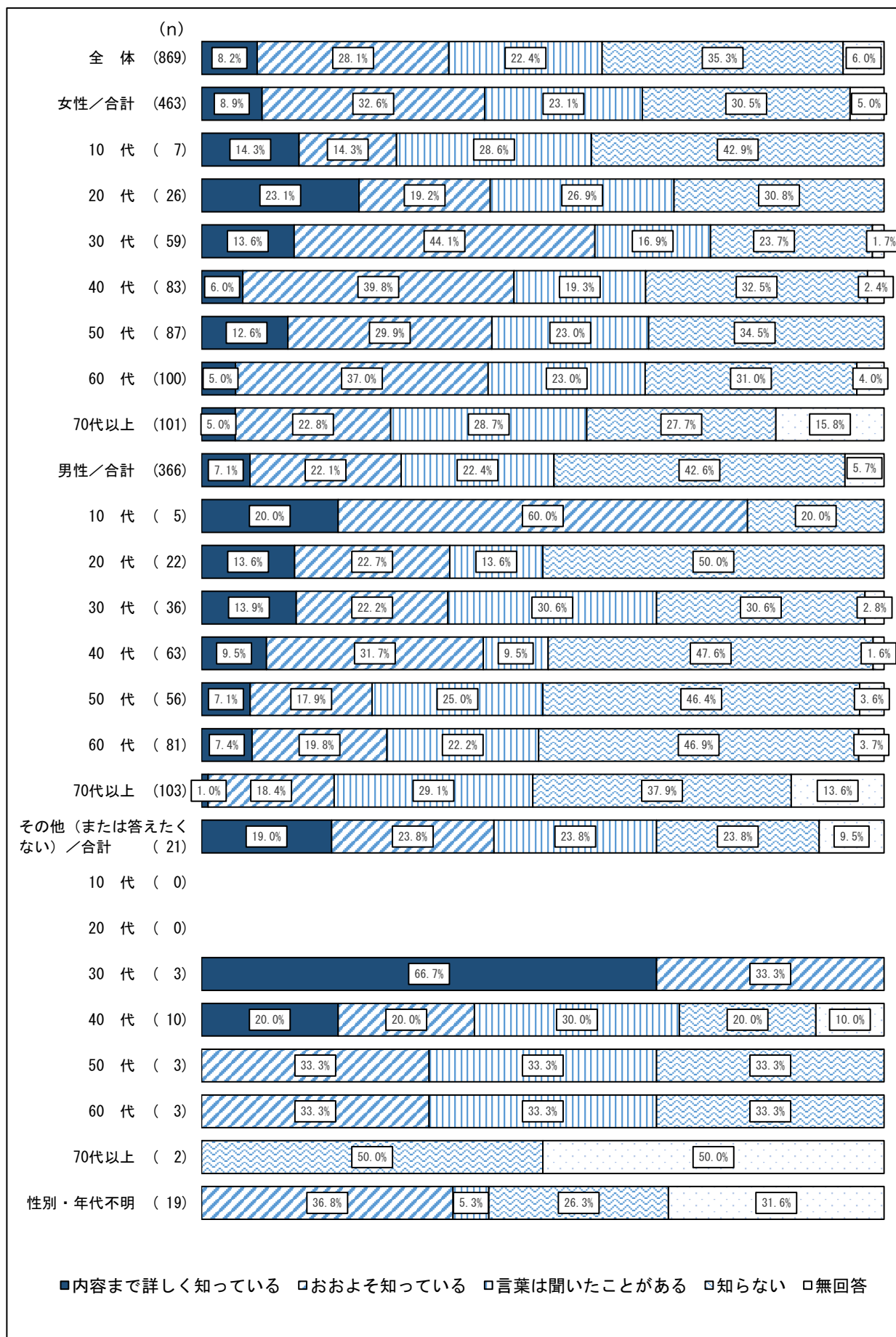
【性・年代別】⑤セクシュアル・ハラスメント（性的な言動によるいやがらせ）



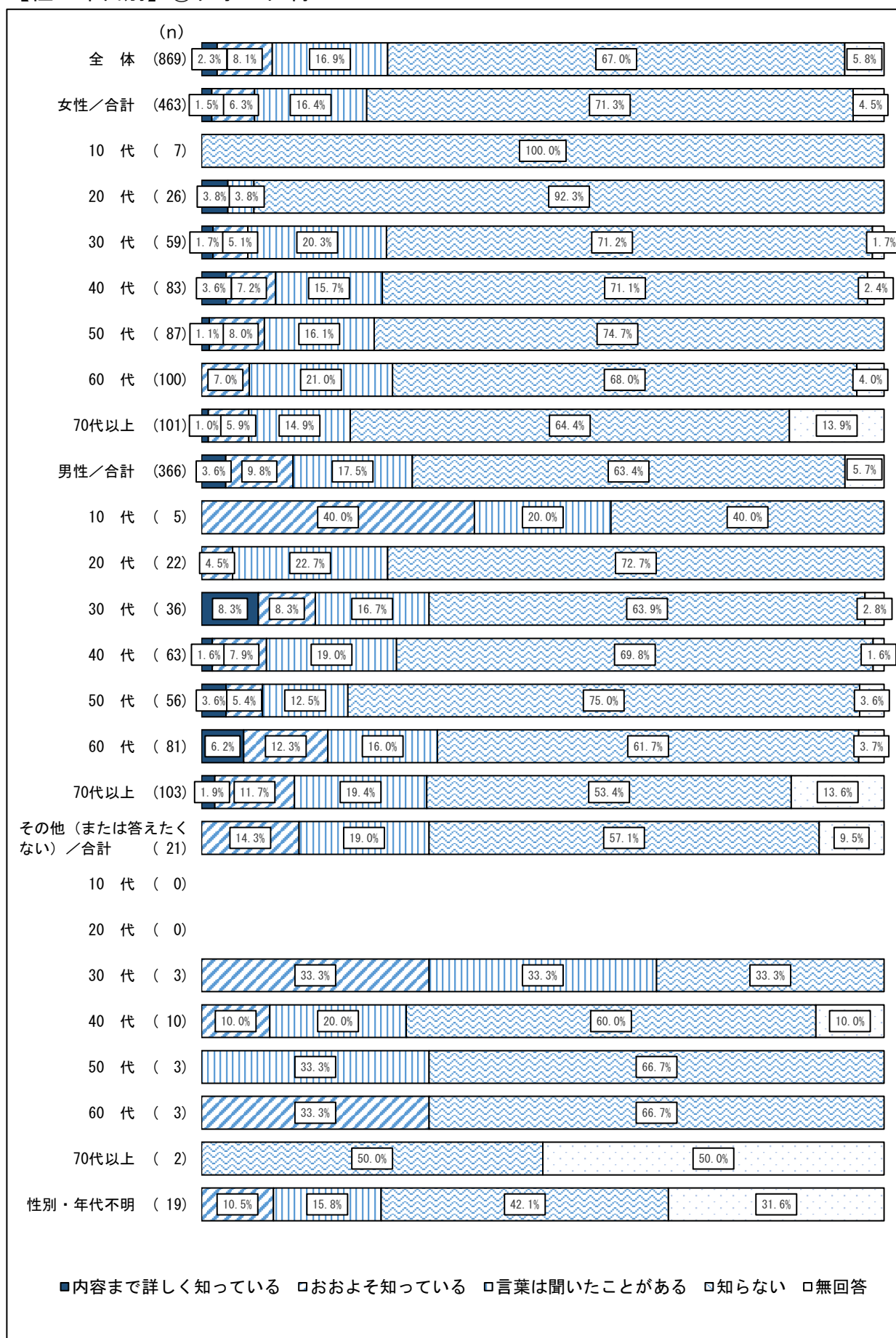
【性・年代別】⑥ドメスティック・バイオレンス（DV）（配偶者等からの暴力）



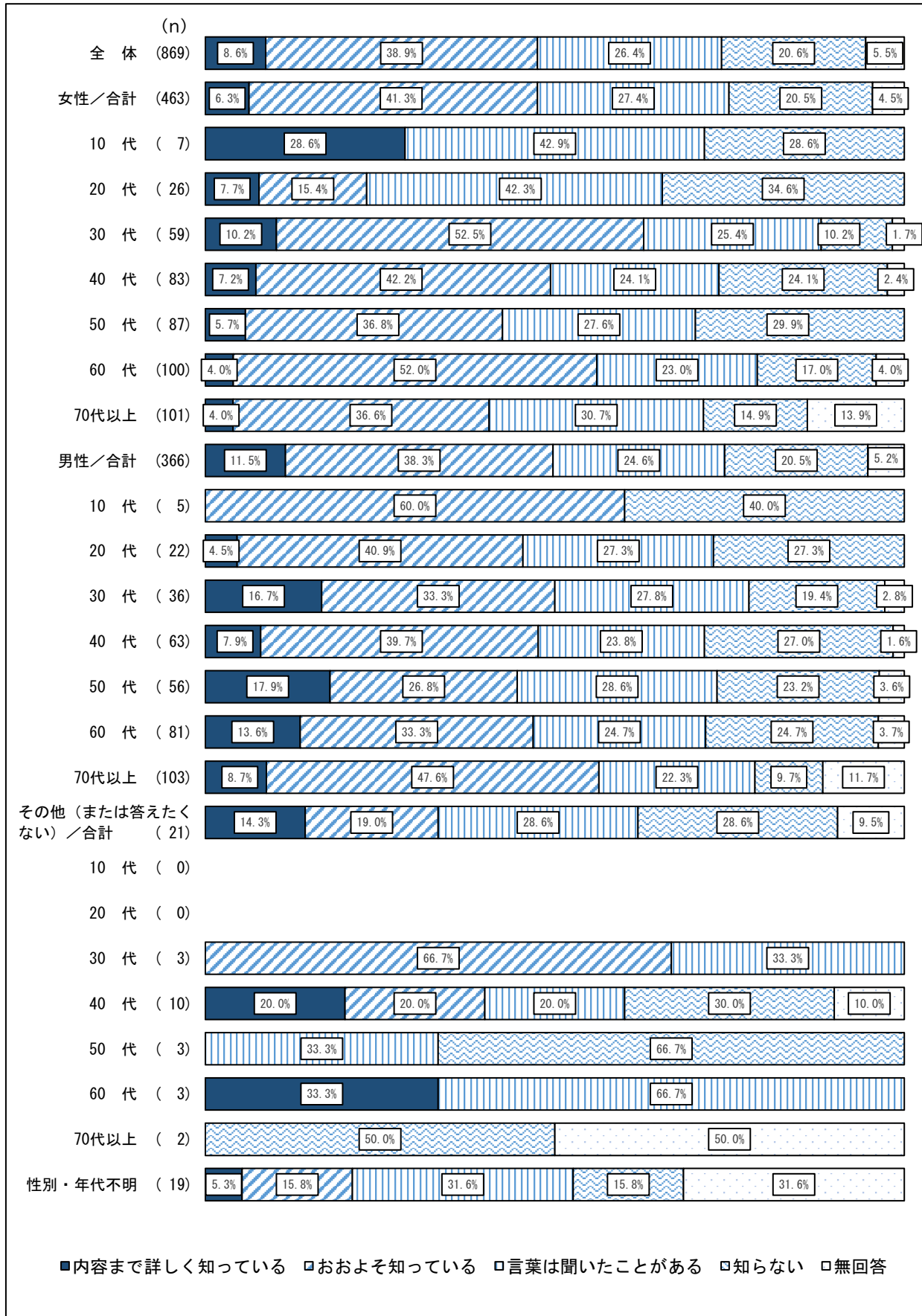
【性・年代別】⑦デートDV（交際相手からの暴力）



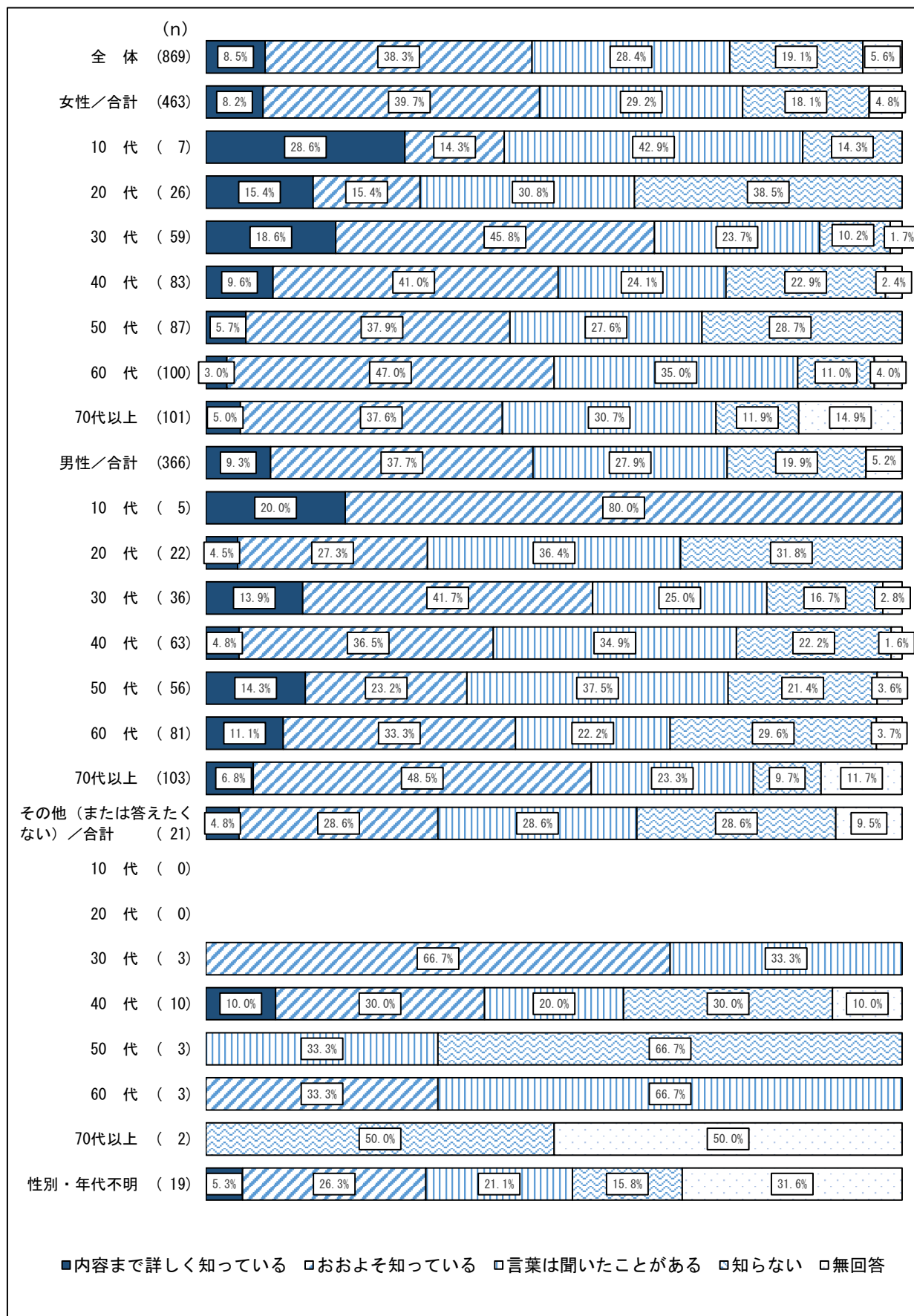
【性・年代別】⑧クォータ制



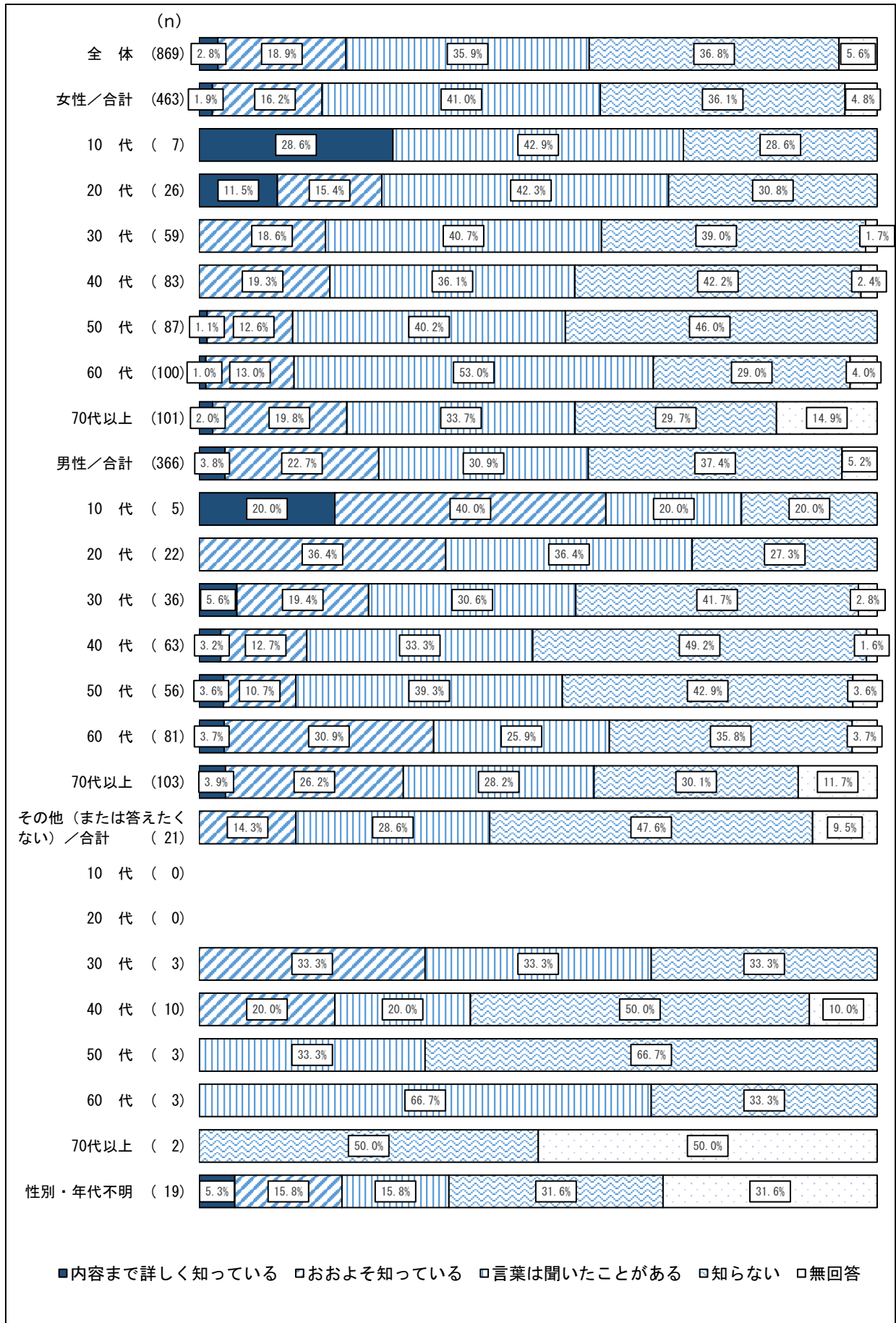
【性・年代別】⑨男女雇用機会均等法（雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律）



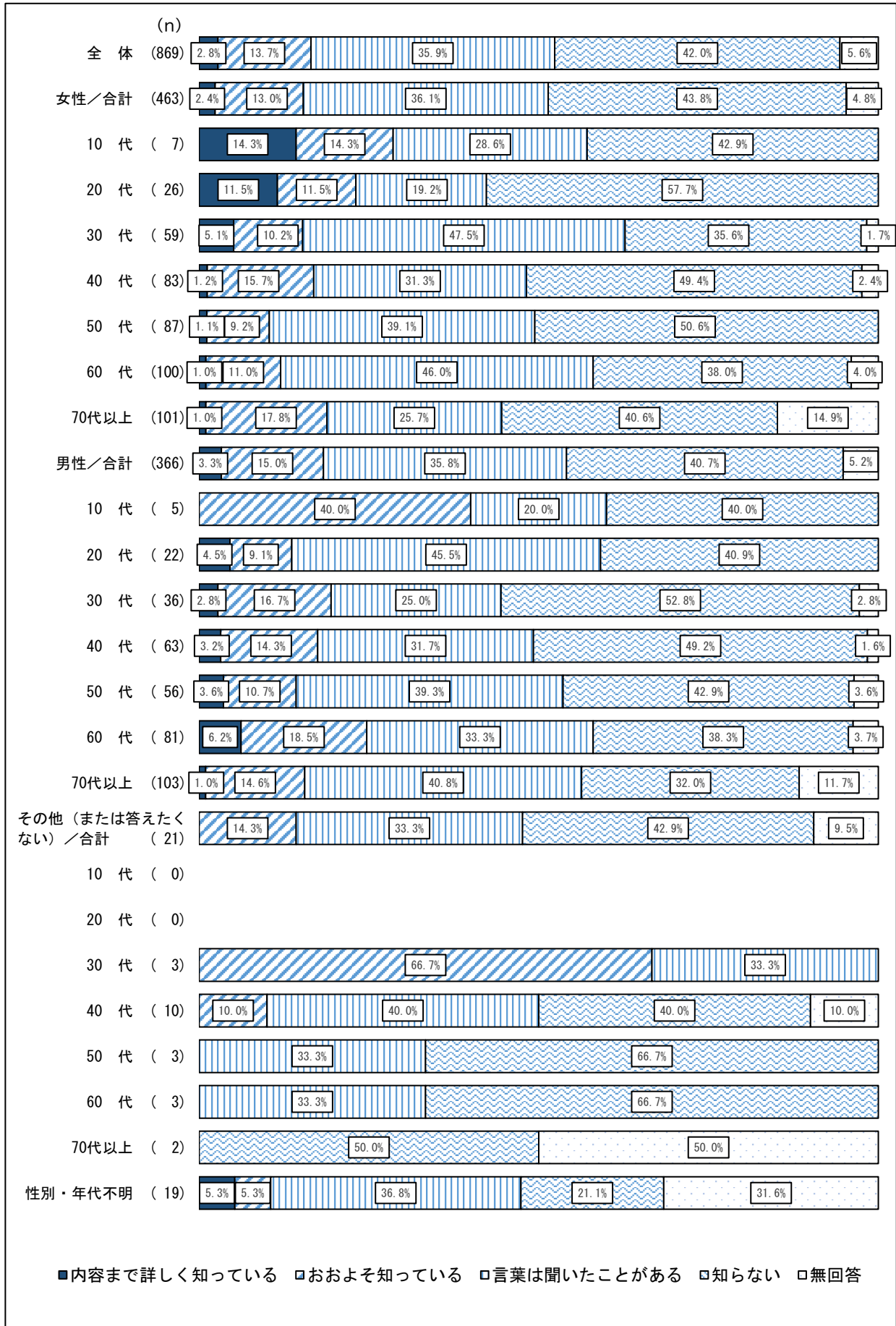
【性・年代別】⑩育児・介護休業法（育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律）



【性・年代別】⑪男女共同参画社会基本法

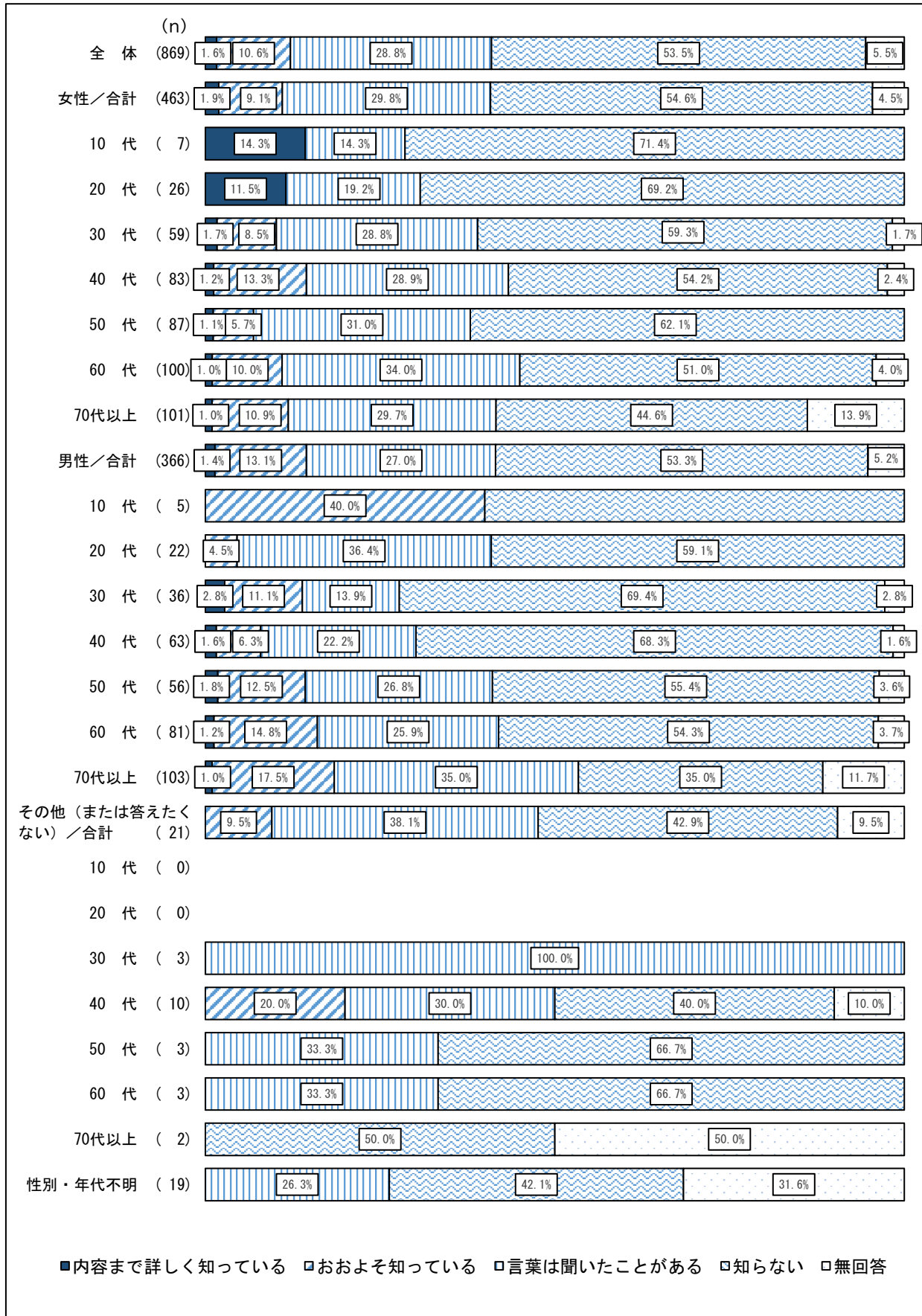


【性・年代別】⑫女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）

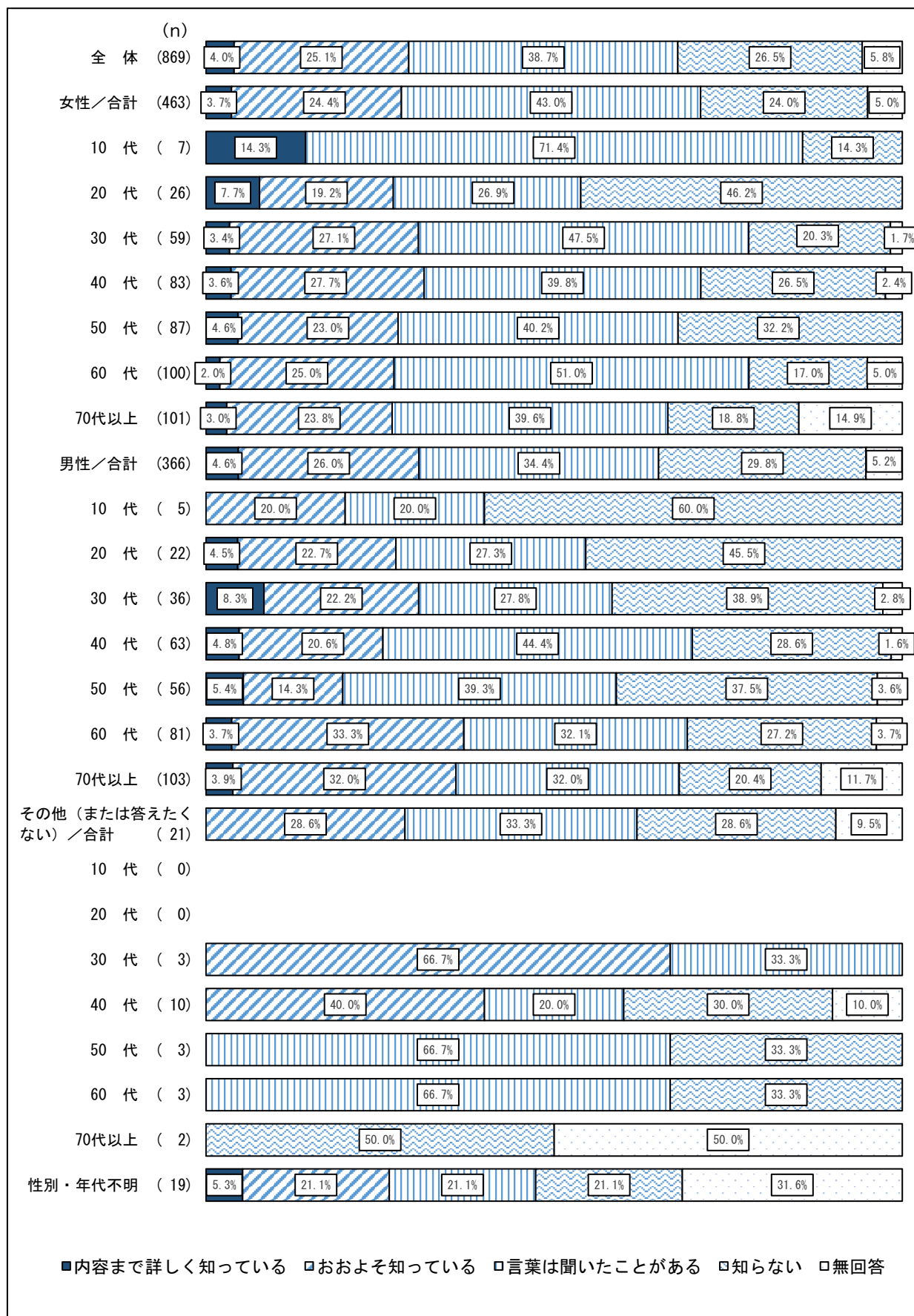




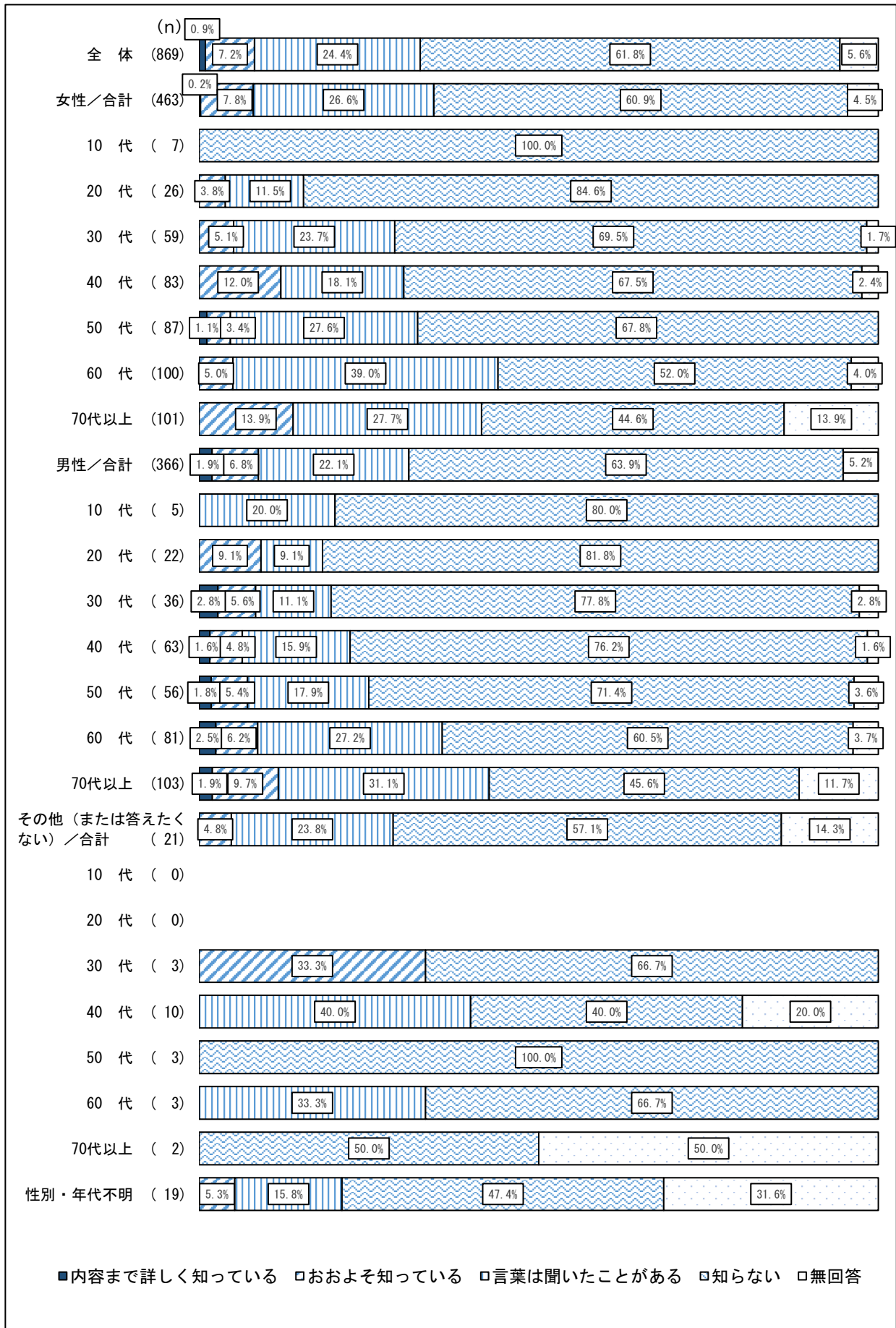
【性・年代別】⑬候補者男女均等法（政治分野における男女共同参画の推進に関する法律）



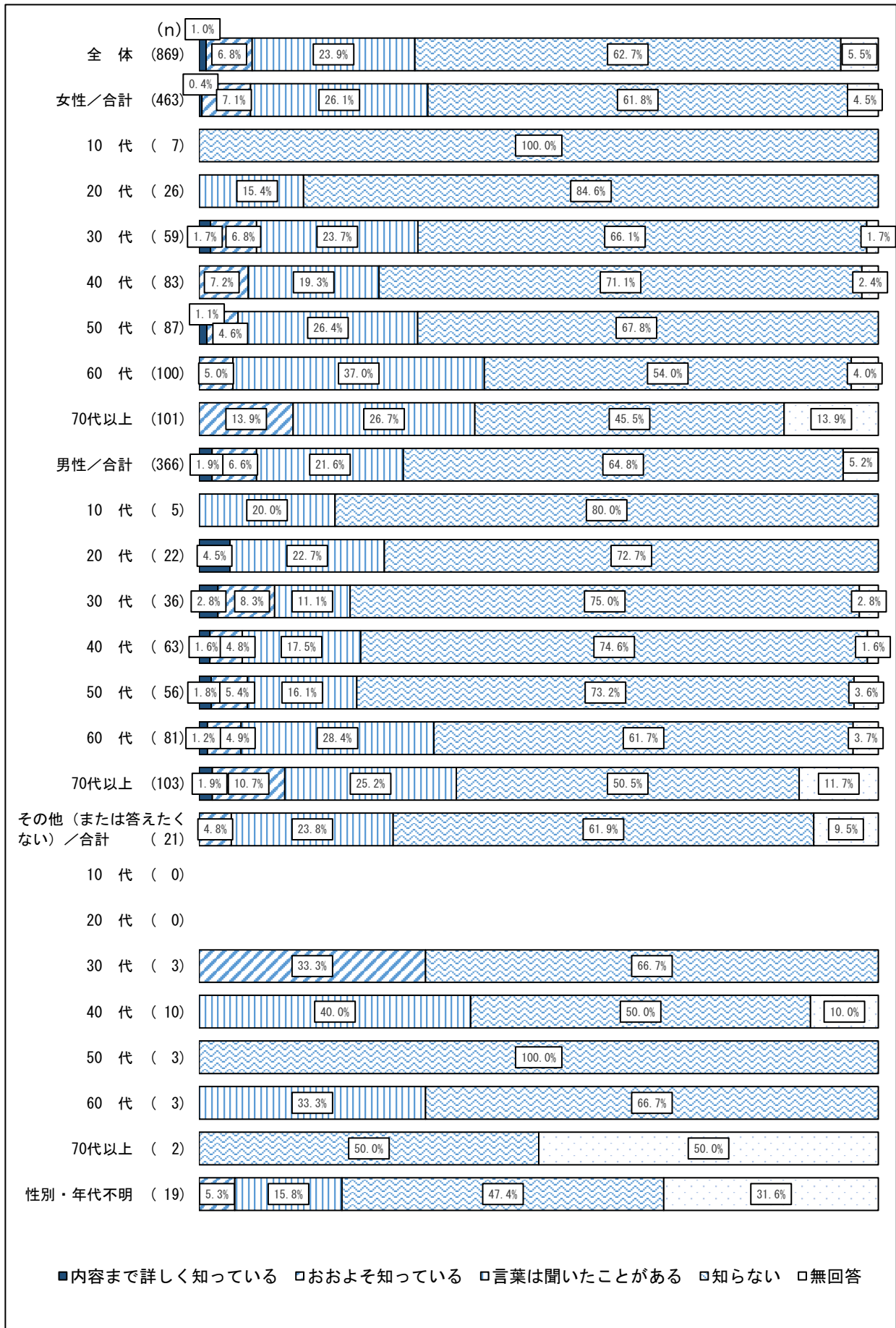
【性・年代別】⑭DV防止法（配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律）



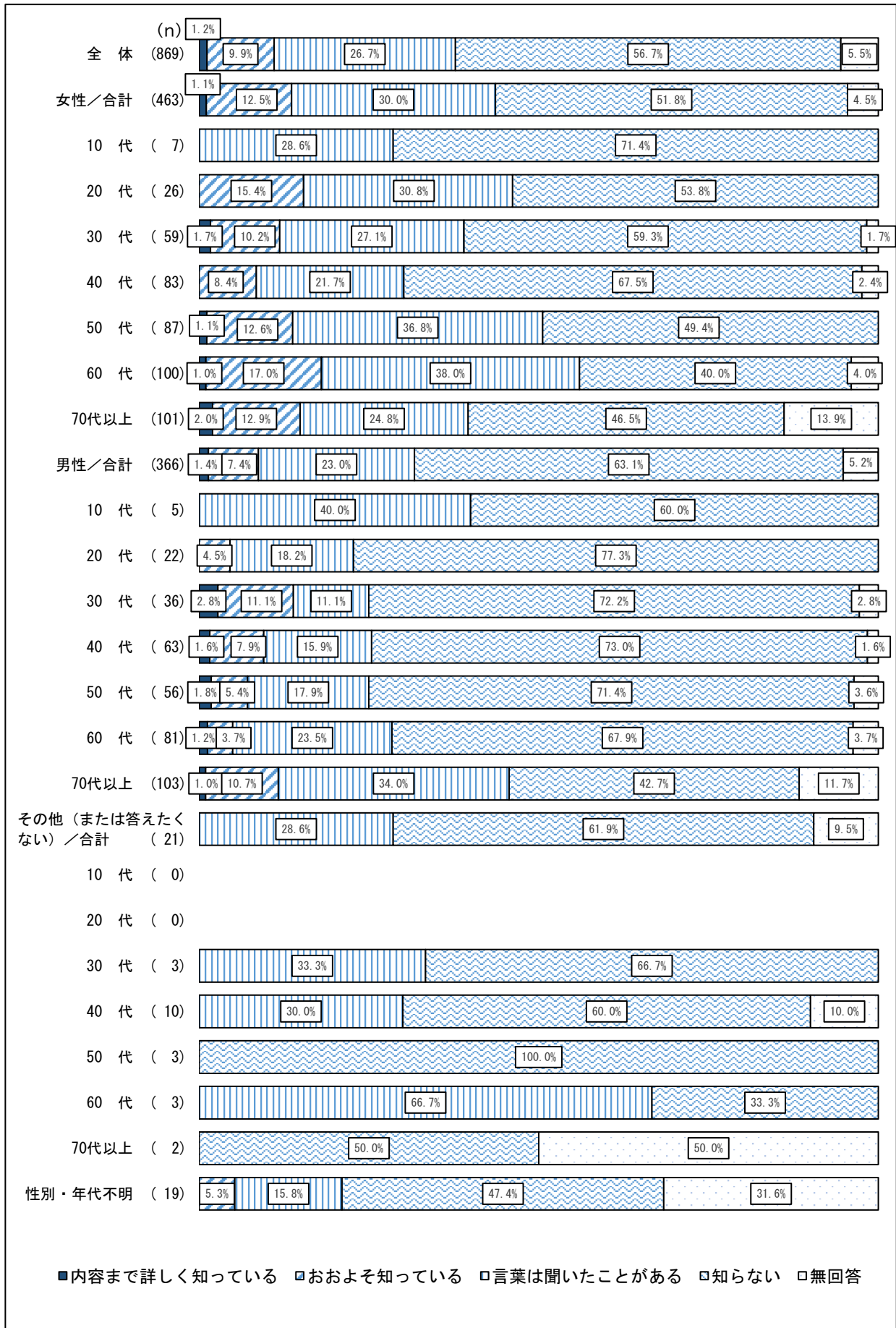
【性・年代別】⑮久喜市男女共同参画を推進する条例



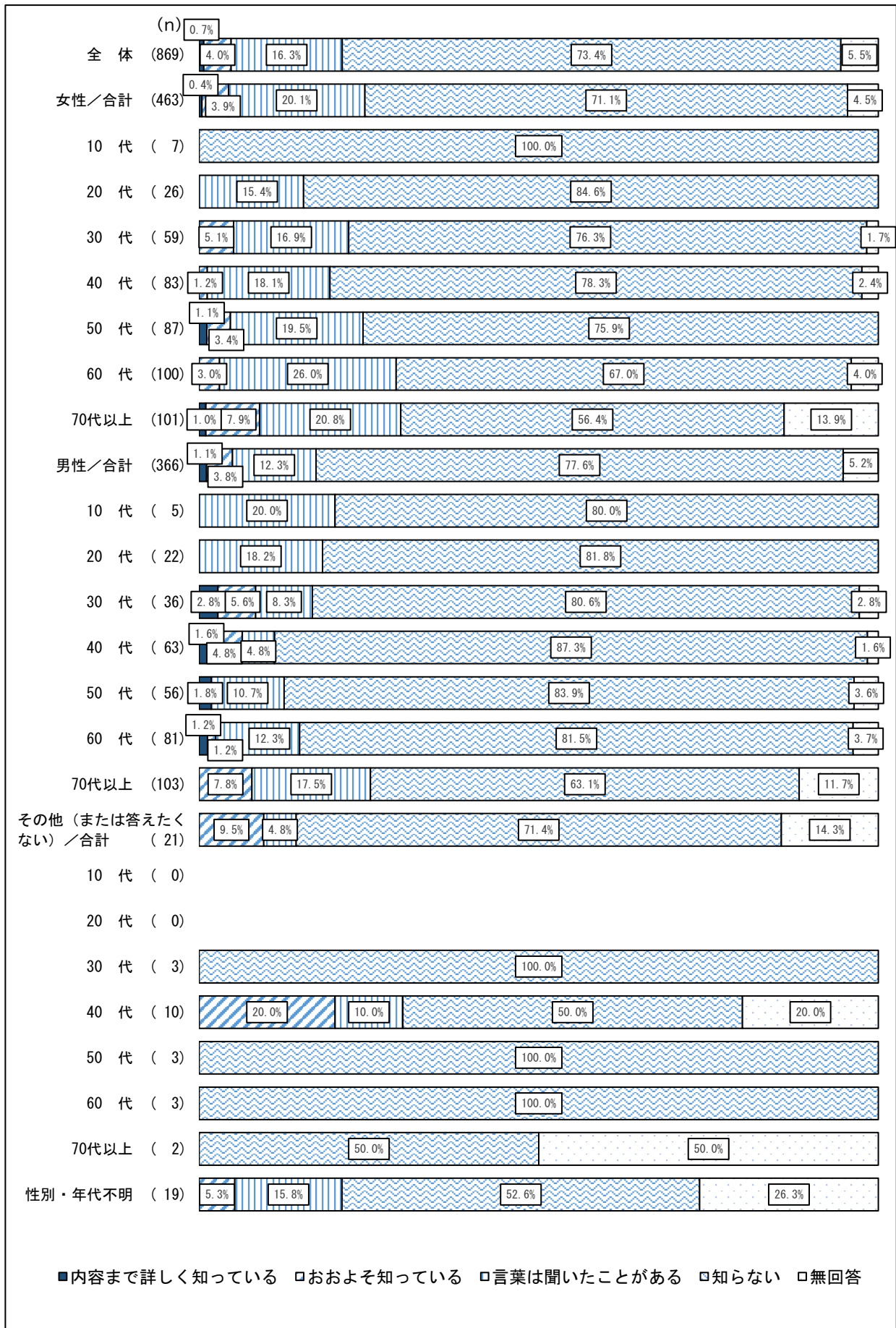
【性・年代別】⑩久喜市男女共同参画行動計画



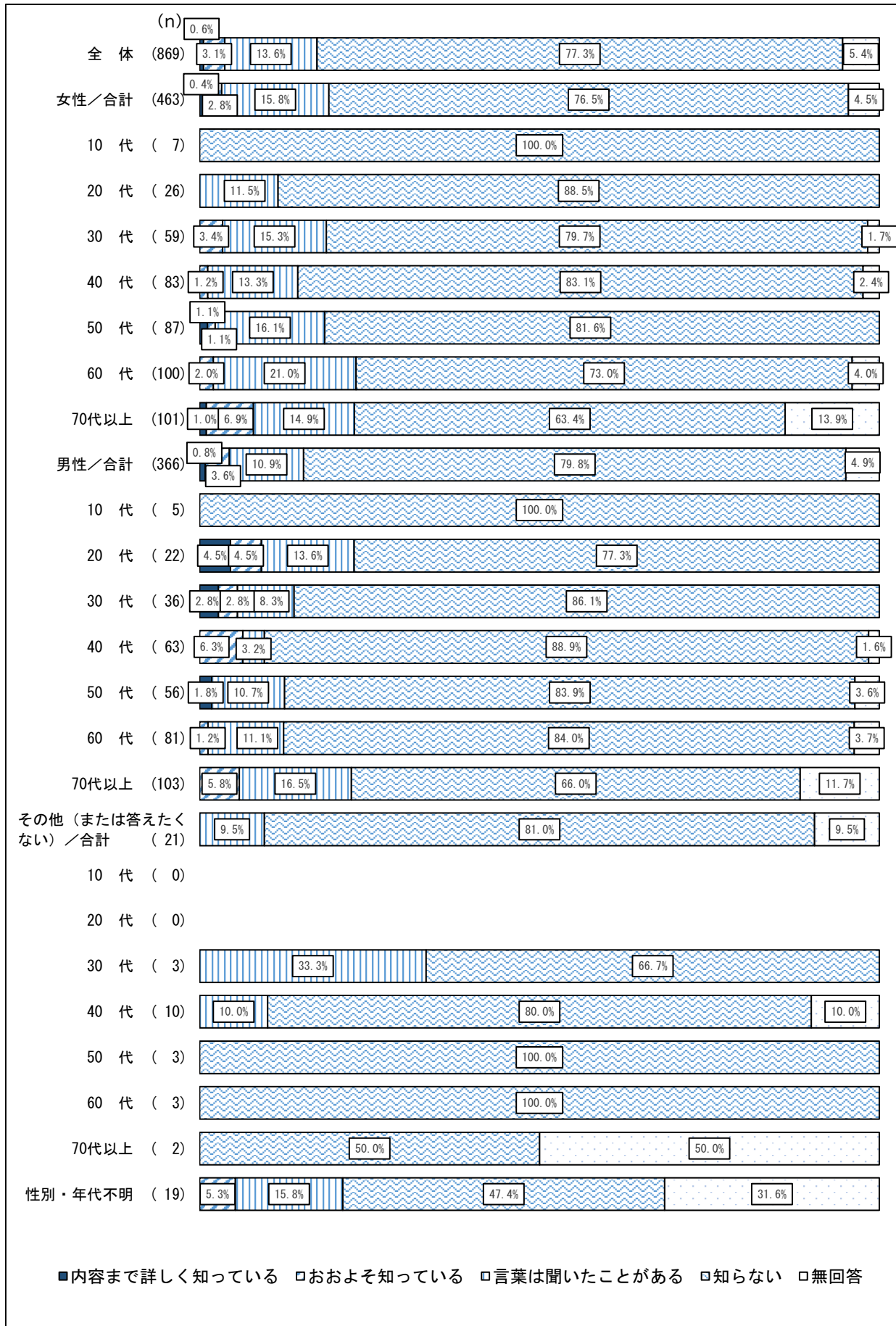
【性・年代別】⑰久喜市男女共同参画情報紙「そよかせ」



【性・年代別】⑱久喜市女（ひと）と男（ひと）の共生セミナー委託事業



【性・年代別】⑱久喜市男女共同参画人材リスト



久喜市の男女共同参画を推進するための言葉や取り組みについて

問25 久喜市では、令和3年10月1日より「パートナーシップ宣誓制度」を導入しました。あなたは、この制度をご存知ですか。 (1つだけ選択)

1. 言葉を聞いているし、内容もよく知っている
2. 言葉を聞いているし、内容もある程度知っている
3. 言葉は聞いているが、内容は知らない
4. 言葉を聞いたことがないし、内容も知らない

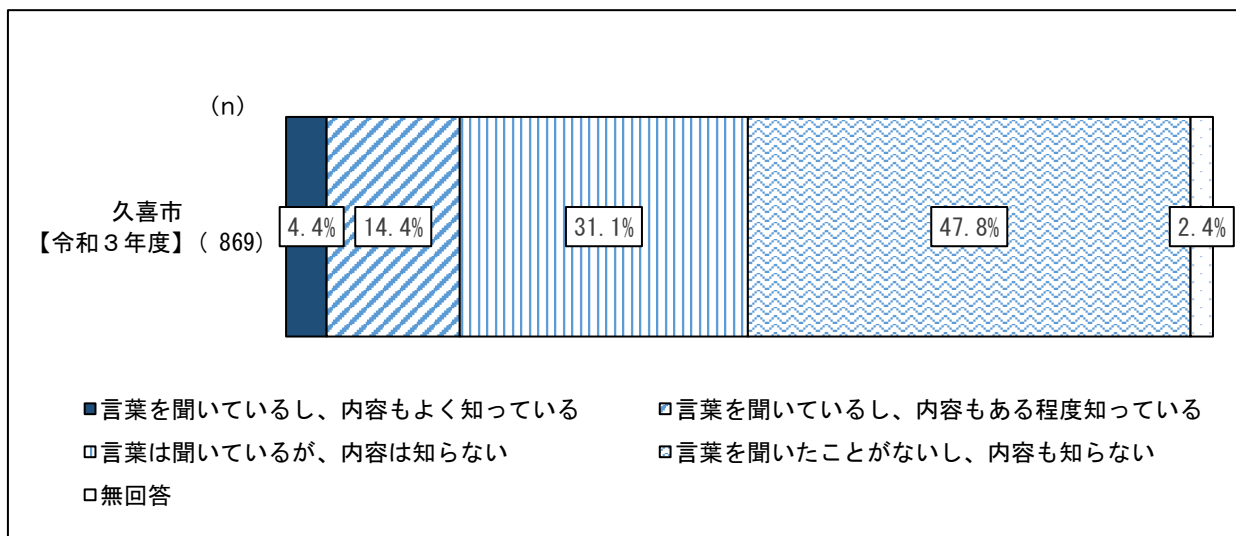
「言葉を聞いたことがないし、内容も知らない」が最も多く47.8%

全体では、「言葉を聞いたことがないし、内容も知らない」が47.8%と最も多く、次いで「言葉は聞いているが、内容は知らない」が31.1%の順となっています。

性・年代別で見ると、その他の30代、70代以上と性別・年代不明を除いた世代で、同じ順になっています。

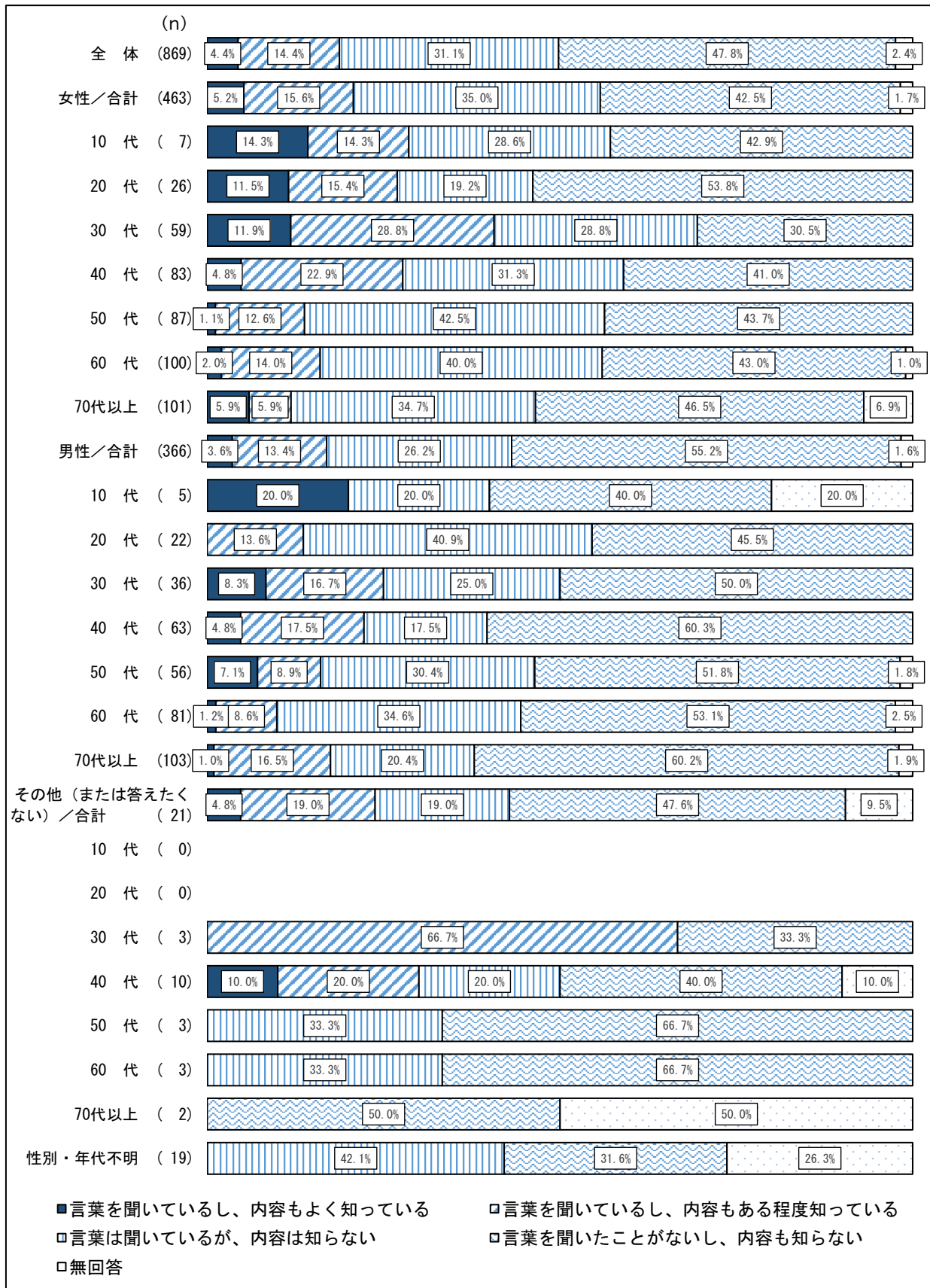
男性、女性はいずれも10代から40代までの世代で「言葉を聞いているし、内容もよく知っている」、「言葉を聞いているし、内容もある程度知っている」の合計が、全体よりも高い割合になっています。

【全体】





【性・年代別】



## 久喜市の男女共同参画を推進するための言葉や取り組みについて

問26 「男女共同参画社会」を実現していくために、今後、久喜市ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（あてはまる番号すべて選択）

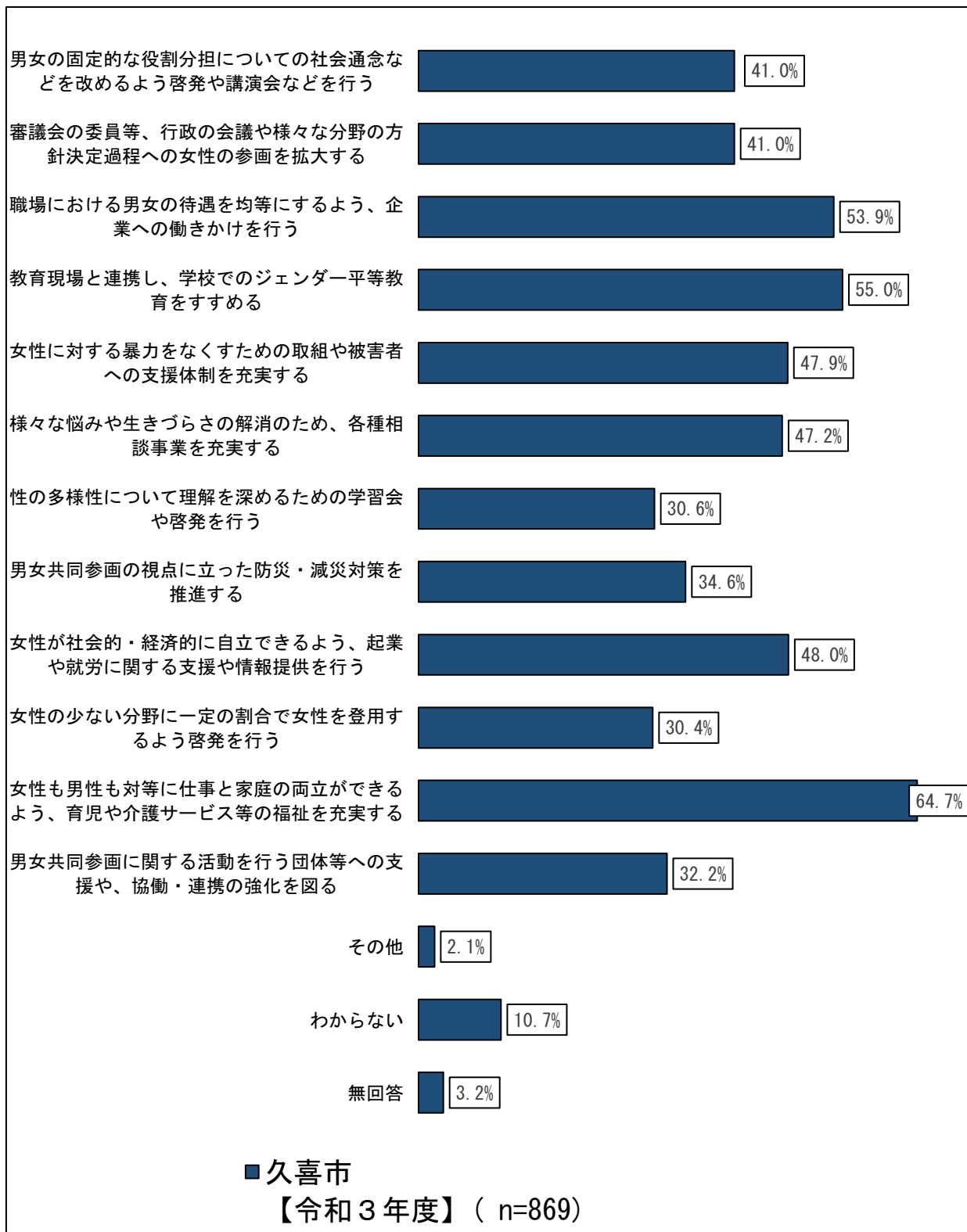
1. 男女の固定的な役割分担についての社会通念などを改めるよう啓発や講演会などを行う
2. 審議会の委員等、行政の会議や様々な分野の方針決定過程への女性の参画を拡大する
3. 職場における男女の待遇を均等にするよう、企業への働きかけを行う
4. 教育現場と連携し、学校でのジェンダー平等教育をすすめる
5. 女性に対する暴力をなくすための取組や被害者への支援体制を充実する
6. 様々な悩みや生きづらさの解消のため、各種相談事業を充実する
7. 性の多様性について理解を深めるための学習会や啓発を行う
8. 男女共同参画の視点に立った防災・減災対策を推進する
9. 女性が社会的・経済的に自立できるよう、起業や就労に関する支援や情報提供を行う
10. 女性の少ない分野に一定の割合で女性を登用するよう啓発を行う
11. 女性も男性も対等に仕事と家庭の両立ができるよう、育児や介護サービス等の福祉を充実する
12. 男女共同参画に関する活動を行う団体等への支援や、協働・連携の強化を図る
13. その他( )
14. わからない

「女性も男性も対等に仕事と家庭の両立ができるよう、育児や介護サービス等の福祉を充実する」が64.7%

全体で最も回答が多かったのは、「女性も男性も対等に仕事と家庭の両立ができるよう、育児や介護サービス等の福祉を充実する」の64.7%で、次いで「教育現場と連携し、学校でのジェンダー平等教育をすすめる」で55.0%となっています。

性別で見ると、「女性に対する暴力をなくすための取組や被害者への支援体制を充実する」と回答した女性は53.3%で、男性42.3%と比べると11ポイント高くなっています。

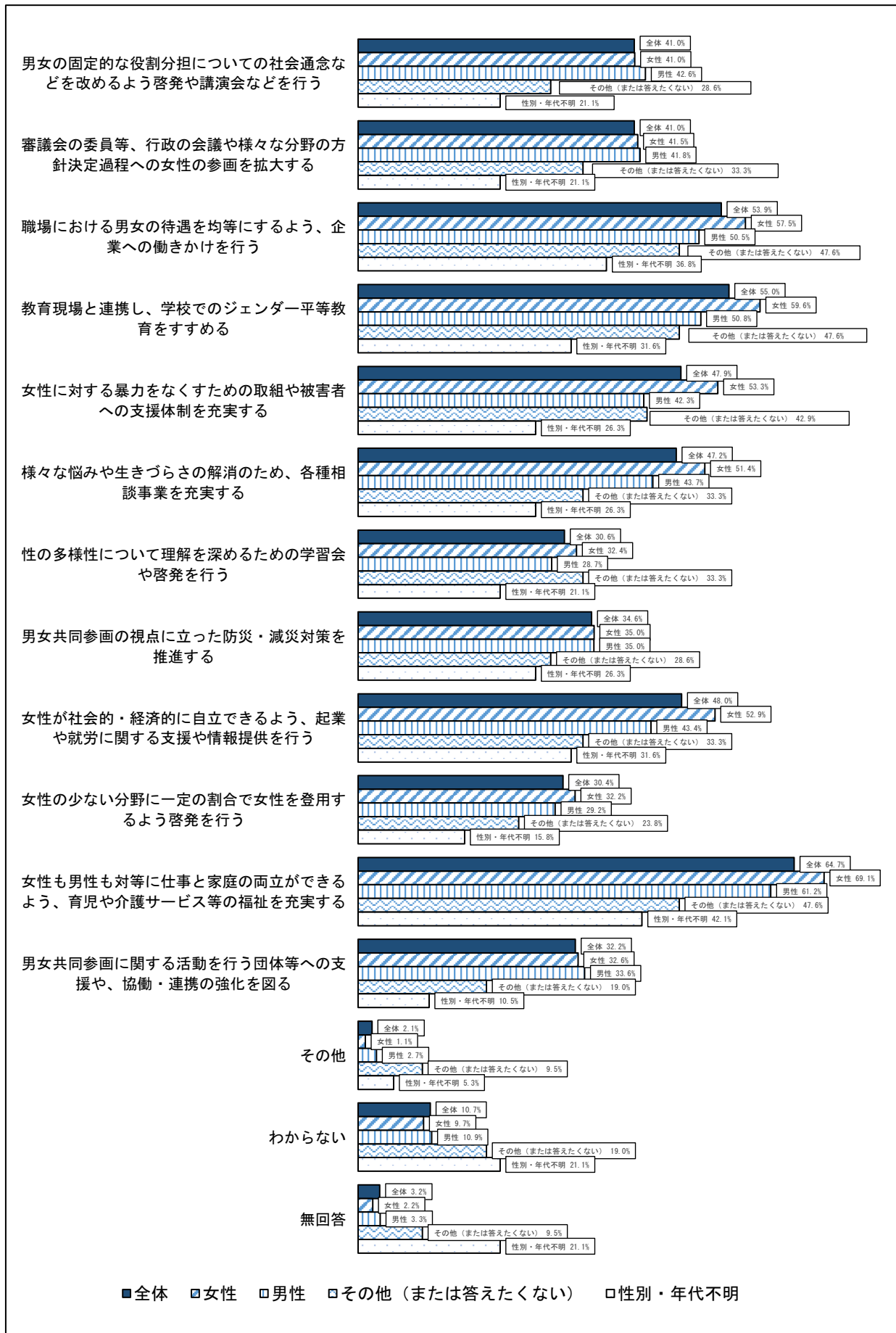
【全体】 n=869



その他の回答（記述分）

なし（1）、住民税の引き下げ（1）、男性のように働くのではなく、家庭を維持できる働き方を男女ともにできるようにする（1）

【性別】 n=869



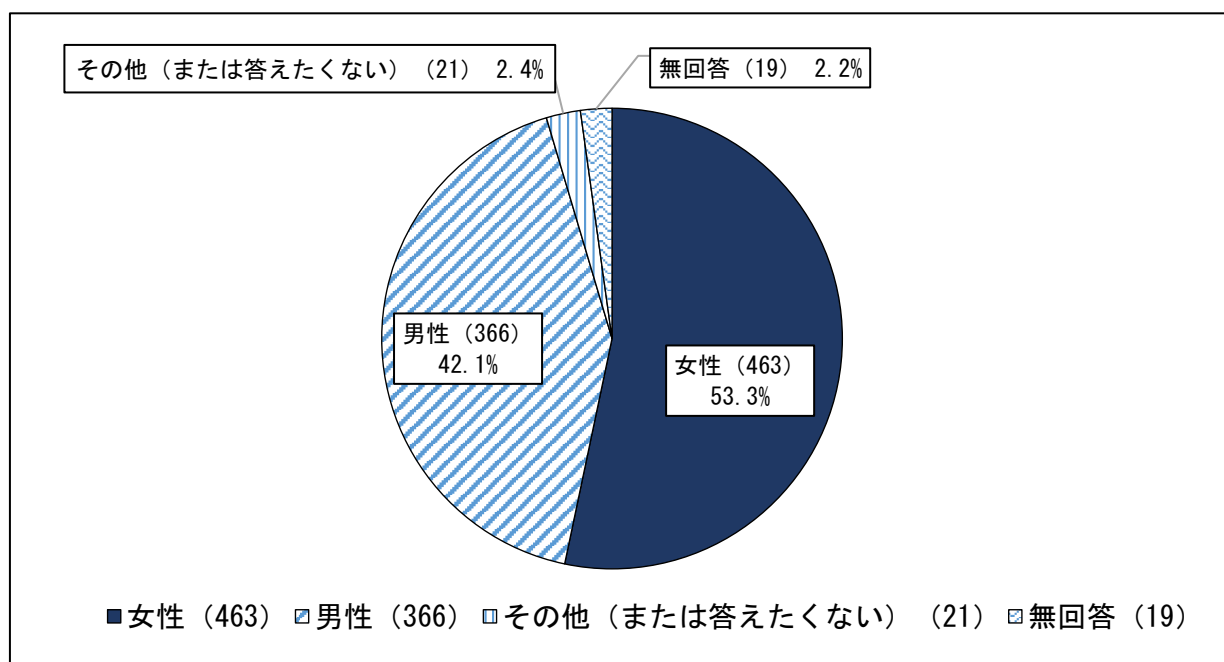
あなたご自身について

問27 あなたの性別をおたずねします。（1つだけ選択）

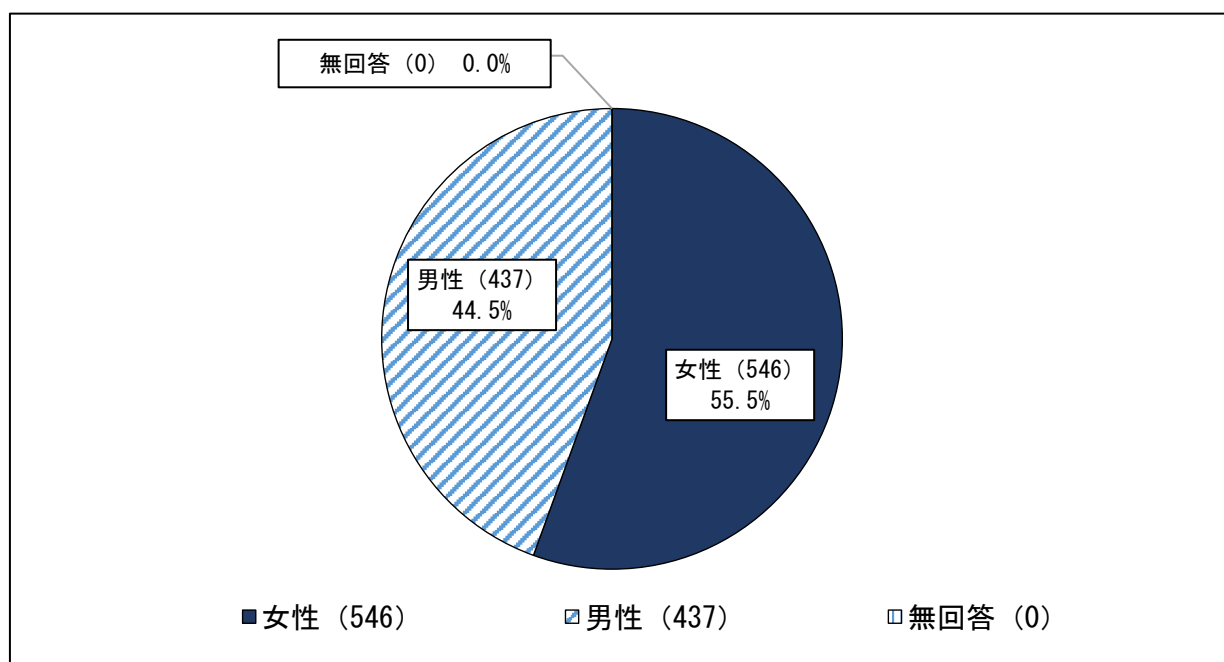
1. 女性                      2. 男性                      3. その他(または答えたくない)

「女性」が53.3%、「男性」が42.1%とやや女性が多くなっています。

【令和3年度調査結果】 n=869



【平成28年度調査結果】 n=983



## 【参考】令和3年度 久喜市の人口と世帯数

	総人口と総世帯数			
	男性（人）	女性（人）	合計（人）	世帯数 （世帯）
4月	75,856	76,264	152,120	67,488
5月	75,824	76,270	152,094	67,583
6月	75,746	76,224	151,970	67,549
7月	75,715	76,201	151,916	67,553
8月	75,731	76,227	151,958	67,607
9月	75,725	76,234	151,959	67,638
10月	75,671	76,234	151,905	67,664
11月	75,634	76,190	151,824	67,687
12月	75,596	76,146	151,742	67,678
1月	75,554	76,115	151,669	67,665
2月	75,472	76,059	151,531	67,607
3月	75,390	75,979	151,369	67,576

※毎月1日現在の値。

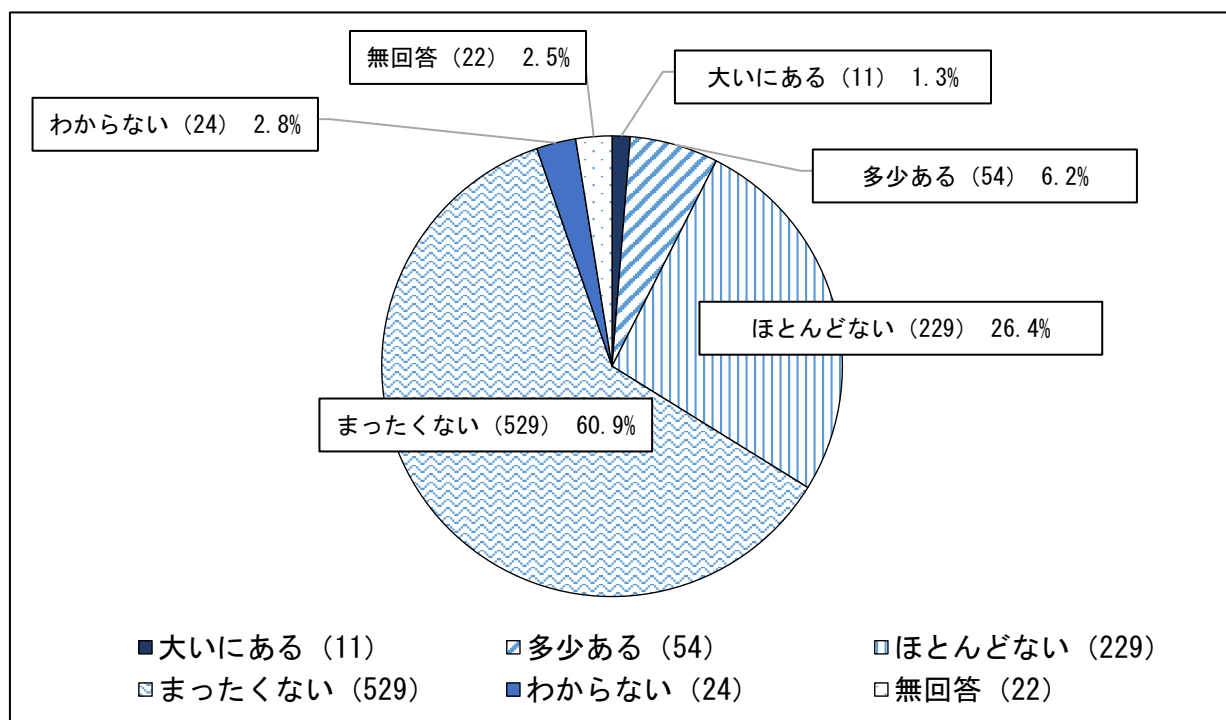
あなたご自身について

問28 あなたは、ご自身の性別や性的指向について違和感をもったり悩んだりしたことはありますか。（1つだけ選択）

- |          |                  |          |
|----------|------------------|----------|
| 1. 大いにある | 3. ほとんどない        | 5. わからない |
| 2. 多少ある  | 4. まったくない(一度もない) |          |

「大いにある」と「多少ある」の回答を合わせると、7.5%で、およそ13人に1人の割合となっています。

【全体】 n=869



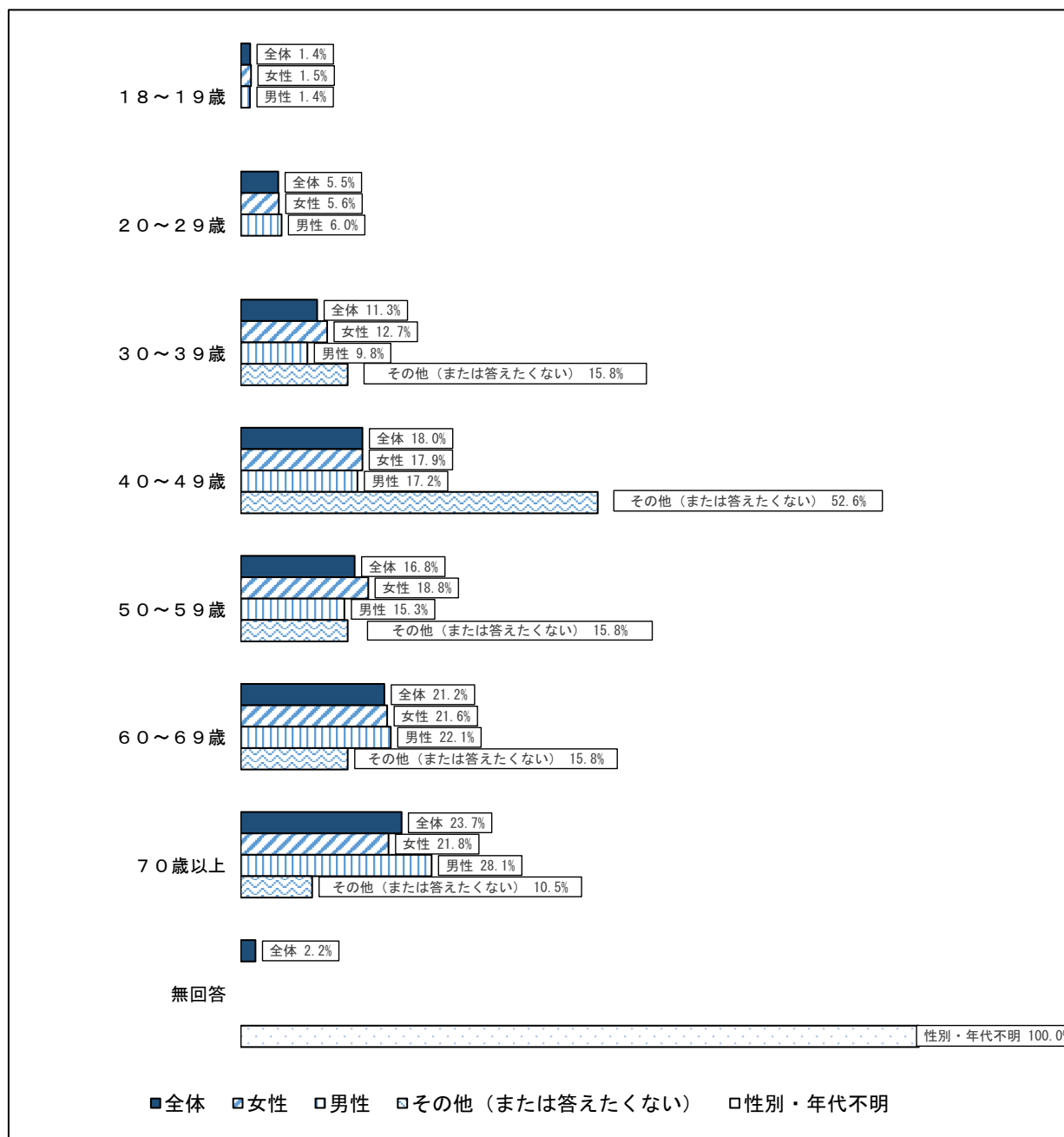
あなたご自身について

問29 あなたの年齢はおいくつですか。(令和3年9月1日現在の満年齢)

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 4. 40～49歳 | 6. 60～69歳 |
| 2. 20～29歳 | 5. 50～59歳 | 7. 70歳以上  |
| 3. 30～39歳 |           |           |

最も多かったのは、「70歳以上」の23.7%で、次いで「60～69歳」の21.2%となっています。なお、今回の調査から「18～19歳」が追加となっています。

【令和3年度調査結果】 n=869





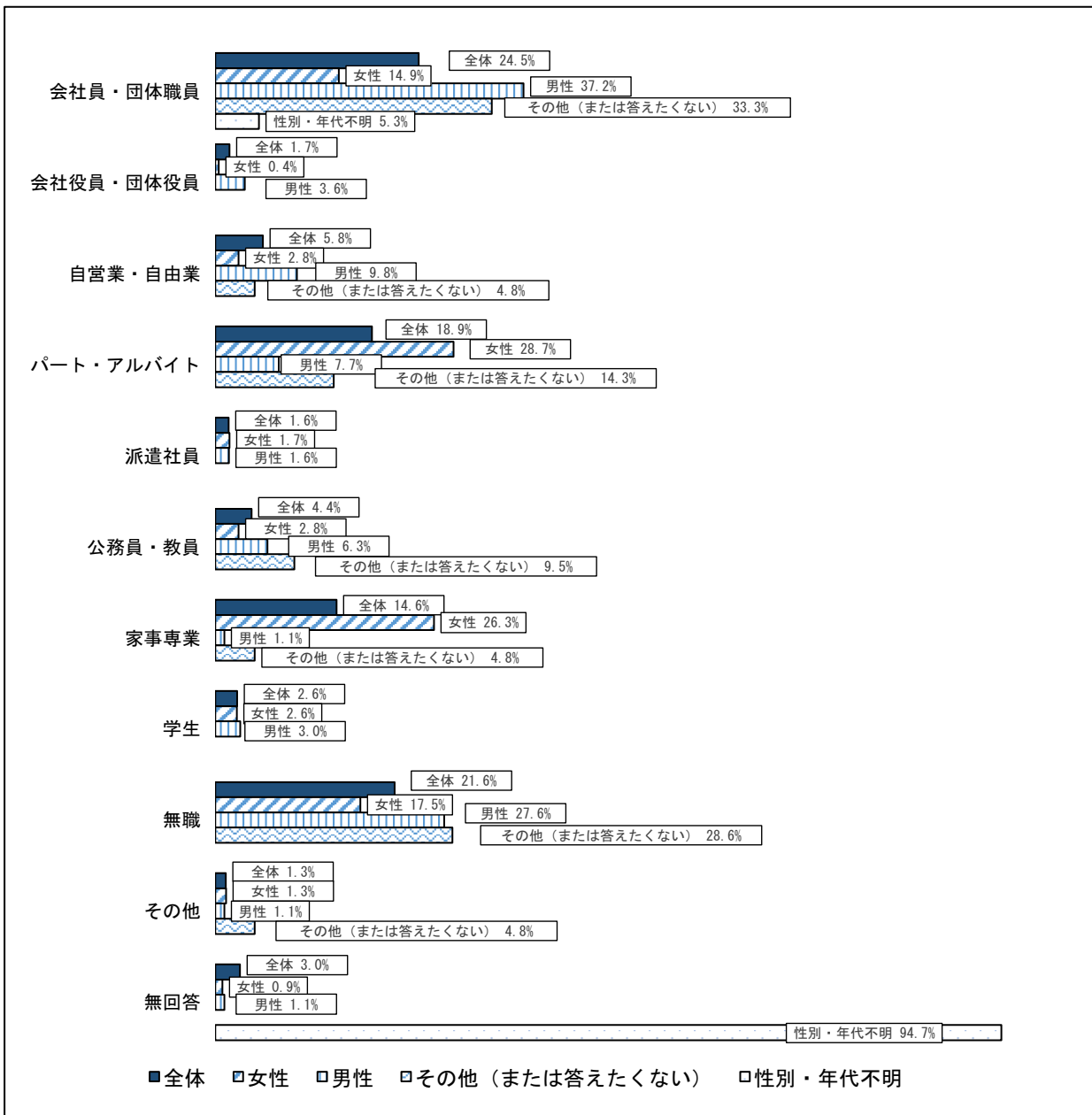
あなたご自身について

問30 あなたの職業をおたずねします。(1つだけ選択)

- |              |           |            |
|--------------|-----------|------------|
| 1. 会社員・団体職員  | 5. 派遣社員   | 9. 無職      |
| 2. 会社役員・団体役員 | 6. 公務員・教員 | 10. その他( ) |
| 3. 自営業・自由業   | 7. 家事専業   |            |
| 4. パート・アルバイト | 8. 学生     |            |

全体は「会社員・団体職員」が最も多く24.5%となっていますが、性別で見ると、女性は「パート・アルバイト」が最も多く28.7%となっています。

【令和3年度調査結果】 n=869



その他の回答 (記述分)

医療従事者 (2)、契約社員 (2)、保育士 (2)

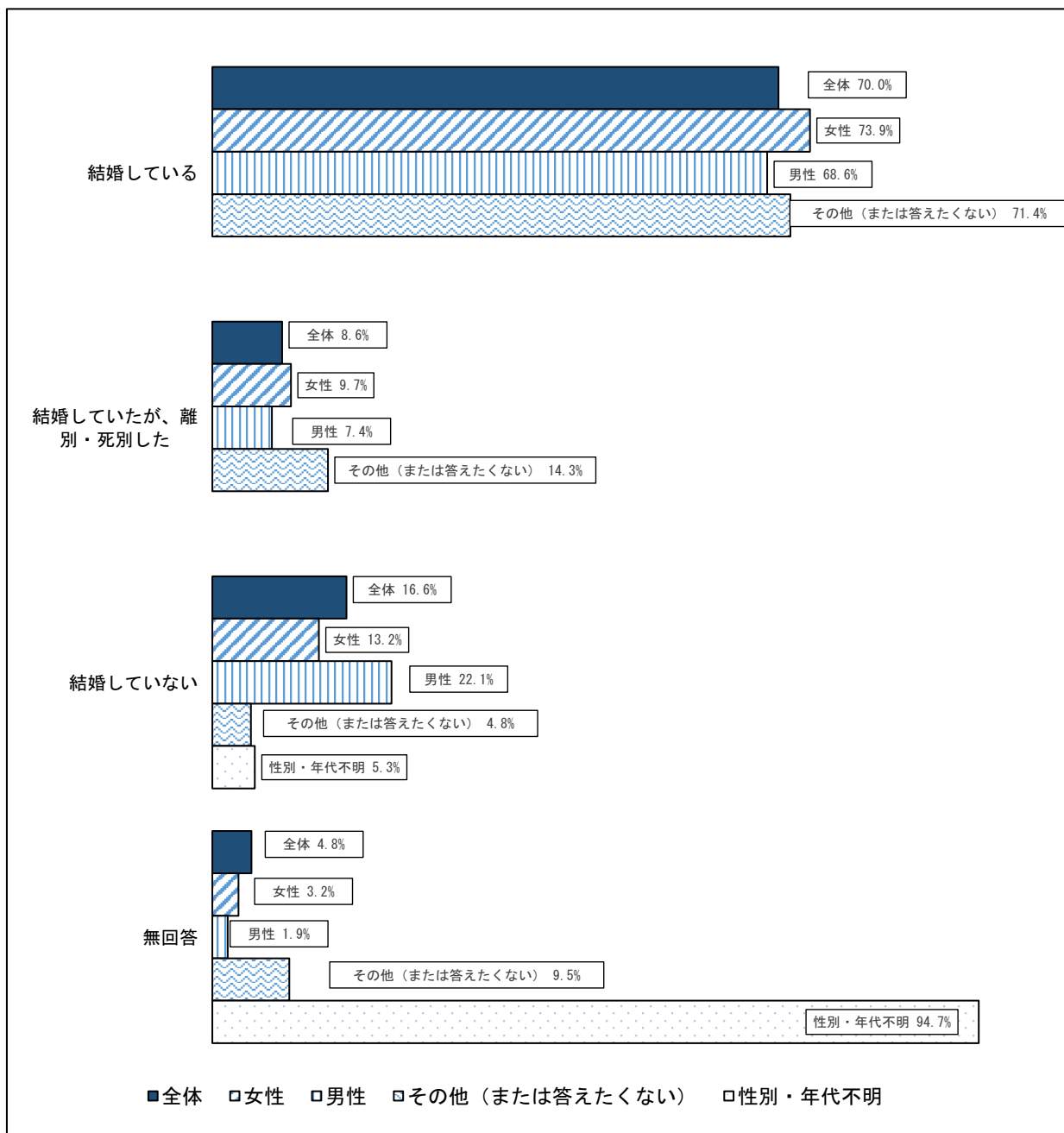
あなたご自身について

問31 あなたは、結婚されていますか。同棲や事実婚も含みます。(1つだけ選択)

1. 結婚している ⇒ 問32へ
2. 結婚していたが、離別・死別した ⇒ 問33へ
3. 結婚していない ⇒ 問33へ

全体では、「結婚している」が70.0%と最も多く、次いで「結婚していない」が16.6%となっています。性別で見ると、「結婚していない」と回答した男性が22.1%と、女性より8.9ポイント多くなっています。

【令和3年度調査結果】 n=869



あなたご自身について

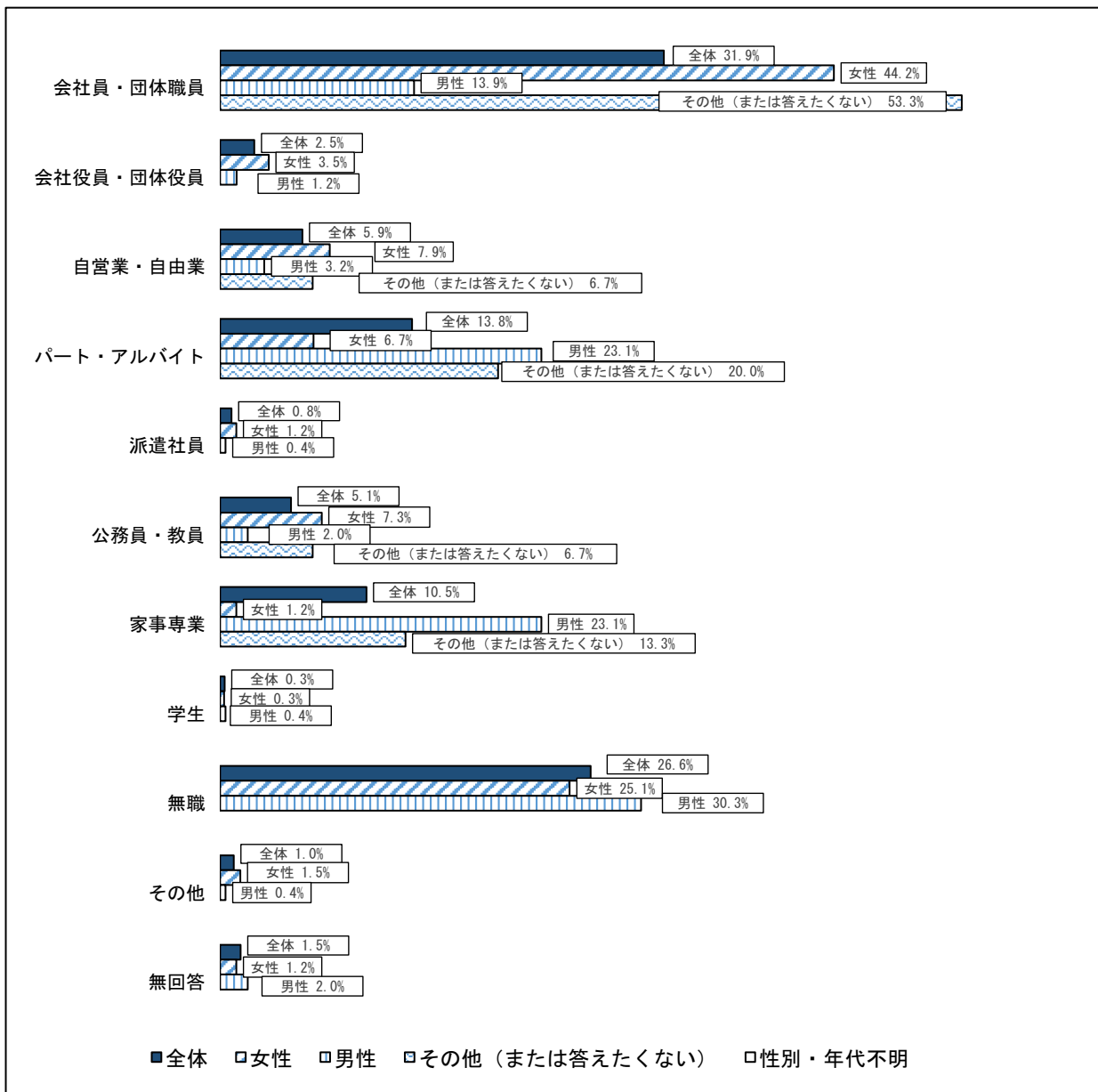
(問31で、「1. 結婚している」と回答した方にお伺いします)

問32 あなたの配偶者の職業をおたずねします。(1つだけ選択)

- |              |           |            |
|--------------|-----------|------------|
| 1. 会社員・団体職員  | 5. 派遣社員   | 9. 無職      |
| 2. 会社役員・団体役員 | 6. 公務員・教員 | 10. その他( ) |
| 3. 自営業・自由業   | 7. 家事専業   |            |
| 4. パート・アルバイト | 8. 学生     |            |

全体では、「会社員・団体職員」が31.9%と最も多くなっています。女性は「会社員・団体職員」の44.2%、男性は「無職」の30.3%が最も多い回答となっています。

【令和3年度調査結果】 n=869



その他の回答 (記述分)

農業 (1)、僧侶 (1)



あなたご自身について

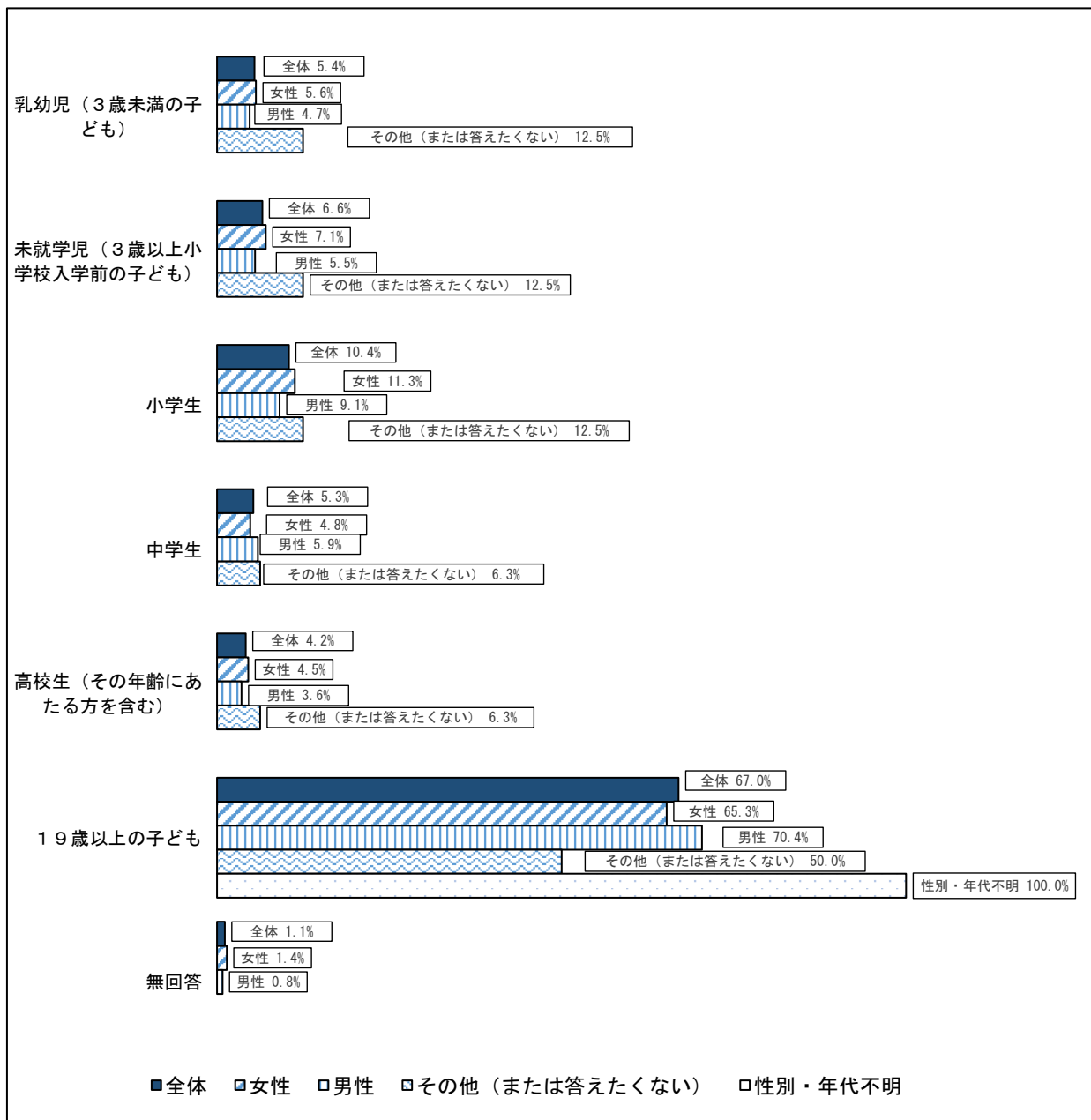
(問33で、「1. いる」と回答した方にお伺いします)

問33-1 一番下のお子さんは、現在次のどれにあてはまりますか。(1つだけ選択)

- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 乳幼児(3歳未満の子ども)        | 4. 中学生               |
| 2. 未就学児(3歳以上小学校入学前の子ども) | 5. 高校生(その年齢にあたる方を含む) |
| 3. 小学生                  | 6. 19歳以上の子ども         |

全体で最も回答が多かったのは、「19歳以上の子ども」が67.0%で、次いで「小学生」の10.4%となっています。

【令和3年度調査結果】 n=624



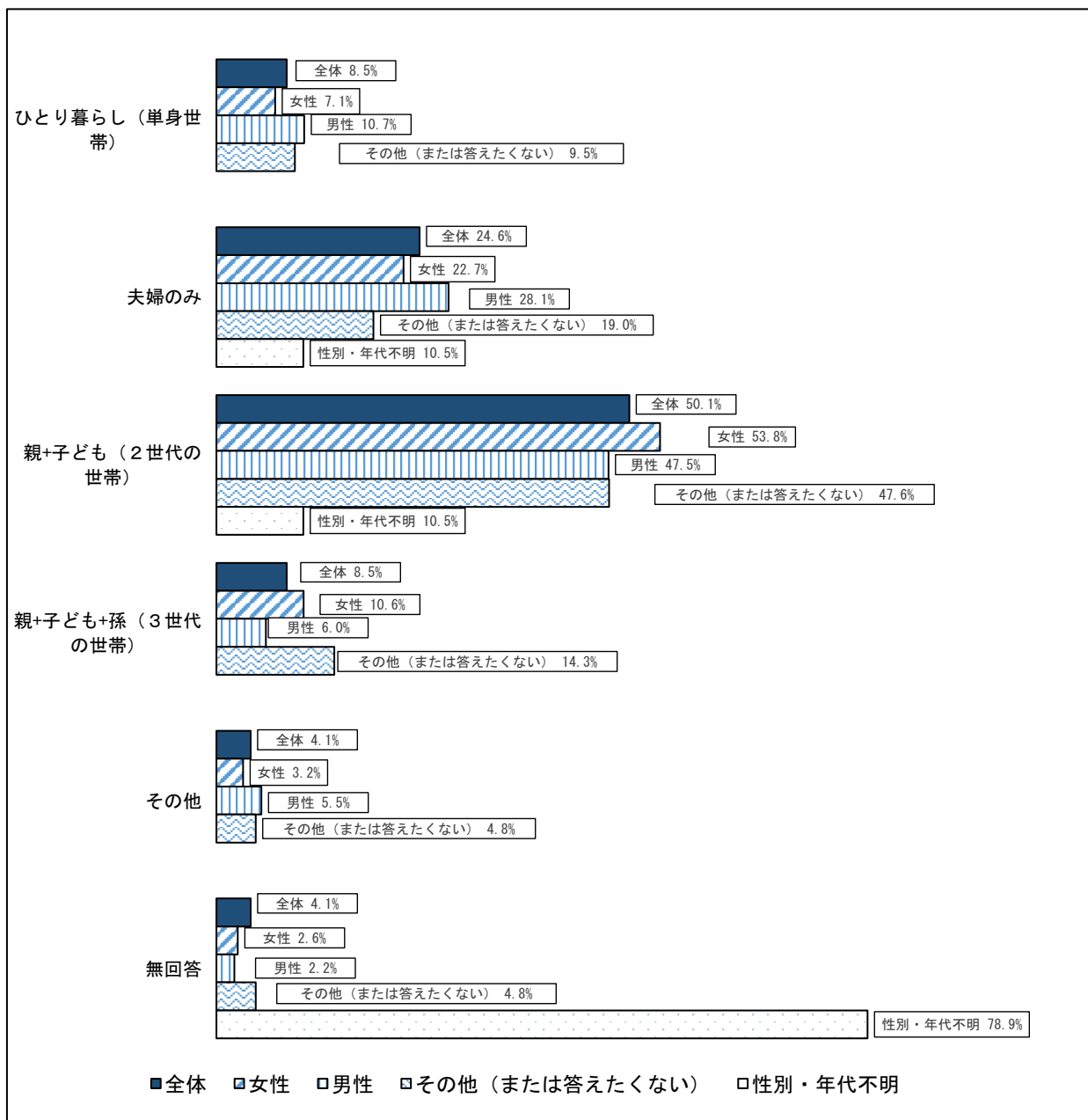
あなたご自身について

問34 あなたの世帯構成はどれにあてはまりますか。（1つだけ選択）

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1. ひとり暮らし(単身世帯)  | 4. 親+子ども+孫(3世代の世帯) |
| 2. 夫婦のみ          | 5. その他( )          |
| 3. 親+子ども(2世代の世帯) |                    |

全体では、「親+子ども（2世代の世帯）」が最も多く、50.1%、次いで「夫婦のみ」が24.6%となっています。

【令和3年度調査結果】 n=869



その他の回答（記述分）

親+きょうだい（3）、親+きょうだい+子（2）